

第八十三回帝國議會 衆議院 軍需會社法案委員會會議錄(速記)第二一回

付託議案 軍需會社法案(政府提出)(第八號)

昭和十八年十月二十七日(水曜日)午前九時十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 加藤鐵五郎君

理事田中 亮一君 理事野田 武夫君

理事馬場 元治君 理事深澤豊太郎君

理事依光 好秋君

今尾 登君 小笠原三九郎君

小山倉之助君 川俣 清音君

片山 一男君 小山 亮君

佐藤洋之助君 坂口平兵衛君

澤田 利吉君 田邊 七六君

瀧澤 七郎君 中村 梅吉君

中瀬 拙夫君 中谷 武世君

中西 敏憲君 永田 良吉君

永野 護君 船田 中君

三木 武夫君 山本 芳治君

渡邊 泰邦君

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣兼 東條 英機君

陸軍大臣商工大臣 賀屋 興宣君

大藏大臣 岸 信介君

出席政府委員左ノ如シ

企業院調查官 平井 豊一君

大藏省總務局長 迫水 久常君

陸軍中將 吉積 正雄君

陸軍少將 佐藤 賢了君

海軍中將 岡 敬純君

海軍少將 保科善四郎君

商工省總務局長 椎名悦三郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
軍需會社法案(政府提出)

○加藤委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、先
ヅ本案ニ對スル政府ノ説明ヲ聽取致シタイ
ト存ジマス

○岸國務大臣 軍需會社法案提案ノ理由ヲ
御説明申上ゲマス、現下内外ノ時局ニ鑑ミ
マシテ軍需生産ノ急速増強、特ニ航空戰力
ノ飛躍的擴充ヲ圖ルコトガ、刻下最大ノ要
請デアリマスルコトハ、茲ニ改メテ申スマ
デモナイ所デアリマス、而シテ是ガ實現ノ
方途ハ極メテ多岐ニ互ツテ居リマシテ、政
府ニ於キマシテモ是等諸方策ノ樹立實施ニ
付テ銳意努力シツツアルノデアリマス、併
シナガラ生産増強ノ直接ノ衝ニ當ルベキ企
業ノ體制ハ尙ホ在來ノ儘デアリマシテ、企
業ノ經營上其ノ國家的性格ハ必ズシモ明カ
デナク、又其ノ生産遂行上ノ國家義務ノ確
保ニ付キマシテモ、何等特別ノ考慮ガ拂ハ
レテ居ラナイノミナラズ、企業ノ運轉ハ或
ハ經理上ノ顧慮ニ左右セラレ、或ハ煩瑣ナ
ル外部の統制ニ煩ハサレル等ノ爲ニ、其ノ
本來ノ生産性ヲ十分ニ伸張シ得ナイ狀態ニ
アルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ政府
諸般ノ施策竝ニ國家意圖ハ十分ニ企業ノ末
端ニマデ滲透シナイ憾ミガアリマスルシ、
又國家ガ企業ニ課シテ居ル所ノ重大ナル責務
ヲ深く認識シテ、之ヲ端のニ強力ニ生産活
動ニ具現セントスル努力ニ於キマシテモ、
缺クル所ナシトシナイ狀況デアリマス、仍
テ此ノ際企業精神ヲ更ニ昂揚致シマシテ、企

業ノ國家性ヲ其ノ經營ノ上ニ明確ニ具現シ、
生産責任體制ヲ確立スルト共ニ、其ノ責務
ノ完遂ヲ阻得スベキ諸々ノ拘束ヲ極力排除致
シマシテ、以テ盛上ル國家意識ニ基ク潑刺
タル生産活動ノ伸張ヲ期スルコトガ、此ノ
際最モ肝要ト信ズルノデアリマス、斯クノ
如キ企業體制ガ確立セラルルニ於キマシテ
ハ、政府ノ施策ハ企業ノ旺盛ナル活動力ト
相俟ツテ、必ズヤ力強キ生産増強ヲ推進シ、
此ノ苛烈深刻ナル戰爭ノ要請ニ十分ニ應ヘ
得ルモノト信ズルノデアリマス

本法案ハ上述致シマシタ如キ見地ニ立脚
致シマシテ、之ヲ制定セントスルモノデア
リマシテ、飽クマデモ企業ノ有機的組織ハ
之ヲ尊重致シマシテ、其ノ運轉上國家的性
格ヲ明カニシテ澎湃タル産業報國ノ精神ヲ
シテ眞ニ其ノ效果アラシムルガ如キ強力ナ
ル企業運轉ヲ期セントスルモノデアリマス、
本法案ノ内容ハ、何レモ斯クノ如キ趣旨ニ
基クモノデアリマスガ、其ノ内容ヲ概略説
明致シマス、次ノ通りデアリマス

先ヅ第一ニ企業精神ヲ昂揚シ、企業ノ國
家性ヲ明確ナラシメルコトデアリマス、是
ガ爲ニハ軍需會社ハ戰力増強ノ國家要請ニ
應ヘ全力ヲ發揮シ、責任ヲ持ツテ軍需事業
ノ遂行ニ當ルベキモノデアルト云フコトヲ
法律上明カニ致シマスルト共ニ、軍需會社
ノ役職員其ノ他ノ從業者ハ、専心國家ニ奉
仕スルモノト致シマシテ、故ナク職務ヲ懈
リ其ノ責務ヲ果サナイ時ハ、國家ハ懲戒ノ
制裁ヲ以テ之ニ臨ムコトト致シマシテ、其

ノ職務ノ國家性ヲ明確ニ致シタ次第デアリ
マス

尚ホ生産責任制ヲ生産現場ノ末端ニ至ル
マデ滲透セシメマスル爲ニ、生産責任者ヲシ
テ、工場事業場ニ生産擔當者ヲ置キ得ルコ
トト致シマシテ、之ニ對シ現場ニ關スル職
務權限ヲ成ベク廣汎ニ委譲致シマシテ、現
場即決ノ體制ヲ確立セシメ、以テ企業ノ中
心ト生産現場トヲ通ジテ簡明強力ナル指揮
系統ヲ整備セシムルコトト致シタノデアリ
マス

第三ニ企業ニ對スル行政ノ刷新デアリマ
ス、即チ企業ノ生産責任制ヲ透徹セシメ、
且ツ其ノ效果ヲ強力ニ發揚セシメマスル爲
ニ、企業ニ對スル從來行ハレテ居リマス所
ノ煩瑣ナル統制法令及ビ取締法令ノ適用ヲ
排除又ハ緩和致シマシテ、其ノ潑刺タル生
産活動ヲ期待シマスルト共ニ、生産現場ニ
派遣セラルル官吏ヲシテ、生産擔當者ト眞
ニ一體協力ノ關係ニ立ツテ、生産實情ノ把
握、生産隘路ノ打開等、生産ニ關スル援助、
指導ニ努メシメマスル外、現場處理ヲ適當
トスル行政事務ニ付キマシテハ、極力現場
即決ヲ爲シ得ル如ク措置致シタイト考ヘテ
居ルノデアリマス、尚ホ生産責任者ヲシテ
果敢ナル生産増強ヲ完遂セシメマスルガ爲
ニハ、生産遂行ニ伴フ企業經理上ノ不安ヲ
除去スル必要ガアリマスノデ、其ノ生産品
ノ價格ニ關シ生産者價格ヲ保障スルノ趣旨
ニ依リマシテ、價格調整補給金制度ヲ十分
活用致シマスル外、本法案ニ基ク所ノ命令

又ハ處分ヲ爲シタル場合ニハ、必要ニ應ジ補助、補償又ハ利益ノ保證ヲ爲スコト致シタルデアリマス、以上申上ゲマシタル所ガ本法案ノ骨子デアリマスガ、以下簡單ニ各條ノ御説明ヲ申上ゲマス

先ヅ第一條ニ於キマシテ、本法ノ目的ヲ明カニ致シテ居リマス

第二條ニ於キマシテ、本法適用ノ對象トナルベキ軍需事業及ビ軍需會社ノ定義ヲ規定シマシタ

第三條ニ於テ軍需會社ノ運営、指導ノ方針ヲ明カニ致シテ居リマス

第四條及ビ第五條ハ生産責任者及ビ生産擔當者ニ關スル規定デアリマシテ、其ノ地位、權限及ビ責任ヲ明カニ致シテ居リマス

第六條ハ生産責任者、生産擔當者及ビ軍需會社ノ營業軍需事業ニ従事スル者ハ國家總動員法ニ依リ徵用セラレタルモノト看做スコトシタル規定デアリマシテ、之ニ依ツテ從業員ノ行フ所ノ仕事ノ國家性ト云フモノガ愈々明瞭ニナル次第デアリマス

第七條ニ於テ軍需會社ノ職員其ノ他ノ從業者ハ生産責任者及ビ生産擔當者ノ指揮ニ從フベキコトヲ命ジテ居ルデアリマス

第八條乃至第十二條ハ政府ノ軍需會社ニ對スル各種ノ命令權ヲ規定シタルモノデアリマシテ、政府ガ是等ノ命令ヲ爲シタル場合ニ、必要ニ應ジ補助、補償又ハ利益ノ保證ヲ爲シ得ルコトシタルガ第十三條ノ規定デアリマス、尙ホ是等命令ノ效果確保上支障アリト認ムル時ハ政府ハ軍需會社ノ役員ヲ解任シ得ル旨ヲ第十九條ニ規定致シテ居リマス

第十四條ハ軍需會社ノ運営ニ關シテ、他ノ法律ノ規定ニ拘ラズ別段ノ定メヲ爲シ得

ルコトトシ、第十五條ハ軍需會社ニ關シ各種ノ統制及ビ取締法規ノ適用ヲ排除シ又ハ特例ヲ設ケ得ルコトトシタル規定デアリマシテ、何レモ軍需會社ノ潑刺タル生産活動ヲ之ニ依ツテ期待シタルモノデアリマス

第十六條ハ軍需會社ニ對スル監督、命令ノ規定デアリマス

第十七條及ビ第十八條ニ於キマシテハ、軍需會社ニ對スル考査及ビ臨檢、檢査ニ關シタル規定シテ居リマス

第二十條及ビ第二十一條ハ生産責任者、生産擔當者及ビ軍需會社ノ職員其ノ他ノ從業者ニ對スル懲戒ノ規定デアリマス

第二十二條ハ軍需會社以外ノモノニ對シテモ、本法中必要ナル規定ヲ準用シ得ルコトトシタルモノデアリマス

第二十三條乃至第二十六條ハ罰則ニ關スル規定デアリマス

以上本法案ノ提案ノ理由及ビ其ノ内容ニ付キマシテ概略ノ御説明ヲ申述べタ次第デアリマス、何卒十分御審議ノ上御同意ヲ賜ハランコトヲ希望致ス次第デアリマス

○加藤委員長 是ヨリ質疑ニ入リマス、順位ハ通告順ニ依ツテ之ヲ許シマス、尙ホ此ノ場合質問者及ビ政府ニ御注意ヲ致シタイコトハ、何分時間ガゴザイマセヌガ故ニ、質問モ要點ヲ述べラレ、政府モ之ニ對シマシテ明確簡單ナル御答辯ヲ煩シタイと思ヒマス、通告順ニ依リマシテ發言ヲ許シマス——小笠原三九郎君

○小笠原(三)委員 本軍需會社法案ハ今御説明ノ如クニ重要軍需品ノ劃期的増産ヲ實現スル爲メノデアツテ、洵ニ機宜ヲ得タモノダト思フノデアリマスガ、本法ハ殆ド其ノ悉クヲ命令ニ讓ツテ居ル點ニ於キマシテ總

動員法ニモ比スベキ重大ナル法案デアリマスシ、而モ其ノ命令内容、運用如何ニ依リマシテハ増産目的ニ背馳スル虞レガナイト致シマセヌ、隨ヒマシテ政府ハ能ク此ノ議場ヲ通ジマシテ本法ノ趣旨ト命令内容、運用方針、サウ云フ事柄ヲ明確ニセラレテ、國民ヲシテ一切ノ疑義ナク、欣然協力セシムルノ態度ヲ執ラレベキデアルト考ヘルノデアリマス、時間ノ關係ガアリマスカラ極メテ短カク御尋ネテ致シマスノデ、ドウカ岸商工次官ハ國務大臣トシテ明快率直ニ御答ヘテ御願ヒシタイと思フノデアリマス、第一ニ本法ハ戰時立法ナリヤ否ヤ

○岸國務大臣 本法ハ提案ノ理由ニモ御説明申上ゲマシタル如ク、此ノ重大ナル時局ニ於キマシテ戰力ノ増強、特ニ航空戰力ヲ中心トシテ飛躍的ニ之ヲ増強シナケレバナラヌト云フ國家要請ニ基イテ制定セラレタルモノデアリマシテ、是ハ全く此ノ時局ノ必要ニ基イテ致サレタルモノデアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ戰時的ナ性質ヲ持ツテ居ル立法ト申シテ宜シイと思フ、唯内容自體及ビ其ノ軍需生産ト云フコトノ關係上、是ガ終期ヲ限定スルト云フヤウナコトハ此ノ法案ノ規定トシテ適當デナイト存ジマスルガ、飽クマデモ内容ハ戰時的の内容ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラシテ、平時的ノ狀況ニ立至リマスレバ又別途ノ考ヘナスベキデアラウ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○小笠原(三)委員 第二ニ本法ヲ適用スル軍需會社ハ所謂軍需事業ヲ營業會社デアリマシテ、「政府ガ指定スルモノヲ謂フ」ト第二條ニナツテ居リ、其ノ第二項ニ「軍需事業ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマスガ、本法ノ適用ヲ受ケルカ否カハ非常ナ

重大ナ關係ガアリマスノデ、此ノ際勅令ヲ以テ定メラレシトスル軍需事業ノ範圍ヲ言明セラレシコトヲ望ミマス

○岸國務大臣 軍需會社法案ノ各條ニ關聯致シマシテ、先程モ御質問ニアリマシタル如ク、命令若クハ勅令ニ委任シテ居ル範圍ガ非常ニ廣イノデアリマス、隨ヒマシテ御審議ノ上ニ於テ是ガドウ云フ範圍ニナルカ、ドウ云フ事項ニナルカト云フコトガ必ズ問題ニナルト存ジマシテ大體私共ノ今日考ヘテ居ル内容ヲ勅令事項、命令事項ト云フモノニシテ印刷致シマシテ各委員ニ配付致シテ居リマス、唯是等ノ資料ハ飽クマデモ一ツノ資料デアリマシテ、必ズ此ノ通りニ文句ノ上ニ於テモ、内容ニ於テモ動キノナイト云フモノデハナイノデアリマシテ、尙ホ具體的ニ勅令若シクハ命令ヲ定メル際ニ於キマシテハ多少ノ變更ノアル事柄ヲ御諒承願ヒタイと思ヒマスガ、大體今御質問ニナリマシタル軍需事業ノ範圍ト致シマシテハ、兵器、艦艇、彈藥、航空機、船舶、通信機器

竝ニ是等ノ部分品ノ生産加工及ビ修理ノ事業デアルトカ、或ハ普通鋼、特殊鋼、アルミニウム、「マグネシウム」等ノ輕金屬、及ビ「ジュラルミン」等ノ輕合金、銅、鉛、亞鉛等ノ非鐵金屬、重要非金屬礦物等ノ生産加工ノ事業、又「セメント」、硝酸、「ソーダ」等ノ重要化學工業品ノ生産ノ事業、液體燃料、及ビ潤滑油、竝ニ石炭、ガス、及ビ「コークス」ノ生産ノ事業、或ハ今申上ゲマシタルモノニ關聯致シマシテ是等ノ原料材料ノ生産ノ事業デアリマス、更ニ以上申述べマシタル物資ノ生産、加工及ビ修理ニ要スル機械器具、竝ニ其ノ裝置、是等ノ部分品ノ生産、加工及ビ修理ノ事業等ガ其ノ主ナルモ

ト云フモノニ關聯致シマシテ是等ノ原料材料ノ生産ノ事業デアリマス、更ニ以上申述べマシタル物資ノ生産、加工及ビ修理ニ要スル機械器具、竝ニ其ノ裝置、是等ノ部分品ノ生産、加工及ビ修理ノ事業等ガ其ノ主ナルモ

ノデアリマシテ、尙ホ其ノ外主務大臣ガ指定シタ事業等モアリマスガ、大體サウ云フモノヲ中心ニ考ヘテ居リマス

○小笠原(二)委員 次ニ本法第一條ニ依リマス、本法ハ軍需事業ノ外ニ其ノ他軍需ノ充足上必要ナル事業ニ適用セラレルコトニ相成ツテ居リマス、「其ノ他軍需ノ充足上必要ナル事業」ト云フノハ、例ヘバ運輸ノヤウナモノヲ指スノカ、動力ノヤウナモノヲ意味スルノカ、若干配給等ニ關係スルモノモ意味スルノカ、大體輪廓ヲ御示シ願ヒタイ

○岸國務大臣 軍需ノ充足上必要ナル事業ト致シマシテハ今御質問ニナリマシタ重要軍需物資ノ配給デアルトカ、或ハ輸送等ノ事業ヲ指スモノデアリマシテ、必要ニ應ジテ本法中必要ノ規定ハ勅令ノ定ムル所ニ依ツテ是等ノ事業ヲ營ム會社ニ對シテ之ヲ準用スル、斯ウ云フ趣旨デアリマス

○小笠原(二)委員 軍需會社ハ今後軍需省ノ監督一本トナルノデアリマスガ、即チ軍需會社ノ行政監督ハ軍需省ノ一ツノ窓口ノミトナルノカ、ソレトモ艦本ヤ航本、兵本トノ關係ガ依然分離シテ居ツテ、特別ニ監督ヲ受クルコトナリマシタナラバ、所謂窓口行政ノ一元化ト云フモノハ甚ダ不徹底ヲ缺イテ、本法ノ效果ニモ若干ノ影響ガアルヤニ考ヘラレノデアリマスガ、之ニテ支障ナキ御見込ミデアルカドウカ

○岸國務大臣 軍需會社ハ先程申述べマシタヤウナ各種ノ事業ニ關スルモノデアリマシテ、此ノ大部分ガ今度軍需省ニ一本建ニナルノデアリマスケレドモ、併シナガラ悉クガ之ニナルト云フノデアリマシテ、今御質問ニナリマシタ如ク、例ヘバ艦船ヲ造ルヤ

ウナ仕事ハ艦政本部等ヲ中心ニ行ハレルモノデアリマス、又其ノ他ノモノニ於キマシテモ兵器等ニ付キマシテハ、兵器本廠、其ノ他陸海軍省所管サレルモノモアラウカト思ヒマス、併シナガラ其ノ事業ニ關スル限リニ於キマシテハ、軍需大臣ガ一本ノ窓口トシテヤレル、陸軍省所管、海軍省所管ノモノハ、是ハ陸軍省、海軍省デ一本デヤラレルト云フ關係ニ相成ルノデアリマス、此ノ

軍需省設置ノ趣旨モ、屢説明セラレテ居ル如ク、航空戦力ヲ増強スルコト云フコトヲ其ノ中心ト致シテ居ルノデアリマス、今回ノ軍需省ノ設置ハ航空機ノ増産——航空機生産ト云フコトヲ軍需省ノ眼玉ト致シテ居ル譯デアリマス、從ヒマシテ此ノ航空機ノ生産ニ關スル限リ軍需省ト云フモノガ窓口ガ一本ニ相成ルコトハ當然デアリマスルガ、其ノ他ノ兵器、艦船等ニ付キマシテハ、從來ノ如クソレノ所管サレルコト相成ルト思ヒマス、而シテ實際問題ト致シマシテハ、此ノ航空機ニ關スル限リノモノガ窓口ガ一ツニナツテ、航空機生産ト云フモノガ劃期的ナ増産ガ期セラレルト云フコトヲ私共ハ期待シテ居ルノデアリマシテ、實際ノ運用ノ上ニハ支障ガナイ積リデ居リマス、尙

ホ軍需省設置ノ際ニ於キマシテ、今日ハ差當リ航空機及ビ航空機ト密接ナ關係ノアル兵器器材ト云フコトニナツテ居リマス、之ヲ中心トシテ、ソレヲ軍需省ガ運営サレルノデアリマスガ、將來必要ニ應ジマシテ是等ノモノガ又適當ニ是正サレルト云フコトハアラウト思ヒマス、御心配ノ點ハ今日ノ實情ニ於テハナイト斯様ニ考ヘテ居リマス

○小笠原(三)委員 一寸其ノ前ニ、其ノ他軍需充足上必要ナル事業ト云フ御尋ネラシタ時ニ、輸送關係、動力關係、配給等ノ必要ナ部分ハソレニ若干含ムノダト云フ御答ガゴザイマシタガ、此ノ場合ニハ軍需省以外ニ運輸通信省トカ或ハ農商省ガ將來出來ルノデセウガ、サウ云フモノト共管トナリマスカ、如何デゴザイマスカ

○岸國務大臣 運輸ノモノヲシテ此ノ充足上必要ナル事業ニ指定シマシタ場合ニ於テハ、運輸通信省ノ專管ダト思ヒマス、ソレカラ配給等ニ付キマシタル場合ニ於キマシテ、假令軍需品タルト同時ニ或ル部分ハ民需ニナルト申シマシテモ、ソレハ軍需省ノ專管ニ致ス積リデアリマス

○小笠原(二)委員 サウスルト繰返スヤウデアリマスガ、民需品ヲモ併セテ生産、加工、修理ヲスルモノニ付テモ軍需省ノ專管トナリマスカ

○岸國務大臣 農商省ト軍需省トノ官制デ各事業ノ分界ガ明確ニサレルト思ヒマスガ、之ニ依ツテ各所管物資ノ生産ガ、ドチラガ所管スルカト云フコトガハツキスルノデアリマシテ、假令ソレニ依リマシテ軍需省ノ所管ノ物資デ一部分ガ民需ニ廻ルト云フヤウナコトガアリマシテモ、其ノ物資ニ關スル限リハ軍需省ガ專管スル、是ト逆ニ、例ヘバ纖維品ノ如キハ、今日ノ如ク大部分ガ軍需品ニナツテ居リマスケレドモ、是ハ農商省ノ專管ニスル、斯ウ云フ風ニ致ス積リデアリマス

○小笠原(三)委員 本法ノ適用ヲ受ケマスル軍需會社ノ工場事業場ニ對シマシテハ、總動員法ニ基ク工場事業場管理令ノ管理ハ行ハレナイコトニナルト考ヘルノデアリマスガ、左様ニ考ヘテ宜シイノデアリマス

○岸國務大臣 御質問ノ通りニ考ヘテ居リマス

○小笠原(三)委員 次ニ生産責任者、生産擔當者、軍需監理官——軍需監理官ト云フ名前ハ此ノ規定ニハゴザイマセヌガ、便宜上サウ云フ名前デ申上ゲマス、此ノ三者ノ關係ニ付テ御尋ネ致シタイト思ヒマス、第一ニ生産責任者ハ一社一人デアルカ、又社長ノミヲ生産責任者トナス考ヘデアルカ否カ

○岸國務大臣 法律上生産責任者ハ一社一人ト云フコトヲ限定ハ致シテ居リマセヌ、併シナガラ生産責任者ノ重大ナル責任カラ見マシテ、成ベク私共ハ一社一人デアルコトヲ希望致シテ居リマス、又生産責任者ハ社長ノミガ之ニ當ル、社長以外ノ者ハ之ニ當ルコトハ出來ナイト云フ風ニ限定ハ致シテ居リマセヌ、併シナガラ是亦實際問題トシテハ、社長若シクハ社長ニ代ルヤウナ會社ノ首腦部ノ方ガ生産責任者ニナル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○小笠原(三)委員 次ニ、生産擔當者ハ、本店ニアリマシテハ各事業別、又工場事業場ニアリマシテハ、一工場、一事業場一人ト云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマスカ

○岸國務大臣 生産擔當者ハ、其ノ職務ノ上カラ申シマシテ、成ベク現場ニハツキリ其ノ職務權限ガナルヤウニシタイト思ヒマスノデ、一工場ニ付テ原則トシテ一人ト云フコトニ致シタイト存ジマス、唯本店ノ場合ニ於キマシテハ、色々本店内部ノ事情モアリマシテ、必ズシモ一事業ニ一人トスルカ、或ハ二種三種ノ事業ヲ纏メテ一人ノ擔當者ニスルカ、斯ウ云フ事柄ハ相當ニトリヲ持ツテ考ヘテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○小笠原(三)委員 生産責任者ト生産擔當者トハ同一人又ハ兼任ヲ認メラレカドウカ、一寸是ダケデハ分リ兼ねルト思ヒマスノ説明致シマス、會社及ビ工場ニアリマシテハ、生産責任者ガ即チ生産擔當者ノ場合モ多クアルト思ヒマス、又親會社ガ幾ツカノ子會社ヲ持つテ居ル場合、是ハ所謂協力工場ト云フヤウナ意味デナイ、完全ナル子會社、即チ親會社ニ於テハ生産擔當者ダガ、子會社ニ於テハ生産責任者タル場合モ相當アラウト思ヒマス、現ニ工場長ヲシテ居ル者デ他ノ會社ノ社長ヲシテ居ル者モアリマス、是ハ神戸製鋼所等ノ例ヲ御覽ニナレバ能ク分ルト思ヒマスガ、之ヲ許サストスルト種々ノ不都合ヲ生ズル虞ガアルヤニ考ヘラレルノデアリマスガ、生産責任者ト生産擔當者トハ同一人タルコトヲ許シ、又ハ兼任スルコトヲ許サレル御考ヘデアルカドウカ御伺ヒ致シマス

○岸國務大臣 生産擔當者ト生産責任者ヲ兼任スルト云フ場合ハ、實ハ私共之ヲ豫想シテ居ラナイノデアリマスガ、唯一社一工場ト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、是ハ生産責任者ノミヲ置イテ、生産擔當者ト云フモノハ置カズニ、生産責任者ガ一切ノ責任ヲ負ウテ行クト云フコトデ宜カラウト思ヒマス、唯今御話ノヤウニ、子會社ノ關係デアルトカ、協力會社ノ關係デアルトカ云フヤウナ關係デ、或ル場合ニ於テ事業ノ内容、實際ノ上カラ之ヲ兼ねサシタ方ガ宜イト云フヤウナ場合ニ付キマシテハ、尙ホ考究シテ見タイト思ヒマスガ、必ズシモ法律デハ兼任ヲ許サナイト云フ事柄ヲ明確ニハ出シテ居リマセヌガ、私共ノ生産責任者、生産擔當者ニ對シテノ考ヘ方ハ、如何ニモ責任ガ重大デアリ、

而モ其ノ國家性ヲ十分ニ全カフ舉ゲテ果シテ貫ヒタイト云フ希望熱意ガ非常ニ強イノデアリマシテ、サウ云フ意味ニ於テ成ベク一人ガ一社ヲ受持つツカ、一工場ヲ受持つツト云フコトガ望マシイ、斯ウ思ツテ居リマス、併シナガラ要ハ此ノ生産責任者、生産擔當者ヲ置ケト云フコトハ、之ニ依ツテ生産ヲ現實ニ舉ゲテ行ク、實際ノ増産ヲ確保スル、斯ウ云フ意味デアリマスカラ、事業ノ内容カラ見テ色々ナ態樣ガアルノダカラ、其ノ場合ニ兼任ヲサセテ、二社二工場ヲ持つタ方ガ能率ガ宜イト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、勿論法律上カラ見テ其ノノトリハ持つテ居ル、斯様ニ考ヘマス

○小笠原(三)委員 實情ニ即シテサウ御願ヒセスト實際ニ都合ノ場合ガ相當起ルノデハナイカト思ヒマスルシ、即チ「ドイツ」ノ「バーソナル・ユニオン」ト云フヤウナ考ヘ方モ、之ヲ採入シタ方ガ、親會社、子會社ノ關係ヲ圓滑ニスル所以デアルト思ヒマスガ、意見ニ互リマスカラ申上ゲマセヌ

次ニ生産責任者、生産擔當者ハ、ソレトノ代理人ヲ置クコトガ出來ルカ、其ノ代理人ガナイト一寸病氣シタリ、旅行シタリ、色々スル場合ニ非常ニ困ル場合ガ起ツテ來ルダラウ、例ヘバ支配人ガアル所ニハ、法律ニハナイケレドモ、支配人代理人ヲ何處デモ置き、數人置イテ居ル場合ガアリマス、此ノ場合ノ責任ハ支配人ニアルノデアリマスガ、同様ニ生産責任者ト生産擔當者ニ代理人ヲ置キ得ルト云フ運用ノ方法ガ許サレルカドウカト云フコトヲ御伺ヒシタイノデアリマス

○岸國務大臣 代理人ノ問題ハ私共原則トシテハ置カナイ考ヘデ居リマス、唯併シ現

實ノ問題トシテ今御話ノ通り斯ウ云フ際、軍需會社ノ生産責任者、擔當者ガ更ニ大キナ國家的義務ヲ持つテ遠方ニ旅行シナケレバナラヌト云フヤウナコトモ出テ參リマセウカラ、サウ云フ場合ニ於テハ臨機ノ處置ヲ執ラナケレバナラヌト思ヒマスガ、原則トシテハ代理人ハ置カナイ考ヘデ居リマス

○小笠原(三)委員 是モ運用ノ事柄デアリマスカラ、實情ニ即シテヤツテ戴キヤウニ希望致シテ置キマス、次ニ監理官ノ方ハ一事業別、一工場一事業場毎ニ一人ヲ置カレテ御考ヘデアアルカドウカ、尙ホ艦本トカ航本トカ兵本ト云ツタ方ガ軍需省關係ヘ入ツテ來ナイコトニナツタノデアリマスカラ、

ヤウナ制度ヲ依然トシテ存シテ置カレナケレバナラヌ理由モ勿論アラウト思ヒマス、唯此ノ場合ニ於キマシテモ今回ノ軍需省ノ關係ニ於キマシテハ、軍需資材等ノ發注統制等ニ付キマシテモ、軍需省ニ於テ是ガ統制ヲ致スヤウナ建前ニナツテ居リマスノデ、從來ノ如ク全然獨立シタモノトシテ働クト云フコトノナイヤウニ、十分協力シタ統制ヲ執ツタ働キガ今後出來テ行ク、斯様ニナルト思ヒマス

○小笠原(三)委員 本法第六條ニ依リマス「生産責任者及生産擔當者並ニ軍需會社ノ營業軍需事業ニ従事スル者ハ國家總動員法ニ依リ徵用セラレタルモノト見做ス」トアリマス、此ノ場合生産責任者デモナイ、生産擔當者デモナイト云フモノガアルノデアリマス、例ヘバ社長ガ生産責任者、工場長ガ生産擔當者ニナリマスルト、事務取締役、常務取締役、及ビ本社ニ在勤シテ居ル部長、課長ト云ツタヤウナ者ハ、ソレニ含マレナイヤウニモ考ヘラレマスルガ、併シ此ノ軍需事業ニ従事スルト云フコトヲ廣ク取ツテ、ソレヲ含マスコトニ運用シテ行カスト、同ジ會社デアリナガラ、一ツハ徵用サレテ他ハ徵用セラレナイ、一ツハ國家ノ機關トシテ大イニ役立ツ、他方ハサウ云フコトデナイト云フヤウナ扱ヒヲ受ケルコトニナツテハ、會社ノ仕事スル上ニ於テモ、軍需會社ノ仕事ノ運用上ニモ圓滑ヲ缺イテ、増産上如何カト思ハレマスガ、是ハ如何デスカ

○岸國務大臣 軍需省ニ統一サレマス限リ、從來アリマシタ商工省ノ工務官或ハ厚生省ノ勞務官、陸海軍ノ監理官等ハ、軍需省ノ工場監理官ニ一本ニ統一セラレルノデアリマシテ、是ガ各工場、事業場ニドウ云フ風ニ配置セラレルカト云フコトニ付キマシテハ、一ツノ工場ニ多數ノ監理官ガ行クト云フコトハ、是ハ極力避ケルベキモノダト思ヒマス、唯大工場等ニ於キマシテハ一人ヲ中心トシテ數人ノ輔佐官ヲ必要トスルト云フ場合モ勿論アラウト思ヒマス、成ベク監理官等ノ數モ少クシテ參リタイ考ヘデアリマスカラ、一人ノ監理官ガ數工場ヲ監理スルト云フコトハアリ得ルト考ヘテ居リマス、又艦本、兵本等ノ仕事ハ、陸海軍省ニ於テ使用セラレテ行カレル關係上、此ノ方面ニ於ケル事業ノ其ノ軍需生産ヲ確保セラレル爲ニ、陸海軍ニ於テ監理官、監督官ト云フ

○岸國務大臣 御質問ノ如ク、此ノ「軍需事業ニ従事スル者」ト云フノハ、廣イ意味ニ私共解釋致シテ居リマス、隨テ例トシテ御指摘ニナリマシタ生産責任者、生産擔當

者以外ノ重役ノ如キモ、ヤハリ「從事スル者」ト斯様ニ解釋スベキモノダト思ヒマス

○小笠原(三)委員 次ニ軍需會社ト統制會社トノ關係ニ付テ一ツ御尋ネラシタイト思ヒマス、統制會ニ付キマシテハ之ヲ作リマシタ當時ノ考ヘ方ト、大東亞戰爭後ノ今日トハ大分時代モ變ツテ居ツテ、統制會社無用論サヘ唱ヘル人ガアル位デアリマス、ケレドモ業界人ノ知識經驗ヲ活カシ、又之ヲ利用シ、又業界人ノ燃エ上ル協力心ヲ發揮セシムル、斯ウ云フ見地カラ言ヒマス、玄人カラ出來テ居ル統制會ヲ殘シタ方ガ宜イヤウニ考ヘラレマスガ、之ニ對スル政府ノ所見ハ如何デアリマスカ

○岸國務大臣 今後統制會ヲ如何ニ取扱

ツテ行クカト云フコトハ、色々ナ方面デ相當ナ關心ヲ持ツテ居ラレル問題ダラウト思イマス、隨ヒマシテ此ノ際政府ノ所信ヲ明確ニ今ノ御質問ニ答ヘル際ニ申上ゲテ置キタイト存ジマス、御説ノ如ク統制會ヲ設置致シマシタ當時ノ事情ト、現在ノ事情トハ非常ニ事情ガ變ツテ居リマス、特ニ此ノ軍需會社法ガ通過致シマシテ、斯ウ云フ法規ニ依ツテ軍需會社ノ性格ト云フモノガ明確ニサレルト云フコトニナリマス、統制會ガ作ラレタ當時ニ於キマシテハ斯ウ云フ事業ヲ營ンデ居ルモノモ、サウ云フ風ニ國家性ガ明確デナカッタノデアリマス、其ノ場合ニ於テノ統制會ト云フモノト、今日ノ此ノ軍需會社法ガ成立シタ後ニ於ケル統制會ト云フモノトノ關係ニ於キマシテハ、餘程考ヘラ變ヘテ行カナレバナラス、唯根本ニ於テ今御説明ガアリマシタ如ク、統制會ノ趣旨ノ非常ニ大キナ狙ヒハ、業界ノ知識經驗ト云フモノヲ全幅的ニ活用シテ、政府

ト表裏一體トナツテ生産ノ増強ヲヤルノダト云フ此ノ統制會ノ大使命ハ、今後益々重大ヲ加ヘコソスレ、是ガ何等減殺サレルモノデハナイト思フノデアリマス、此ノ軍需會社法ガ出來、又軍需省ガ設置セラレマシテ、軍需生産ヲ彌ガ上ニモ上ゲナレバナラスト云フ此ノ緊急ナ要請ヲ果ス爲ニ考ヘテ見マスト、統制會ガ多年ノ業界ニ於ケル知識經驗、其ノ豐富ナル蘊蓄ト云フモノヲ傾ケテ、國家ヘノ御奉公ノ爲ニ之ヲ全幅的ニ政府ト協力ノ形ニ投ゲ出シテ來ルト云フコトハ、最モ望マシノデアリマシテ、決シテ私ハ政府ノ謂フ官吏ダケノ力デ此ノ重大ナ生産増強ガ完全ニ行クモノトモ思ヘマセヌシ、又如何ニ單個ノ軍需會社ガ其ノ頭ヲ切替ヘテ如何ニ努力致シマシテモ、今日ノ財界ノ狀況カラ申シマス、ドウシテモ各種ノ關聯シテ居ル企業又同種企業ガ全幅的ニ協力ヲシナケレバ巧ク行カナイノデアリマス、サウ云フコトガ完全ニ行クニハ統制會ノ組織ヲ全面的ニ活用スルコトニ依ツテ、初メテ出來ルト、私ハ斯様ニ考ヘテ居リマスノデ、今後ニ於キマシテモ統制會ハ全幅的ニ之ヲ活用シ、眞ニ統制會ガ設ケラレタ意味、民間ノ知識經驗ヲ從來ノ如ク一會社一企業ノ爲ニ用ヒルニアラズシテ、業界全體ノ爲ニ、更ニ國家ノ要請ニ從ツテ之ヲ活用シテ、政府ト一體トナツテ生産増強ヲヤルト云フ使命ハ愈々重大ナルト思ヒマスノデ、今後統制會ヲサウ云フ意味ニ於テ全幅的ニ活用シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○小笠原(三)委員 統制會存置ノ大臣ノ御

意見ハ能ク分リマシタ、所ガ今日マデノ統制會ハドウカスルト役職員ノ中ニハ從前ノ所屬會社ノマルデ延長トデモ考ヘテ居ルノカ、其ノ利益ヲ圖ル者ガアツタリ、又此ノ頃ハ統制會ハ第二ノ官廳ダト云フヤウナコトヲ言ハレテ居リマシテ、役所風ヲ吹カシテ居ツタリ、又非常ナ高イ率ノ莫大ナ賦課金ナドヲ徴收シテ居ルト云フコトハ、是ハ改メサス必要ガアルト思フノデアリマス、特ニ統制會及ビ統制會關係者、斯ウ云フ者コソ國家意識ヲ強クシテ十分ナ公益的自覺ノ下ニ働イテ貰ハナケレバナラスト思ヒマス、七、五、三式給料、天降リ人事、情實因緣人事、振合釣合人事、斯ウ云ツタモノ等ガ非常ニ多イノデアリマシテ、斯ウ云フ内容ハ出來ルダケ改メテ貰ヒタイ、又出來ルダケ簡素化シテ貰ツテ、而シテ其ノ運營ヲ迅速機敏有效適切ニ替ヘテ貰フ必要ガアルノデアリマスガ、之ニ對スル政府ノ御用意ノ程ヲ御伺ヒ致シマス

○岸國務大臣 統制會ノ使命ノ重大ナコト

ハ先程ノ答辯ニ申述ベタ通りデアリマスガ、緒テ現實ノ統制會ガ此ノ使命ヲ十分ニ達成シ得ルニ相應ハシイ機構ノ内容又其ノ運營方針ガ十分ニ行ツテ居ルカト見マス、澤山アル統制會ノ中ニ於キマシテハ今御指摘ニナリマシタヤウナ批評ヲ受ケルヤウナ點モアルト考ヘルノデアリマス、之ニ對シマシテハ從來モ是ガ改善ニ努力シテ參ツテ居リマスガ、特ニ國ヲ舉ゲテ總員ガ戰鬪配置ニ就クト云フ此ノ重大ナル時局ニ於キマシテハ、先ヅ統制會ノ運營ニ當ル人々ノ頭ノ切替ヘガ行ハレナケレバナラス、次ニ其ノ機構ハ飽クマデ簡素強力ナ形ニ持ツテ行カナケレバナラス、斯様ニ考ヘテ居リマスノデ、十分ニ此ノ内容等ニ付キマシテハ檢討致シマシテ、十分使命ヲ果スニ相應ハシイ形ヲ執ラセルト云フ風ニ指導シタイ、斯様

ニ考ヘテ居リマス

○小笠原(三)委員 今回此ノ軍需會社法案

ヲ出サレルニ當ツテ、政府ノ方デ御發表ニナリマシタ要綱ニ依リマスルト、四ツアルノデアリマス、此ノ四ツニ付テ御尋ネシタイ爲ニ念ノ爲メ一寸讀シテ見マス「(一)軍需會社ノ生産ハ、國家ノ要請ニ應ヘ、國家ニ對シ重要使命ヲ有スルコトヲ明瞭ナラシメ、從業者ノ生産士氣ノ昂揚ニ努ムルコト(二)各種法規上ノ制限禁止等ヲ解除シ、書面監督ノ煩ヲ排除シ、生産ニ専念セシムルコト(三)生産責任者、生産擔當者ヲ置キ、其ノ創意工夫ト努力トニ依リ、増産ノ實現ヲ期シ、生産責任者及生産擔當者ハ、國家ニ對シ生産ノ責任ヲ負フト共ニ、政府ハ、之等ニ對シ信賞必罰以テ其ノ功過ヲ明カニス(四)政府ハ現場ノ實際ヲ明確ニ把握シ、生産上ノ隘路ヲ打開スル爲ニ、簡素強力ナル指導監督ヲ行フ」斯ウ云フ要旨ガ政府カラ御公表ニナツテ居ルノデアリマシテ、洵ニ斯ウナケレバナラスト思フノデゴザイマスルガ、其ノ見地カラ少シ御尋ネシテ見タイノデアリマス、要旨ノ第一ニアル今ノ國家ノ要請ニ應ヘテ云々ト云フコトニ付キマシテハ、此ノ第三條等ニ依ツテ明瞭トナツテ居リマスルガ、此ノ法律ノ全體ヲ見マス、官吏ガ干涉スル範圍ガ極度ニ強化擴大セラレテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ非常ナ適任ナ官吏ガ之ヲヤルナラバ宜シイノデアリマスガ、生産ノコトヲ能ク知ラナイヤウナ官吏ガ、本法ニ基キマシテ餘リニ干涉シタリ權限ヲ揮フコトニナリマス、生産者ノ潑刺タル意氣ヲ沮喪セシムルコトニナツテ、却テ第一ニ言ハレテ居ル從業員ノ生産士氣ヲ昂揚セシムルドコロカ、生産士氣ノ

萎縮減退ヲ來サストモ限ラヌノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ官吏ノ人選等ノコトヲ後デ一寸御尋ネ致シマスルガ、干涉ノ範圍、力ノ及ビ得ル範圍ガ廣イダケニ、又或ル場合ニ於テハ會社ヲ止メサセルコトモ出來ルシ、合併サセタリ、ドンナコトデモ出來ルコトニモナツテ居リマスノデ、是ハ餘程實行ニ付テ考ヘ、運用ニ付テ御考ヘニナラナイト、此ノ第一ノ目的ヲ達シ得ナイノデヤナイカト云フ虞レガ多分ニアリマスノデ、此ノ點ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ツテ置キマス

○岸國務大臣 御質問ノ如ク本法ノ運用ハ極メテ重要デアルト思フノデアリマス、而シテ此ノ運用ニ當リマシテハ、人ト云フ問題ガ必ズ非常ニ重大問題ニナツテ來ルト思ヒマス、之ニ關係スル官吏ノ人選等ニ付キマシテモ十分ニ留意スベキ事柄ハ當然デゴザイマスガ、是ノ運用ニ當リマシテハ、屢々申述ベシ政府ガ發表致シテ居リマス通り、出來ル限り其ノ生産責任者ト云フ者ニ生産上ノ全權ヲ付與スルト云フ建前ヲ執ツテ居ルノデアリマス、唯法律ノ法文自體ガ命令スル規定ダトカ或ハ干涉スル規定ガ非常ニ多イヤウデアリマスガ、是ハドウモ立法技術トシテ立法事項ト云フコトニナルト、要スルニ國民ノ自由ヲ制限スルヤウナコトガテラ大體規定スルト云フヤウニナツテ居リマス爲ニ、非常ニ命令ガ多イヤウニ見エマスガ、併シ之ヲ内容的ニ檢討サレテモ明瞭デアルガ如ク、從來ノ規定ノ如クドテラカト云フト、何々スルコトヲ得ズトカ、何々ハサセナイトカ、或ハ必ズ政府ノ許可ヲ受ケロトカ云フ風ナ、制限的ナ意味ヲ持つテ居ルコトガ非常ニ少イノデアリマス、

寧ろ積極的ニヤラナイ場合ニ、斯ウヤレト云フコトヲ更ニ命令ガ出來ルト云フ風ナ規定ガ多イノデアリマス、是等ノ點カラ見マシテモ、出來得ル限り此ノ生産者、從業者ノ自由ヲ濫刺タル、盛上ル努力ト云フモノヲ根幹トシテ、之ニ對シテ政府ハ脇カラ力付ケ、若シクハソレヲ十分ニ果サナイ場合ニ、之ヲ推進スルヤウニ運用スベキモノダト考ヘテ居リマス

○小笠原(三)委員 次ニ要旨ノ第二ニ依リマス、從來ノ煩瑣ナ統制及ビ取締ニ關スル法規上ノ制限禁止或ハ行政上ノ束縛、サウ云ツタヤウナ事柄ハ解除シマシテ、生産者ヲシテ生産ニ專念セシメルト云フコトデアリマス、洵ニ其ノ實行ヲ要望ニ堪ヘマセヌガ、政府ハ大體ドウ云フ法令ヲ解除スル御考ヘデ居ラレカドウカ、例ヘバ勞務關係ノ諸法令、賃金統制令、經理統制令、資金調整法ノ一部トカ、或ハ各種事業法令、土地關係ノ諸法令、其ノ他各種都道府縣等ノ面倒ナ諸規則、斯ウ云ツタヤウナモノノ相當思切ツテ解除セラレル必要ガアルト思フノデアリマスガ、其ノ點ハ如何デアリマセウカ、更ニ又書面監督ノ煩ヲ省ク爲ニト云フコトヲ言ハレテ居ツテ、是ハ今日書類戰爭ナドヲシテ居ル馬鹿ナ時代デハナイカラ、洵ニ結構ナコトト思フノデアリマスガ、ソコデハ出先ノ軍需監理官ニ一任サレト、書類モ何モ殘ツテ居ラナイカラ、口先ダケデドンナコトヲ言ハレテモ、其ノ儘無理ガ通ルト云フコトニナラストモ限ラナイノデアリマシテ、其ノ點カラ軍需監理官ノ人選ガ特ニ強ク要望サルノデアリマス、軍需監理官ハ極ク人選ヲ嚴ニセラレマシテ、且ツ一切ノ感情ヲ理窟ニ囚ハレズニ、

進ンデ各社ノ生産ニ協力シ、隘路打開ニ努力スルト云フヤウナ立派ナ頭ノ切替ノ出來タ人物ヲ御起用ニナルコトガ必要デアラウト思フ、書類ガアル譯デハゴザイマセヌ、隨テ意地ノ惡イ昔ノ惡代官ノヤウナ人ガ行ツタ困ル、生産意識ノ昂揚ドコロデハナイ、生産増強モ何モアツタモノデハナイ、政府ハ軍需省內、又ハ適當ナ何處デモ宜イノデアアルガ、銓衡委員會ノヤウナモノデモ御作リニナツテ、サウシテ成程此ノ人間ナラ、サウ云フ口頭デ以テ一切返事ヲシテモ宜イダラウト云フヤウナ、サウ云フ人物試驗デモヤル銓衡委員會デモ作ツテ、適材ヲ簡拔スルト云フヤウナ方法ヲ御採リニナツテハドウカ、モウ一ツハ民間人ノ中デモ適當ナモノガアルナラバ、斯ウ云フ時コソ特別ニ起用シタラドウカ、現ニ統制會ニ居ル人モ、統制會社、統制會等ノ整備ニ伴ツテハ、サウ云フ人ヲ相當出シ得ルデアラウカト思フノデアリマス、是等ニ對スル御考ヘヲ併セテ御伺致シテ置キマス

○岸國務大臣 各種法規上ノ制限禁止ヲ解除スルト云フ問題ハ、是ハ具體的ニハ尙ホ茲ニ申上ゲル譯ニモ參リマセヌガ、政府ハ出來得ル限り廣範圍ニ之ヲ解除スル考ヘデアリマス、今御指摘ニナリマシタヤウナ諸法規、又實ハ之ニ關聯シテ調べ見マスルト、私共モ從來氣付カナカツタヤウナ諸般ノ法令ガアリマスノデ、是等ヲ出來得ル限り廣ク排除シテ、苟クモ生産増強ニ支障ヲ來スト云フヤウナモノハ、原則トシテ是等ノ軍需會社ニ付テハ適用ヲ排除スル考ヘデヤツテ參リタイ、左様ニ考ヘテ居リマシテ、次ニ現場ニ配置シマスル所ノ監理官ノ人選ノ問題ニ付テノ御意見ハ、洵ニ御尤モデ

アリマシテ、私共モ今後軍需省ノ運営、又軍需會社法ノ施行ニ際シマシテハ、軍需監理官ト云フモノガ非常ニ重要ナ働キヲナスモノダト考ヘマス、隨テ其ノ人選ニ付キマシテハ、是ハ餘程注意シナケレバナラスト同時ニ、廣ク適材ヲ凡ユル面カラ起用シテ行クノガ宜イト思フノデアリマス、所謂國民ノ總員ガ戰鬪配置ニ就クト云フ意味カラ考ヘテ見マシテモ、官吏カラ採ルコトモアリマセウシ、或ハ軍人ノ中カラ來テ貰フ場合モアリマセウシ、又民間ノ各方面カラ出テ貰フト云フ風ニ、廣ク適材ヲ起用スベキモノデアルト思ヒマス、而シテ是ハ官制ガマダ審議サレテ居ルノデアリマスガ、勿論此ノ官ハ特別任用ノ官ト致シマシテ、廣ク各方面カラ人材ガ得ラレ、起用モ出來ルト云フ制度ニ致シマスト共ニ、其ノ任用ニ付キマシテハ銓衡委員會ノ議ヲ經テ、十分適任者ヲ銓衡シテ行クヤウニ持つテ行キタイト考ヘテ居リマス

○小笠原(三)委員 次ニ要旨ノ第三ニ依リマス、信賞必罰以テ其ノ功過ヲ明カニスルト云フコトニナツテ居リマスガ、勿論サウナケレバナラスコトデアリ、ソレデナケレバ生産増強ハ出來ナイガ、本法ニ依ルト制裁トカ處罰ノ法條ガズツト第二十條以下ニ澤山竝ンデ居リマスガ、信賞ノ方ハ何處ニモ規定セラレテ居リマセヌ、或ハ價格報奨制度ノ運用ニ依ルト云フヤウナ御考ヘガアルカモ知レマセヌガ、ソレハ價格カラノミデナクテ、生産責任者、生産擔當者竝ニ從業員ノ功績アルモノニ對シマシテハ、信賞ノ制度ヲ確立シテ、之ヲ表彰スルト云フ方法ヲ御採用ニナルベキモノト考ヘルノデアリマス、敢テ本法ニ御附加ヘ下サイト申上

ガノデハアリマセヌ、御改メ下サラナイ
デモ宜シイガ、別途デモ宜シイカラ、速カ
ニ信賞必罰ノ制度ヲ御工夫ニナリ、御立テ
ニナランコトヲ希望致シマス、是ガ増産ノ
一ツノ大キナ途デアラウト考ヘマスノデ、
此ノ點ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒマス

○岸國務大臣 一面ニ於テ生産責任者、生
産擔當者其ノ他ノ從業者ニ國家の責務ヲ持
タシテ、之ヲ懈怠シタ場合ノ制裁ヲ科スル
共ニ、一面ニ於テハ是ガ挺身奉公ニ依ツテ
生産ノ増強ヲ現實ニ果シタ、立派ニ其ノ使
命ヲ果シタト云フ場合ニ、之ニ對スル信賞
ヲナスベキ事柄ハ當然デアルト思フノデア
リマス、唯法律ノ規定トシテハ、是ノ規定ヲ
入レルコトハ適當デナイト思ヒマスガ、從
來ト雖モ政府ハ産業功勞者ニ對シテ之ヲ特
ニ報奨シナケレバナラスト云フ考ヘノ下ニ
顯功賞ト云フ規定ヲ設ケテ、國家の報奨ヲ
今日マデモ行ツテ參ツテ居リマス、特ニ今
後ニ於テ此ノ軍需會社ノ關係者ナドニ對シ
テハ、此ノ規定ノ運用ヲ活潑ナラシメテ、
之ニ對スル國家の報奨、又更ニ考ヘナケレ
バナラスコトハ、之ニ對シテ社會的名譽
ヲ與ヘルト云フヤウナ方法ニ付テモ、ヤハ
リ併セテ考究スベキモノデアルト思ヒマス、
尙ホ是ガ私ハ信賞ノ根幹デナケレバナラス
ト思ヒマスガ、尙ホ之ニ附帶シテ物的ノ方
面カラモ今御質問ニモアリマシタ價格報奨
制度ノ運用ニ依ツテ、或ル程度以上能率ヲ
上ゲタ者ニ對シマシテハ、價格ノ點ニ於テ、
報奨ノ意味ニ於テ見テ行キ、ソレカラ上ツ
テ來タ利益ハ之ヲ從業者ナリ、其ノ他生産
效率ヲ擧ゲルコトニ直接貢獻シタ者ニソレ
ガ行クヤウナ形ニ之ヲ運用シテ行カウ、斯
様ニ考ヘテ居リマス

○小笠原(三)委員 次ニ要旨ノ第四ニハ、
生産隘路ノ打開ト云フコトガ書イデアリマ
スガ、生産ノ隘路ハ監督行政ノ煩瑣トカ、
法規ノ複雜、登記トカ手續ナドガ面倒デ遲
滯シテ居ルトカ、窓口行政ノ多元的ナコト
デアルトカ、サウ云ツタコトニモ原因シテ
居リマセウガ、此ノ方ハ只今マデノ御説明

ニ依ツテ、且ツ今回軍需省ガ設置サレルコ
トデアリシ、運用ニ依ツテ漸次之ヲ除去ス
ルコトガ出來ルト思ハレルノデアリマスシ、
又サウヤツテ行カナケレバナラスノデアリ
マス、其ノ次ニ勞務關係カラ來テ居ルモノ
モアリマス、資材關係カラ來テ居ルモノモ
アリマス、資金關係並ニ經理關係カラ來テ
居ルモノモアリマス、價格關係カラ來テ居
ルモノモアリマスノデ、是等ノ點ノ隘路打
開ト云フ意味デ御尋ネ申上ゲタイト思フノ
デアリマス、最初ニ御伺ヒスルノハ、第十
條ニ依リマシテ、軍需會社ノ勞務管理ハ厚
生省ヨリ引離シテ軍需省デ專管セラルルコ
トガ出來ルト思フノデアリマスルガ、如何
デアリマセウカ、併セテ賃金統制令ノ關係
ハドウナルカ、此ノコトヲ御伺ヒ申上ゲマ
ス

○岸國務大臣 軍需省ノ設置ニ伴ヒマシテ、
此ノ軍需會社——軍需省所管ノ事業ノ勤勞
管理ハ軍需大臣ニ於テ專管スルト云フコト
ニナツテ居リマス、隨ヒマシテ之ニ關スル
限リニ於テ、賃銀ノ問題等モヤハリ軍需大
臣ニ於テ專管スル、斯ウ云フコトニナツテ
居リマス

○小笠原(三)委員 次ニ資材關係カラ來ル
隘路ノ打開ニ付キマシテデアリマスルガ、
從來區々ヲ免レナカッタ規格ノ統一及ビ發
注ノ一元化ニ依リマシテ、資材ノ彼此融通、

機動ノ便宜ハ得ラレルコトト考ヘルノデア
リマスルガ、此ノ場合陸海軍ノ兵本トカ、
艦本トカ、航本トカ云フモノガ分離セラレ
テ居リマシテモ、其ノ點ハ何等ノ支障トナ
リマセヌカドウカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマ
ス

○岸國務大臣 先程モ申述ベマシタ通り、
軍需省ノ所管ノ中ニ於キマシテ、主要軍需
品ノ原料及ビ材料ト云フコトガ規定セラレ
テ居リマシテ、最後ノ兵器、艦船ト云フヤウ
ナモノハ是ハ勿論陸軍、海軍等ニ於テ主
管セラレマスケレドモ、其ノ主要ナル原材
料ハ軍需省ニ於テ主管スルコトニナリマス
ノデ、此ノ點ハ兵本、航本等ガアリマシテ
モ、今後軍需省ヲ中心ニ統制ガ行ク、斯ウ
云フコトニナリマス

○小笠原(三)委員 次ニ資金關係及ビ經理
關係カラ來ル隘路打開ニ付テデアリマスガ、
第十條及ビ第十三條ニ依リマシテ、是ハ差
支ヘナイコトナルト思フノデアリマスルガ、
軍需會社ノ資金調辦ト臨時資金調整法トノ
關係、及ビ經理統制令トノ關係ニ付テ御伺
ヒシタイト思ヒマス

○岸國務大臣 資金及ビ經理ニ關シマシテ
ハ、軍需省設置ノ際、軍需省ノ所管スル事
業ニ付テノ資金調整及ビ經理統制ニ付キマ
シテハ、從來ノ商工省、大藏省ノ關係ト異
リマシテ、明確ニ此ノ權限ガ規定セラレテ居
リマシテ、資金調整ノ中、資金ニ付キマ
シテハ此ノ資金ノ額等ニ付テハ專ラ軍需大
臣ガ決メル、各會社ニ對シテドレダケノ額
ノ資金ガ要ル、ドウ云フ内容ヲ持ツタ仕事
ヲヤル爲ニ要ルノダト云フヤウナコトハ、
軍需大臣ガ專ラ之ヲ決定スル、之ニ基イテ
大藏大臣ハ責任ヲ持ツテ之ヲ調達シテ行

クト云フ意味ニ於テ、調達ノ事柄ハ大藏大
臣ニ於テ主管スルト云フコトニナツテ居リ
マス、又經理統制ニ付キマシテモ、此ノ軍
需省ノ所管ハ原則トシテ軍需大臣ガ之ヲ專
管致スノデアリマスガ、唯會社ガ増配ヲス
ルト云フ場合ニ付キマシテハ、是ガ一般金
融市場トノ密接ナ關係ガアリ、事ノ如何ニ
依ツテハ惡影響ヲ及ボスト云フコトガアリ
マスノデ、此ノコトニ付テハ大藏大臣ガ之
ヲ主管スルト云フコトニ致シマシテ、從來
ノ如ク總テガ共管ト云フ風ナ煩雜ナ形ヲ執
ラスコトニナツテ居リマス、尙ホ其ノ中ニ

於キマシテモ、軍需會社ノ扱ヒニ付キマシ
テハ、此ノ第十條ニ、特ニ「資金調整及經
理ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得」ト
云フコトガアリマシテ、今申上ゲタコトハ
軍需省所管ノ事業ニ對スル一般ノ原則デア
リマスルガ、更ニ本法ニ於キマシテハ、本
法ノ適用サレル軍需會社ニ付キマシテハ出
來ルダケ手續ヲ簡便ニスルト云フコトノ必
要ヲ私共痛感致シテ居リマスノデ、原則ハ
今申シマシタヤウナ方針デ參リマスケレド
モ、其ノ事務ノ扱ヒニ付キマシテハ、之ヲ
出來ルダケ簡素ナ形デ一元的ニヤツテ參リ
タイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○小笠原(三)委員 只今ノ問題ハ大藏大臣
後刻出席ノ際質問スルコトヲ御許シ願ヒマ
ス、次デ御伺ヒ致シマスノハ、第十三條ニ
依リマスルト、軍需會社、軍需事業ノ遂行
ニ關係アル者ニ對シ補助金ノ交付、損失ノ
補償又ハ利益ノ保證ヲナスコトトナツテ居
リマシテ、是デドシノ増産計畫ヲ支障ナ
クヤツテ行ケルト私共モ考ヘルノデアリマ
スガ、所デ本法ニハ何等ノ定メガアリマセ
ヌガ、是ハ豫備金ノ範圍デ出サレルノデア

ルカ、又現在ノ豫備金ノ程度、十分ナノカ、又損失ノ補償ハ年々ノ損失ノ補償ヲモスルノカ、今ハ企業費ガ非常ニ高ク付イテ居リマスガ、企業費カラ來ル損失モ將來補償サレハナルカ、此ノ補償ノ範圍及ビ利益ノ保證……是ハ多分配當ノ保證ノ意味デアラウト考ヘラレマスガ、是ハ大體下ノ程度ヲ考ヘラレテ居ルカ、民間ノ者ニ聽クト、少クトモ七分位ヲ要望シテ居ルヤウデアリマスガ、ソレ等ニ對スル考ヘ方、又何カ是等ニ付テ豫算外國庫ノ負擔ノ契約ヲナスニ付テ議會ニ承認ヲ求メラレルコトヲ考ヘラレテ居ルカ、ソレハ出サナイデ後日豫算化スル時ニ初メテ豫算トシテ出スノダト云フコトデアアルノハ、此ノ第十三條關係ヲ御伺ヒ致シマス

○岸國務大臣 十三條ハ云フマデモナク國家ガ此ノ法律ノ八條、九條、十一條若シクハ十二條ノ規定デ色々ナシ生産増強擴充ニ關シテノ命令ヲ出ス、此ノ場合ニ取ル事柄ハ當然一面會社ノ經理ニ非常ナ影響ヲ持ツコトデアリマシテ、果シテサウ云フ必要ナル投資ヲシ、設備ヲ擴充シ、其ノ他變更ヲシテ旨ク行クカドウカト云フコトハ、事業經營者トシテ非常ニ不安デアアルト思フ、其ノ場合不安デアアル爲ニ遲疑逡巡スルコトガアルト、國家ノ要望シテ居ル所ノコトガ出來ナイト云フ關係上、其ノ場合ニ何等不安ハナイゾ、其ノ場合ニハ經理上ノ一切ノ犧牲ヲ拂ハセナイト云フコトヲ明瞭ナラシムルト云フコトガ此ノ十三條ノ規定ノ立法ノ趣旨デアリマス、而シテ此ノヤリ方トシテハ補助金ノ交付、損失ノ補償、利益ノ保證ト云フ各種ノ場合ガアル、尙ホ此ノ規定ニハ直接アリマセスケレドモ、全體ノ軍需會社ノ製品ノ建前ト致シマシテハ、

價格政策デ、事實上茲ニ特ニ舉ゲテ補助金ノ交付トカ、損失ノ補償トカ、利益ノ保證ト云フ形デ出テ來ナイ、價額自體デ或ハ調辨スル場合モアリマス、其ノ他ノ價格政策ノ場合ニ於テ、十分ニ生産者價格ヲ保證スルヤウナ價格制度ヲ運用シテ行キタイ、斯様ニ思ツテ居リマスカラ、其ノ方面ニ於テ餘程從來ノ一般會社トハ違ツテ立場ニ立ツダラウト思ヒマスガ、更ニ大キナ設備ヲ命ズルトカ、色々具體的ニ目立ツタ犧牲ヲ拂ハス場合ニ於テハ、茲ニ補助金ノ交付、損失ノ補償、利益ノ保證ト云フヤウナ問題ガ起ツテ來ルダラウト思ヒマス、此ノ場合ニ於テ如何ナル場合ニ於テ此ノドレヲ取ルカト云フ事柄ハ、實際ニ合フ形ニ於テ、或ル場合ニハ補助金ノ交付ガ、最モ必要ダト云フモノニハ補助金ノ交付デ行ク、或ハ損失ノ補償ガ適當デアアル、或ハ利益ノ保證ガ宜イト云フヤウナコトハ、各種命令内容ト關聯ガアルト思ヒマス、是等ノ場合ハ實際ニ合フヤウニヤツテ行キタイト思ヒマス、豫算トノ關係デアリマスガ、是ハ從來ノ規定ニ於キマシテモ、或ハ斯ウ云フヤウナ特殊ノ規定ニ付テ豫算ノ範圍内ニ於テカ、或ハ帝國議會ノ協賛ヲ經タル金額ノ範圍内ニ於テカ云フヤウナ限定ヲシテ居ル立法モアリマスシ、或ハ又斯ウ云フ十三條ノヤウナ限定ヲシテ居ラナイ立法ノ例モアルト思ヒマス、併シ此ノ命令處分ノ内容ヲ見マスト、如何ニモ是ハ緊急ヲ要スル問題デアリ、又ソレカラ生ズル所ノ損失ナリ、補償スベキ損失トカ、其ノ他ノ犧牲ヲ事前ニ是ダケダト云フヤウナコトヲ決メルコトハ難カシイ狀況ノモノガ多アルト思ヒマス、ソレデ平時ナラバ、勿論先ヅ豫算ノ支出ノ方ノ

關係ヲ議會ノ承認ヲ得テ範圍内ニ於テヤツテ行クト云フノガ私ハ適當ナ方法デアルト思フノデアリマス、併シ事ガ斯ウ云フ事態ニ於テ、而モ命令處分ノ内容ガ今申上ゲタヤウナ内容ヲ持ツト云フコトデアリマスノデ、是ハ豫備金ガアリマスレバ、豫備金ノ範圍内デアルト云フコトハ當然デアリマスガ、併シ更ニ支出ヲ要スルト云フ場合ニ於テ將來豫算化シ、サウシテ此ノ金額ヲ決メルト云フコトハ相成ルト思ヒマスガ、是ハ全ク現在ノヤウナ實情ノ下ニ於テ、而モ斯ウ云フ特殊ノ命令ヲナスト云フ意味ノ一種ノ變態ヲ措置トシテ御諒承願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ利益ノ保證ノ程度ヲドウスルカト云フ問題デアリマスガ、是ハ一様ニハ實ハ申上ゲラレナイト思ヒマス、事業ノ性質ニ依リマシテモ違フト思ヒマスシ、一般的ニ一律ニ何分ノ利益配當マデ保證スル、斯様ニ申上ゲルコトハ適當デナイト思ヒマスガ、是ハ各種ノ事業、又一般財界ノ諸種ノ事情ヲ考慮シテ、決シテ事業者ガ不安ヲ感ズルトカ、若シクハソナ程度ノ利益ヲ保證サレタノデハヤル氣ガシナイト云フヤウナ、生産意欲ヲ鈍ラセルヤウナ程度デハナクシテ、而モ軍需會社ガカト云ツテ甘ヤカスト云フ事柄ハ、私ハ適當デナイト思ヒマス、是等ニ付テハ適正ナ利潤ヲ含メタ程度デヤツテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○小笠原(三)委員 今價格ノコトデ一寸御話ガアリマシタガ、實ハ價格關係カラ來ル生産隘路ト云フモノガ今日マデ一番深刻ナモノガアツタノデハナイカト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、特ニ原料トカ、素材方面カラハ非常ニサウ云フ苦情ガ多く、又實際ニ見テモサウ云フ點ガ多數見受ケラレタノデアリマス、ソコデ今度サウ云フ軍需物資ノ調辨價格ト云ヒマスガ、サウ云フコトニ對スル價格方針ヲコデハツキリト同ツテ置キタイト思ヒマス、簡單デアリマスカラ、私ガ斯ウ云フ風ニオヤリ下サツタラドウカト思フ點ヲ一寸申上ゲテ見マスト、先ヅ一ツハ、一括シテ全部買ツテシマフ、ソコノ生産品ハ全部幾ラ掛ツテモ構ハヌ、其ノ「コスト」ヲ全部見テ買ツテヤル、ソレニ對シテ相當ノ利益ヲ見テヤル、斯ウ云フコトニスレバ、損得構ハズニ生産増強ガ出來ル、斯ウ云フコトニナル、其ノ次ハ價格ヲ決メタルデアリマスガ、是ハ政府モサウ云フ風ニ言ハレテ居ルヤウデアリマスガ、詰リ概算渡ヲシテ置キ、サウシテ精算拂フスル、併シ其ノ場合ニ概算渡モ相當ノ金額ヲヤラナイトイケナイト思ヒマスシ、精算拂ノ場合モ相當多ク利益ヲ見テヤラナケレバイヤスト思フノデアリマス、サウシテヤツテ價格カラ來ル生産ノ萎縮減退等ノナイヤウニシテヤル、第三ノ方法トシテハ、是ハ報奨制度ヲ加味シタモノデアリマスガ、假ニ或ルモノヲ八萬圓デ造ルモノモアリ、十萬圓デ造ルモノモアリ、十二萬圓デ造ルモノモアリト致シマス、其ノ場合ニ十二萬圓ノモノモ若干ノ利益ヲ見テヤラナケレバナリマスマイ、又眞中ノモノニ對シテモ是亦相當見テヤラナケレバナラヌデアリマセウガ、八萬圓ノモノニ付テハ「パーセンテージ」デ出シテ八分見テヤラウトカ、一割見テヤラウトカ云ツテモ、勉強スルモノガ一番利益ヲ少ク見テヤルコトニナル、同ジ原料、同ジ設備、同ジ勞力デ、而モ安クヤルコトデアリマスカラ、是ハ少クトモ中庸生産費ノ所マ

デハ見テヤル必要ガアル、其ノ場合ニハ十萬圓ノ人ト同ジ待遇ニシテヤル必要ガアル、サウナルト八萬圓デヤルモノモ是ハ七萬圓半デヤルヤウナコトニモナツテ參リマセウ、更ニ増産スルコトニモナリマセウカラ、斯ウ云フ價格政策ヲ軍需生産品ニ付テハ御執リ下サル必要アラウト思ヒマス、私ハ此ノ前ノ議會デ所謂原價計算制度ヲ基準トシタ一本ノ價格制度ハイカスト云フコトヲ強調シテ、當時ノ企畫院總裁鈴木國務大臣ハ、其ノ時、自分モサウ考ヘルカラソコヘ持ツテ行クヤウニシヨウト言ハレ、又陸海軍ノ經理局長等モソレモ「サウ云フヤウニ持ツテ行クヤウナ意味ノ御答辯ガゴザイマシタガ、今度斯ウ云フ軍需省一本デヤツテ、之ニ對スル價格ヲ立テルト、價格政策カラ來ル生産ノ萎縮減退等ガナイヤウニ、寧ロソレガ價格政策カラ非常ナ勵ミニナツテ行ケルヤウニヤツテ戴カナレバナラスト思ヒマス」デ、一寸私見ヲ申上ゲマシテ、政府ノ御所見ヲ伺ヒタイ次第デアリマス

○岸國務大臣 御質問ノ點ハ生産隘路ノ中ニ於キマシテモ、相當重要ナ要素ヲナシテ居ル問題デアリマシテ、此ノ價格制度ヲドウ云フ風ニ立テテ之ヲ運用シテ行クカト云フ事柄ニ付キマシテハ、是ハ重大ナ問題デアルト思ヒマス、抽象的ニ申シマス、苟クモ價格制度ノ適當デナイ爲ニ生産ヲ阻碍スルヤウナコトガアツテハナラヌ、又價格制度ハ能率ヲ上げ、サウシテ生産ヲ増強スレバ其ノ勵ミガ付クヤウナ方法ニ依ル價格制度ヲ立テナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ抽象論トシテハサウ云フ心持デヤラナケレバナラヌト云フコトハ言フヲ俟タヌノデアリマス、儲テソレナラバ具體的ニドウ

スルカト云フ問題ニ入ツテ來ル譯デアリマスガ、今日價格制度ガ生産ヲ阻碍シテ居リ、又適當デナイト思ハレル點ハ色々アリマス、其ノ二、三ノ點ハ今御指摘ニナツタ御意見ノ中ニモ現ハレテ居ルヤウニ思ヒマスガ、尙ホ之ニ關聯シテ一、二所見ヲ申述ベテ見マスルト、先ヅ價格其ノモノガ適正デナイト云フコトガ一つアラウト思ヒマス、ソレデハドウ云フノガ適正カト云フコトニ付キマシテハ、原價計算ヲ行ツテ行カナケレバナラヌ、原價計算ヲ行ツテ行ツタ場合ニ於テ、各會社ニ個別的ナ原價計算ヲ採ルコトガ適當デアルノカ、或ハサウデナク中庸生産費ヲ基礎トシタ一本ノ價格ニスルノガ宜イノカ、或ハ數箇ノ階段ニ分ツテ「グループ」毎ノ標準價格ヲ定メテ行ツタノガ宜イノカト云フ問題ガアルト思ヒマスガ、是ハ實ハ總テノモノニ此ノ原則デ一樣ニ行クノダト云フコトハ私ハ適當デナイト思ヒマス、マダ發達ノ途上ニアルモノデ、何デモ彼デモ、ドノ會社ノモノデモ、幾ラ掛ツテモ之ヲ皆助ケテ行カナレバナラヌト云フ場合ニ於テハ、皆各個別的ナ原價計算ヲヤツテ、ソレガ引合フダケデ買ツテヤルト云フ場合ニ於テモ、努力スレバ努力ノ價値ガアルト云フヤウナ意味カラ申シマスト、生産費ノ安イモノノ利益率ハ多クシテヤル、個別的計算ハスルガ、併シドウ高イモノモ兎ニ角其ノ事業ガヤツテ行ケルダケノ値段デ買ツテヤルト云フ問題ガアリマス、更ニ最モ徹底シタコトカラ言フト、標準生産費ナリ、或ハ標準ヨリ少シ上ノ所ノ價格ニ於テ一本デヤツテ行クト云フコトニナリマスト、下ノ能率ノ惡イモノハ儲カラス、儲カラスモノハ止メテ儲カルヤウニ努力シ

ロ、斯ウ押切ツテ行ケルヤウナ物資ニ付テハ、サウ云フ所ハ決メルト云フ問題モアラウカト思ヒマス、尙ホモウ一つハ、價格ニ付テ適正デナイト云フ問題ニ牽聯シテ、適正デアルケレドモ價格ノ決定ガ非常ニ遅レル、其ノ間ハドウモ皆迷ツテヤレナイト云フモノモアラウカト思ヒマス、是ハ今御話ガアツタヤウニ、前渡ナリ、生産價格ノ制度デ行クヤウナヤリ方デ其ノ制度ヲ簡單ニスルコトガ出來ル、何レニシテモ價格ノ適正ト、ソレカラ價格ニ依ル所ノ生産隘路ハ打開スルヤウナ價格制度ヲ立テ行クト云フコトハ十分ニ考フベキコトト思ヒマス

○小笠原(三)委員 尙ホ質問シタイコトモアリマスガ、他ノ委員各位ノ時間モゴザイマスノデ、此ノ程度デ私ノ質問ハ止メマスガ、先刻申上ゲマシタ資金關係、經理關係及ビ法案第十三條ニ關スル問題ニ付テハ、特ニ大藏大臣ノ御出席ノ際ニ質問ヲ許サレシコトヲ望ミマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○加藤委員長 小山君

○小山(倉)委員 私ハ總理大臣ニ對スル質問二、三點ヲ留保致シマシテ、只今小笠原君ノ御質問ノアリマシタコトニ關聯シテ、多少掘リ下ゲテ極ク簡單ニ御質問申上ゲタイト思ヒマス

先程岸國務大臣ノ御答辯デハ此ノ度ノ軍需省ハ飛行機製造ニ專念スル、恰モ飛行機省デアルガ如ク申サレタノデアリマス、ソレハ艦本、兵本、航本ト云フモノガ其ノ所屬ニ入ラヌト云フコトカラデアアラウト思ヒマスガ、今日成程飛行機ノ増産ノ急務デアルコトハ爭ハレナイ事實デアリマスガ、何カ特別ニ重心的ニ必要ナモノガ起ル毎ニ省ガ出來ル

ト云フコトニナレバ、將來幾ツノ省ヲ拵ヘテモ際限ガナイノデアリマス、國務大臣ノ御趣旨ハ左様デハナイト存ジマス、併シ茲ニ艦本、兵本ガ獨立シタト云フコトノ御議論カラ強調サレタコトト思ヒマスガ、軍需省ノ使命ト云フモノハ全般ニ互ツテ差支ヘナイモノト私ハ思ヒマス、全般的ニ互リ得ルモノモ或ル部分ニ於テハアルト考ヘマス、唯併シ私ノ御質問申上ゲタイコトハ、茲デ艦本ト兵本ト航本ト云フモノハ、軍需省ノ所管ニ屬サナイト云フ場合ニ、一定量ノ素材、資材ヲ配分スルト云フ場合ニハドウ云フ風ナ方法デオヤリニナリマスカ、優先的ニ艦本、兵本ト云フ風ニオ分ケニナルカ、其ノ殘餘ノモノヲ重要ナル方面ニ向ケルト云フノカ、其ノ場合ニハ各省トノ間ニドウ云フ組織ノ下ニ其ノ連絡ヲ取ラレルノデアルカ、其ノ點ヲ一寸御伺ヒシタイト思ヒマス

○岸國務大臣 今回ノ軍需省ノ設置ニ依リマシテ從來ノ企畫院ガ廢止セラレマシテ、國家總動員ノ基本ニ關スルモノガ軍需省、軍需大臣ノ所管ニナリマシタ、從來重要ナ資材ノ割當ト云フモノノ根本ハ、言フマデモナク物動計畫ニ於テ定メラレタモノデアリマスガ、今後ハ軍需省ニ於テ此ノ基本ノ事項ヲ立テルコトニ相成リマス、更ニ其ノ實施計畫ニ付キマシテハ、各實施官廳ガ當ル譯デアリマスガ、軍需省ハ一般工鑛業ニ關スル廣イ權限ヲ持ツテ居リマスノデ、重要資材ノ實施ノ計畫モ亦軍需省ガ中心ニナツテ立テルコトニ相成ルト思ヒマス、隨ヒマシテ之ニ依ツテ陸軍、海軍若シクハ民需ノ各用途ニ、ドウ云フ資材ガ四半期別ニドウ云フ風ニ割當テラレルカト云フコトガ明確ニ決マル譯デアリマス、此ノ決マツタ所ノ物

動ガソレノ決マツタ量ニ於テ、決マツタ時期ニ於テ入ツテ行クト云フ事柄ハ、生産配給ト密接ナ關係ガ出テ來ル譯デアリマス、而モ鋼材ヲ初メ重要ナル資材ノ生産ヲ軍需省ガヤツテ居リマス、又配給ノ機構モ軍需省ニ於テ主管ヲ致シテ居ルデアリマスカラシテ、艦本、兵本、其ノ他陸海軍ノ必要トサレル所ノ重要資材ト云フモノハ、ヤハリ今ノ計畫ニ基イテ軍需省ガ其ノ生産關係、配給ヲ擔當スルコトニ相成リマスノデ、決シテ兵本ヤ艦本ガ陸海軍ニ殘ツテ居ルト云フコトカラ、資材配當、配給等ニ非常ナ支障ヲ來シ、混亂ヲ來スト云フ事柄ハ萬ナイモノト斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○小山(倉)委員 大體ノ御趣旨ハ分リマシタ、ソコマデ私ハ今マデノ生産隘路ト云フモノハ、一元統制ト云フ言葉ノ下ニ行ハレタコトガ相當多カラウト思フデアリマス、一元統制ト云フハ一元行政ト云フコトデ、一元的ニ組織ヲソコニ纏メ込シマフ、例ヘバ一ツノ會社ニシナケレバ承知シナイ、斯ウ云フヤリ方ハ私ハ各方面ニ於テ生産ヲ阻碍シテ居ル點ガ相當多カラウト思フデアリマス、今回モ艦政本部ニ付テハ長イ間ノ經驗ト長イ間ノ組織ト云フモノガアルノデアリマスカラ、之ヲ軍需省ニ入レナケレバ軍需省ノ本當ノ目的ガ達シナイ、兵器本部ヲ此ノ中ニ入レナケレバ達シナイト云フモノデハナイ、組織ノ中ニ入レナケレバナラヌト云フモノデヤナイ、ヤハリ艦政本部ハ艦政本部トシテ獨立シテモ、兵器廠ハ兵器廠トシテ獨立シテモ、國家全體ノ運營ハナシ得ルデアリマス、私ハ此ノ點ニ於テハ寧ロ決戦ヲ前ニシテ、此ノ一元會社ノ合同ミタイナコトヲ考ヘズニ、茲ニ監督ヲ軍需

省、海陸軍ニ置クト云フコトモ敢テ差支ヘナイ、ソレハ必ズシモ私ハ軍需省ノ成果ヲ弱クスルモノデハナイ、唯此ノ運用如何ニ依リ、連絡如何ニ依ルデアリマスカラ、サウ云フ方面ニ付テ一ツ十分ノ留意ヲ圖ラレタイト思フデアリマス、ソコデ政府ハ此ノ度此ノ生産ノ隘路ナルモノヲ排除スル、或ハ特ニ特例ヲ設ケルト云フコトヲ此ノ法律ノ中ニ謳ツテアリマス、之ヲ實行セラレルデアリマスガ、例ヘバ私ハ例ヲ以テ申上ゲルデアリマスガ、或ル重要ナル生産事業ニハ、運輸機關ノモノヲ專屬サセルコトガ非常ニ好イ場合ガアル、即チソレハ特例デアリマス、併シ政府ノ方針ハ運輸ニ付テハ一元ノ統制ヲシテ居ル、全部一元會社ノ指導ノ下ニヤラナケレバ配船ガサレナイト云フコトガアリマスガ、一部ハ專屬サシタ方ガ好イ場合ガアル、サウ云フ點ニ付テハ十分考慮セラレル御考ヘデアルカドウカ、大體ソレダケノコトヲ申上ゲレバ御分リニナルガラウト思ヒマス、ソレガ大分隘路ニナツテ居ル點ガアリマスカ、サウ云フ點ニ御留意ガアルカドウカ、其ノ點ヲ一ツ……

○岸國務大臣 此ノ統制ノ最モ端的ナ、理想的ト云ヒマスカ、最モ理論的ニ徹底シタ形ハ、御話ノ如ク一元統制デアリマス、一ツノ意思デ以テ總テノモノガ動クト云フ形ニスルト云フコトガ、一番理論的ニハ徹底シタ方法デアリマス、所ガ是ガ中々旨ク行カス、殊ニ從來長イ間自由主義ノ經濟ニ於テ互ヒニ競争シ、互ヒニ小股ヲ掬ヒ合ツタト云フヤウナ機構、組織、人ト云フモノヲ集メテ、形式的ニ一本ニシテ見テモ中々旨ク行カヌト云フノガ、此ノ數年來統制ノ現實ノ惱ミデアツタ問題デアラウト思ヒマス、

之ニ對シテソレデハ特殊ノ場合ニ於テハ例外ヲ認メテ、ソレダケノ關係ニ於テハ統制ノ例外トスルト云フヤウナ問題ガ考ヘラレテ來テ居ル、是ガ又餘リ極端ニ行ツテ、俺モ例外、俺モ例外ト云フコトニナルト、總テガ自由競争ニナツテシマフト云フコトニナルデアリマス、併シナガラ形式的ナ一本統制ト云フ理論ニ拘泥シテ、ギョチナクシテ居ルト云フヤウナ爲ニ、實際ノ運營ガ旨ク行カヌト云フモノハ、特殊ノ限ラレタ部分ニ於テ例外ヲ認メテ行クト云フノガ、是亦私ハ實際ニ即シテ最モ適當ナ方法デアラウト思ヒマス、隨テ運輸等ノ關係ニ於キマシテモ、其ノ他各種資材ノ獲得ノ點ニ於テ生産ノ隘路ヲナシテ居ツテ、是サヘ旨ク行ケバ生産ノ隘路ガ打開出來ル、而モ一般ノ統制ノ全面ヲ壞スモノデヤナイト云フヤウナ場合ニ於テハ、之ニ例外ヲ認メテ行クト云フノガ、現實ノ統制方法トシテハ適當デアラウト思フ、斯ウ云フ意味デ、或ハ機帆船ノ專屬ノ問題、或ハ「トラック」等ノ專屬ノ問題等モヤハリ一元統制ノ原則トハ致シテ居リマスガ、必要ナモノニ付テハ或ル程度ノ例外ヲ認メルト云フコトデ運用ヲ致シテ居リマス、唯吳々モ申上ゲテ置カナケレバナラス事柄ハ、其ノ部面ダケヲ見ルト、例外トサレルモノハ非常ニ宜イガ、其ノ反面ニ於テ非常ナ犧牲ヲ負フ所ノ産業ナリ、事態ガアルノデアリマス、併シナガラ其ノ犠牲ヲモ忍ンデ、而モ是ハドウシテモヤラナケレバナラス國家ノ要請ト睨ミ合ハセテ、例外ハ適當ニ認メテ行ク、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○小山(倉)委員 政府ガ曩ニ例示サレタ諸法律ノ中、排除スルモノ、或ハ特例ヲ設ケル條令ヲ出サレタデアリマスガ、ソレデモ尙ホ私ハ各省ニ殘ル事務ガ相當多カラウト思ヒマス、食糧ニ關シテハ農商省或ハ木材ニ付テモ農商省、或ハ資金ニ關シテハ大藏省、勞務ニ對シテハ厚生省、全部之ヲ軍需省ニ專管セシムルコトニ、果シテソレダケノ用意ガアルカ、サウ云フ準備ガ出來ルカドウカ、其ノ場合ニ又外ノ支障ヲ來スト云フヤウナコトデ、尙ホ連絡ヲ執ラナケレバナラス場合ガ多カラウト思ヒマス、デスカラ殆ド此ノ法律ノ整理ノ爲ニハ二、三年モ掛ルト云フ程多ク出シタ法律ノ中、只今例示サレタヤウナ一部ノ法律ヲ或ハ排除シ、或ハ之ニ特例ヲ設ケテモ、尙ホ漏レルモノガ相當多カラウト思ヒマス、其ノ場合ニハ今マデヨリハ多少統制ノ煩瑣ナル手續ハ除カレタト云フノガ、尙ホ多少少コロデハナイ、多クノ部分ガ殘ルト云フコトモ俱ラレルデアリマス、其ノ漏レタ點ニ付キマシテハ、十分ナル處置ヲ執ラレルト思フデアリマスガ、尙ホ澤山殘ツテ、今マデト餘リ違ハナイト云フヤウナ狀態ニナルコトヲ憂ヘルデアリマス、政府ノ御見込デハ其ノ點ハドウ云フ風ニオ考ヘニナツテ居リマスカ

○岸國務大臣 今日統制法規、制限法規ト云フモノハ御承知ノ如ク、全ク無數ト云ツテモ宜イ程アルデアリマス、併シ法又トシテハ非常ニ煩瑣デアリマスガ、現實ニ生産者ニ非常ナ障礙ヲ與ヘテ居ル規定ト、サウデナイ、サウ云フノモアツタカト云フ程、年ニ一遍適用サレルカ、或ハ十年ニ一遍適用サレルカ分ラヌヤウナ、併シ法文トシテハ儼然トシテ存シテ居ルト云フヤウナモノ

ト二ツアラウト思フ、現實ニドレガ支障ニ
ナツテ居ルカト云フノハ、大體會社ニ聽イ
テ見ルト、又現實吾々モ接シテ居リマシテ、
ドノ規定トドノ規定ガ一番問題ダト云フモ
ノハ、大體見當ガ付イテ漏レナイと思ヒマ
ス、是等ノモノヲ網羅シテ處置シマス、
凡百ノ成程ソシテ規定モアツタカト云フヤ
ウナ問題ハ、若シ假ニ漏レタコトガアツタ
トシテモ、業界カラ言フト殆ド痛痒ヲ感ジ
ナイ、併シ私ハ出來ルダケ洩ラサナイヤウ
ニ、不必要ナモノハ悉ク是ハ適用シナイト
云フ風ニ持ツテ行キタイと思ヒマスガ、併
シ現實ニ生キテ居ツテ非常ニ事業上ニ支障
ヲ來スヤウナモノハ、少クトモ洩ラサナイ
積リデアリマスガ、相當ニ實際問題トシテ
ハ簡素ニ行ク、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマ
ス

○小山(倉)委員

私ハモウ一點御伺ヒ致シ
タイト思ヒマス、最近ニ電力ノ不足ハ大分
豫想セラルルノデアリマスガ、飛行機ノ増
産ヲ期スルニ付テ、私ハ尙ホ將來其ノ不足
ヲ補ヒ得ルカドウカト云フコトニ付テハ、
非常ニ憂ヲ持ツテ居ルノデアリマス、然ル
ニ之ヲ遂行スルニ付テ色々ナ支障ガアル、
配給上ニ於テ色々ナ支障ガアル、餘リ時ヲ
取り過ギルト云フヤウナコトカラ、此ノ戰時
緊急ノ需要ニ間ニ合フコトガ出來ナイデヤ
ナイカト云フ風ニ憂ヘラレル點モ多イノデ
アリマス、是等ニ付テ今マデ「ネック」トナ
ツテ居ツタ問題ガアルノデアリマスガ、サ
ウ云フモノヲ建設スルニ付テノ便宜ハドウ
云フ風ニ與ヘラレルカ、資材ノ獲得ニ付テ
ハドウ云フ風ナコトヲ考ヘテ居ラレルカ、
大體此ノ法律ニ於テドウ云フ方面ニ付テノ
施策ガアラレルカ、其ノ點ヲ一寸伺ヒタイ

○岸國務大臣

電力ノ點ニ付キマシテハ、
御承知ノ如ク航空機ノ増産ヲヤル上ニ於テ
電力ハ非常ニ重大ナル關係ヲ持ツテ居ルノ
デアリマス、今回軍需省ガ設置セララル場
合ニ於テハ、電力ガ軍需省ノ所管ニ決定セ
ラレテ居ルノモノコニ重點ガアルト思ヒマ
ス、然ラバ現在ノ電力ノ狀況ハ、將來ノ飛
行機ノ大增産等ノ上カラ見テ十分ニ需給關
係ガ立ツテ居ルカドウカト云フ問題ニ關シ
マス、相當今御懸念ニナツテ居ルヤウナ
點モ私共アルト思ヒマス、是等ニ付テハ極
力短カイ期間ニ電力ヲ豊富ニスルコトヲ國
家トシテ考ヘナケレバナラスコトハ當然デ
アル、此ノ電力ヲ急速ニ殖ヤスト云フ問題
ニ關シテ、色々ナ隘路ト言ヒマスカ支障ガ
アル、今御指摘ニナリマシタヤウナ法規上
ノ煩瑣ナル手續、若シハ制限等ノ爲ニ、
折角非常ニ容易ニ變電出來ルヤウナ電源ガ
アリナガラ、之ヲ開發スルコトガ出來ナイ
トカ云フヤウナ問題モ、私共モ一二承知致
シテ居リマス、是等ハ斯ウ云フ事態ニナリ
マス、平時のナ頭ヲ捨テテ之ヲ急速ニ打
開シテ行クト云フコトニヤラナケレバナラ
スコトハ當然デアル、又資材等ノ爲ニドウ
シテモ急速ニ出來ナイト云フヤウナ問題ニ
付キマシテモ、軍需省所管トナリ、航空機
ヲ中心トシテ一聯ノモノニ重點ヲ置イデヤ
ルト云フコトニナリマス、是モ從來ヨリ
餘程其ノ隘路ハ打開サレルコトト思ヒマス、
何レニ致シマシテモ將來電力ヲ豊富ニスル
コトニ付キマシテハ、手續ノ上カラモ、或ハ
制度ノ上カラモ、又資材、資金其ノ他所謂生
産手段ノ點ノ上カラモ、之ヲヤハリ軍需省
ノ航空機ヲ中心トスル一聯ノ重要産業トシ
テ之ニ重點ヲ置イデ打開シテ行クト云フコ

トデナケレバナラス、斯ウ云フ風ニ思ツテ
居リマス

○小山(倉)委員

私ノ質問ハ大體盡キマシ
タ、アト總理大臣ニ御伺ヒ致シタイコトガ
アルノデアリマス

○加藤委員長

次ニ通告順ニ依リマシテ永
野君ニ御願ヒ致シマス

○永野委員

私ガ質問致シタイト思ヒマス
條項ノ大部分ハ小笠原委員ノ御質問デ盡キ
マシタノデ、特ニ重ネテ念ヲ押ス意味デ繰
返シマス事項ノ外、小笠原委員ノ申サレナ
イ部分ニ付テノミ御伺ヒ致シタイト思フノ
デアリマス

第一ニ本法ハ空襲必至ノ現在ノ狀態ノ下
デ其ノ空襲ノ現實化シマシタ時ニ、生産能
率ヲ落サナイデヤツテ行クト云フコトヲ考
慮ノ中ニ入レテ立案ナスツタカドウカト云
フ點デアリマス、ト申シマスノハ、今日ノ
日本ノ企業形態ハ非常ニ完備シタ中央集權
的ノ制度ニナツテ居リマシテ、ソレハ官
ト云ハズ、民ト云ハズ、地方ニ於テハ殆
ド何ニモ分ラナイト云フノガ實情デアリ
マス、今日東京中ノ宿屋ト云フ宿屋ガ地方
カラ出テ來タ人間デ一パイニナツテ居ルト
云フコトハ、是ノ最モ明カナ現象デアルト
思フノデアリマス、今ノヤウナ狀態
デ——詰リ地方ニ居ツテハ何ニモ分ラナイ、
原料ハ何處カラドウ云フ風ニ取ツテ來ル
カ分ラナイシ、又造ツタ製品ハ何處ヘドウ
云フ風ニ納メテ行クカ分ラナイト云フヤウ
ナ事情ガ繼續サレテ居ル儘デ、交通通信機
關ガ途絶エマシタ時ニ、果シテ今日此ノ立
法デ以テ十分ニ對處シ得ルヤ否ヤ、ト申シ
マスルノハ、私ハ之ヲ切抜ケル爲ニハ、今
日ノ高度ニ組織化サレ、中央集權化サレタ

企業關係ヲ——企業組織ソレ自體トシテ
ハ或ハ退化カモ知レマセヌガ、宜イカ惡イ
カ知リマセヌケレドモ、チギツテモ生キテ
居ル、或ル程度マデ蚯蚓ノ生命ノヤウニ中
央カラ離レテモ存在スルヤウナ仕組ニシテ置
カナケレバナライノデハアルマイカ、是
ハ意見ニナルカモ知レマセヌケレドモ、ソ
レニ付テハ例ヘバ、行政協議會ヲモツト活
用スルトカ、或ハ統制會社ノ支部組織ヲモ
ツト強化シテ、斷エズ中央ノ事情ガ地方ニ
十分ニ分ツテ居ルヤウナ仕組ニシ、其ノ仕
組ニ基イタ地方工場ノ運用ト云フ制度ニシ
ナケレバナライノデハアルマイカ、斯ウ
云フコトヲ考ヘマスルト、例ヘバ生産責任
者ト云フヤウナモノハ、一社一人ト云フ原
則ガ果シテ其ノ實情ニ適スルヤ否ヤ、生産
擔當者ニシテモ亦同様ナコトガ言ヘルト思
フノデアリマス、空襲必至ノ現狀ニ於
テ、此ノ軍需會社法案ノ運用ガ果シテ十分
ニ行クカドウカト云フコトニ付テノ政府ノ
御所見ヲ承リタイト思フノデアリマス

○岸國務大臣

御質問ノ全面ニ互ル空襲ニ
對スル國家ノ全面的態勢ノ強化ニ付キマシ
テハ、過般ノ國政運営ニ關スル政府ノ方針
モ、特ニ之ヲ防空問題ニ付テノ重要項目ノ
一ツトシテ取上ゲタノデアリマス、ト申シ
マスノハ、全體今日マデノ發達ノ狀況、又
現狀ハ、實ハ此ノ點ニ關シテ國家全面トシ
テ十分ナ措置ガマダ遺憾ナク講ゼラレテ居
ルト、斯ウ云フコトヲ申上ゲルニハ十分ナ
所マデ行ツテ居ラスト思フノデアリマス、
隨ヒマシテ凡ル方面カラ此ノ問題ハ防空、
防衛ニ關スル態勢ト云フモノヲ強化シテ行
カナケレバナラスコトハ言フヲ俟タイノ
デアリマス、政府トシテハ之ヲ全面ニ互ツ

テ強力ニヤツテ行ク考ヘデアリマス、更ニ御指摘ニナリマシタ企業經營ノ部面ニ於ケル空襲必至ニ應ズル態勢トシテ、本社ト地方ノ現場トノ關係、又一般的ニ此ノ生産ニ付テノ中央ト地方トノ關係ニ付テノ御意見ハ、私洵ニ御尤モダト存ジマス、現ニ政府ガ地方行政協議會ト云フモノヲ地方ニ置キマシテ地方協議會ノ會長ト云フモノヲ毎月一度ヅツ集メテ、サウシテ中央ノ意見ナリ方針ト云フモノヲ之ニ透徹セシメ、事情ヲ明瞭ナラシメテ置クト云フコトハ、從來ノ地方長官會議ヲ年ニ數回開イテヤルノトハ非常ニ意味ヲ異ニ致シマス、此ノ協議會制度ノ運用ト云フコトモ、一面ニ於テハ今ノヤウナ御説ノ事柄ニ丁度對應スルヤウナ意味ヲ持ツテ居ル、又此ノ軍需會社ニ付テモ生産擔當者ト云フモノヲ必ズ工場毎ニ置カシテ、之ニ責任ヲ持タセ、同時ニ之ニ廣イ職務權限ヲ任セヨウト云フコトヲ前提ト致シテ居ルノデアリマス、是モ從來統制經濟ノ一ツノ弊害デアル中央集權ニ偏シテ居ルト云フコトヲ打開シテ、少クトモ一ツノ工場ニハ一人ノ生産擔當者ガ居ツテ、ソレハ相當廣イ權限デ以テ事ヲ處理スルコトガ出來ル、勿論空襲其ノ他ノ異變ノ場合ノミナラズ、平素ニ於テモ相當ナ權限ヲ持ツテ居ル、一々本社ニ伺ヒヲ立デナケレバ小サイモノヲ買フコトモ出來ナケレバ、契約モ出來ナイト云フヤウナ形ニシナイト云フノガ是ノ狙ヒデアリマス、大體私共ハ此ノ生産ヲ上ガテ行ク上カラ申シマシテモ、又サウ云フ異變ノ場合ヲ考ヘテ見マシテモ、生産現場ト云フモノヲ一單位トシテ、中央カラ離レテモ其ノ生産ヲ十分ニ續ケ得ルヤウナ仕組ニシテ行キタイ、同時ニ又此ノ軍需監理官

ノ制度ニ付キマシテモ、大體協議會ノ會長ノ置カレテ居ル地區ニハ少クトモ一ツノ事務所ヲ置イテ、監理官ガ其處ヲ足溜リトシテ、又其ノ監理官ニ軍需大臣ガ相當權限ヲ任セテ、現場デ即決出來ルト云フ風ニ致スコトガ、實情ニ於テハ生産ヲ簡素ニ強力ニ行ハシムルコトデアルシ、又或ル異變ガアツタ場合ニ於テハ、ソコデマゴツカズニ之ヲ處理出來ルト云フヤウナ態勢ヲ執ツテ行ク積リデアリマス、尙ホ御説ニモアリマシタ統制會ノ運營ニ付テモ、支部ヲ強化シテヤツテ行クト云フ御考ヘハ御尤モデアリ、又從來モ多少考ヘテ居ルノデアリマスガ、マダ非常ニ不十分デアリマスカラ、是ハ今後ニ於テ其ノ御意見ノヤウニヤツテ行キタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○永野委員 只今工場擔當者ノ權限ヲ非常ニ強化シテ、成タケ現場デ決裁ノ出來ルヤウニスル積リデアルカラト云フ御説明ガゴザイマシテ、其ノ點ハ洵ニ御同感デアリマスルガ、私ハ單ニ其ノ工場經營ソレ自體ノ事務ヲ工場擔當者ニ任セルト云フダケデナクテ、其ノ工場擔當者ハ日本全體ノ産業、少クトモ自分ノ會社全體ノ運用方法ヲ十分ニ心得テ居ツテ、其ノ一環トシテノ自己ノ工場ハドウ云フ風ニ運用スルカト云フコトヲ吞込マシメマセスト、從來ノ如ク單ニ工場長ハ其ノ工場ノコトダケニ專念サスト云フ仕組デハ、交通通信機關ノ途絶エタ時ニハ困ルノデハナイカト云フコトガ、私ノ大臣ニ伺ヒマス「ポイント」デアツタ譯デアリマス

ソレカラ私ガ後ニ軍需監理官ノ所デ實ハ申上ゴウト思ツテ居ツタコトヲ大臣ノ方カラ御言葉ニ出マシタカラ、此ノ際ニ軍需監理官ノ問題ニ關シマシテ觸レテミタイト思フノデアリマスガ、私モ只今申シマスヤウナ同ジヤウナ趣意デ、軍需監理官ノ權限ハ成ルタケ強化サシテ戴キタイ、權限ヲ非常ニ強化サレルト共ニ、軍需監理官ニモ非常ナソレニ對スル責任ヲ感ズルヤウナ機構ニシテ戴キタイ、勿論オ役人ガ國家ニ御奉公ナサルノデアリマスカラシテ、事改メテ其ノ責任ヲ強調スル必要ノナイノハ勿論デハゴザイマスルケレドモ、一面ニ於テ會社ノ經營者ガ之ニ依ツテ非常ナ責任ヲ背負フノデアリマスカラ、是ト一致協力シテ、其ノ責任ヲ遂行サレマスル所ノ軍需監理官ハ、少クモ倫理的ニ生産責任者及ビ生産擔當者ト連帶責任デアリ、軍需工場ノ生産責任者又ハ生産擔當者ガ處罰サレルヤウナ場合ニハ、軍需監理官モ同罪デアルト云フヤウナ心構ヘデ以テ積極的ノ行動ヲ執ツテ戴キタイ、ト申シマスノハ、從來兎角オ役人ノ行政ガ監督のニナリ、消極的ニ流レマシテ、積極的ニ増産ニ盡力スルト云フヤウナ仕組ハ、ドテラカト申シマスルト、餘リ重點デナカツタカノヤウニ思ハレル節ガ實際問題トシテアルノデアリマスルガ、此ノ點ハ先程大臣モ御話ニナツタ點デアリマスルケレドモ、今度ハ特ニ劃期的ニオ役人モ會社ノ責任者ト連帶責任デアルト云フ心構ヘニナツテ戴キタイト思フノデアリマス、其ノ義務ノ觀念ノ裏ト致シマシテ、權限ハ成タケ廣イ權限ヲ與ヘテ戴キタイト思フノデアリマス、此ノ權限ガ大キクナリマスルト、ソレニ伴ウテ先程小笠原君カラ千縷、御説明ガアリマシタヤウニ、其ノ人選ガ非常ニ大切ニナルノデアリマス、既ニ大臣カラモ御答辯ガアツタコトデアリマスルカラ、諄イ

ヤウデアアリマスルケレドモ、實ハ私共ハ此ノ軍需會社法案ガ成功スルモ失敗スルモ、此ノ人選如何ニアリト言ツテモ宜イ位重大ナル點デアルト思ヒマスルガ故ニ、繰返シテ申上グルノデアリマスルケレドモ、ト致シマスルト此ノ人選ガ最初ハ非常ナ意氣込デアリマスルケレドモ、段々馴レルニ從ツテ、語弊ガアルカモ知レマセヌケレドモ「ルーズ」ニ流レ、トモスルト目先ノ他ノ理由、例ヘバ行政整理ガアツテ人員ガ餘ツテ來ルカラ、アレヲアスコヘ箴メヨウ、或ハ機構ノ變革ニ依ツテ餘裕ノ出來タ人ヲソテラヘ一時廻シテ置カウト云フヤウナ、便宜のナ人事ガ現實ノ問題トシテ行ハレテ居ツタト云フコトハ、是ハ否定ノ出來ナイ事實ダラウト思フノデス、併シ今度ハ殆ド此ノ人選如何ガ此ノ法案ノ生命如何ニ係ルト云フ位重大デアリマスルカラ、全ク捉ハレナイ適材適所主義デ以テ、此ノ人選ヲサランコトヲ希望致シテ置キマス

○岸國務大臣 生産擔當者ガ現場ニ於テ成ベク非常ナ廣イ權限デ處理スルト同時ニ、會社全體ノコトヲヤハリ知ツテ、自分ノ工場ノ意義、重要性ト云フヤウナモノヲ十分認識シテ居ル必要ガアルト云フ永野君ノ御質問ノ御趣旨ハ私モ同感デアリマシテ、出來レバ運用トシテハ從來工場長ト云フモノハ、中ニハ重役、取締役デアツテ工場長ノ者モアリマスガ、工場長ト云フ者ハ會社デ云フト重役デナイト云フ場合ガ多イノデアリマスガ、私ハ生産擔當者ハ一面ニ於テ工場長タル仕事ヲ其ノ工場ニ在ツテスルト共ニ、ヤハリ會社全體ノコトヲ知ツテ居ル以上ニ於テ、出來レバ此ノ役員ノ中カラサウ云フ者ガ任命サレテ行クト云フコトガ望マ

シイト思ツテ居ル、勿論色々人間ノ關係モアリマシテ、ソレヲ必ズ役員デナケレバイカスト云フコトデ運用スルコトハ適當デナイト思ヒマスガ、其ノ邊ハ御趣旨ノ如ク生産擔當者ノ選任ニ當リマシテ、軍需會社ヲ指導スルニ當リマシテハ十分心得テヤツテ參リタイト思ツテ居リマス、ソレカラ軍需監理官ノ人選竝ニ其ノ職務ノ事柄ニ關シマシテノ御意見モ御尤モデアリマシテ、私共モ先程御答申上ゲマシタ通り、軍需監理官ノ制度ノ運用ガ旨ク行クカ行カナイカト云フコトハ、軍需工場ノ此ノ法ノ運用ノ上ニ於テモ非常ナ重大性ヲ持ツテ居リ、又軍需省ノ仕事ノ行政ノ上カラ申シマシテモ、極メテ重大ナル働キヲ持ツテ居ルト思フノデアリマス、デ色々從來役人ノヤリ方等ニ對シマシテ、非難若クハ批評等モ聞クノデアリマスガ、商工省ニ於キマシテ數年前カラ工務官ト云フ制度ヲ置イテ、管理工場ニ配置致シテ居リマス、此ノ工務官ノ制度ニ付キマシテハ、商工省トシテハ之ニ非常ナ力ヲ入レテヤツテ參ツテ居リマシテ、今御指摘モアリマシタガ、何カ役人トシテ都合ガ惡イトカ、或ハ整理スルト云フヤウナコトデ、腰掛ケニヤルトカ、或ハ人員ノ配置上其處ヘヤツテ置クト云フヤウナ事ハ、工務官ニ付テハ未ダ一回モシタコトハナイ、寧ろ商工省内ニ於ケル優秀ナ者ヲ出シテ行ク、將來商工省ノ行政ノ中樞ノ地位ニ立ツ者ハ、一遍工務官ヲヤツテ來ナケレバイカスト云フヤウナ考ヘ方カラ、是ノ人選ニ付キマシテモ、私共非常ナ力ヲ入レテヤツテ參ツタノデアリマス、又同時ニ民間方面カラモ達識者又經驗者等ノ適當ナル人ハ、之ニ特別任用ヲシテ今日マデヤツテ來テ居リマ

シテ、マダ時日ハ二年餘デアリマシテ甚ダ長イ期間デアリマセヌガ、實ハ手前味噌デハナシニ、私ハ此ノ制度ガ相當ヨク運用サレテ居ルト思フノデアリマス、今後軍需監理官ニ付キマシテモ、今御話ガアリマシタヤウニ、其ノ現場ニ於ケル生産ヲ確保シテ行クト云フコトハ、生産擔當者ト共ニ殆ド共同責任デ一體ニナツテヤルノダト云フヤウナ氣持ハ、今日工務官ニ於テモ、或ハ陸海軍ノ監理官ニ於キマシテモ、私ハソレハ寧ろ或ル場合ニ於テハ餘リソレガ強過ギルト云フ非難ガアル位、強ク其ノ問題ハ考ヘラレテ居ルト思フノデアリマス、併シ之ヲ若シモ唯單ニ監督若シクハ形式ノ權カ服從ノ關係ト云フヤウニサレルトコトガアレバ、是非非常ナ監理官制度ノ濫用デアリ、若シクハ其ノ本來ノ趣旨ヲ滅却スルモノデアリマスノデ、軍需監理官ノ服務ニ付キマシテ職務規定等ヲ設ケマシテ、其ノ職責ガ現場ノ責任者ト一體トナツテ、生産隘路ノ打開、生産ノ確保ガ第一ノ職責デアルト云フコトヲ明瞭ナラシメ、又其ノ職務ハ飽クマデ其ノ生産責任ノ本義ニ徹シテ、誠實且ツ嚴正ニ之ヲ行ツテ行カナケレバナラナイト云フコトヲ明確ナラシメタ服務規律等モ設ケル考ヘデアリマシテ、十分此ノ制度ヲ活用シ、立派ニ運用シテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○永野委員 只今次官ノ監理官ノ任命ニ關スル心構ヘヲ承リマシテ非常ニ満足致シマス、ト申シマスルノハ、從來軍管理工場ノ監理官ト云フ方ノ中ニハ、例ヘバ非常ニ若クテ、學校ヲ出テ、所謂短期現役ニ來テ初メテ實社會ニ出タ、本當ノ世ノ中ノ實務ニハ全ク經驗ノナイ人ガ、非常ニ複雑多岐ニ互ル會社ノ生産ノ監督ヲセラレタヤウナ實情モアリ、又其ノ外ニ所謂應召ニ依ツテ、從來ノ仕事トハ全ク無關係ナ豫備軍人ノ方々ガ生産ノ監督ノ任ニ當ラレマシタ時ニ、往々其ノ監督ノ方法ガ、先刻申シマシタヤウナ嫌ヒガアツタコトモアリ得ルノデアリマス、斯ウ云フ例ヲ時々聞イテ居リマス爲ニ、特ニ諄ク繰返シテ申上ゲタ次第デアリマス、此ノ點ニ關スル質問ハ是デ終リマシテ、アト極メテ些細ナ問題カモ知レマセヌケレドモ、法律問題ヲ二、三承リタイト思ヒマス

先ヅ第一ニ此ノ軍需會社法案ノ中ニハ、商法ノ規定ノ除外例ニナル部分ガ大分澤山アルヤウニ見受ケラレルノデアリマス、是ガ商法ノ規定ガ全面的ニ排除サレテ居ルノデアリマスルト、寧ろ割合ニ扱ヒ易イノデアリマスルケレドモ、私共ノ感じ方デハ商法ノ規定ガ半殺シニナツテ居ルヤウナ感じノスル部分ガ多イノデアリマシテ、隨テ後ニ殘リマスル會社責任者ト致シマシテハ、其ノ運用上非常ニ迷フ點ガ多イヤニ疑ハレマスルノデ、先ヅ以テ此ノ軍需會社法案ノ實施ニ伴ヒ、商法ノ規定ニ除外例ヲ設ケナケレバナラナイヤウナ規定ノ條項ヲ列舉シテ戴クコトガ出來レバ非常ニ便宜ダト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○岸國務大臣 今御質問ノ點ハ至急調べマシテ、何條ト何條ト云フモノヲ資料ニシテ配付スルコトニ致シタイト思ヒマス

○永野委員 ソレデハ簡條ニ付キマシテハ後程御調査ノ上戴クコトヲ御願ヒ致シマス、次ニ條文ヲ離レマシテ、二承リタイノデゴザイマスガ、第四條ニ於ケル生産責任者ノ任命ト云フノハ公法上ノ性質ノモノ

○岸國務大臣 第四條ノ一項デ軍需會社ガ命令ノ定ムル所ニ依ツテ生産責任者ヲ選任スルト云フノハ、是ハ會社ノ方ガ選任ヲスルノデアリマシテ、是ガ原則デアリマス、其ノ選任ヲシナイ場合ニ於テハ、政府ガ代ツテ選任ヲスルト云フ方針ヲ執ツテ居ルノデアリマシテ、此ノ生産責任者自體ガ第三項ニ依ツテ會社ヲ代表シテ、政府ニ對シテ責務遂行ニ對スル責任ヲ負フト云フコトニ相成ツテ居リマスノデ、其ノ性質ハ飽クマデ公的ナ責任デアリ、政府ニ對スル責任ヲ負フモノデアリマスルケレドモ、選任自體ハ會社ガ選任ヲスルト云フノ原則ト致シテ居リマシテ、政府ガ選任スル場合ニ於キマシテモ之ニ代ツテ選任スル、斯ウ云フ風ナ意味ニ解釋ヲ致シテ居リマス

○永野委員 私ノ申シマスモノモ會社ノ選任ノ場合ヲ申スノデハゴザイマセヌデ、政府ガ命令ノ定ムル所ニ依ツテ、生産責任者ヲ任命スルト云フ一項ニ付テノ質問デアツタノデアリマスガ、今ノ大臣ノ御答辯ハ、政府ガ任命スルノデアルケレドモ、ソレハ會社ガ總會デ選任スル、其ノ總會ニ代ル行爲ヲスルト云フ風ニ解釋ヲシテ宜シウゴザイマスカ

○岸國務大臣 サウ云ウ風ニ解釋致シテ居リマス

○永野委員 ソレカラ生産責任者ト會社ノ間ノ法律關係ナンデアリマスガ、是ハ今ノ四條ノ規定デ政府ニ對スル責任ハ明瞭ニナツテ居リマスルケレドモ、會社ニ對スル責任ノ關係ガ明瞭ヲ缺イテ居ルノデアリマス、是ハ政府ノ任命致シマシタ生産責任者モ、選任サレマシタ以上ハ、會社ノ總會ノ選舉

ニ依ツテ選任サレマシタ役員ト同ジヤウナ關係、即チ表決關係ニ於テモ、獨立關係ニ於テモ、商法二百六十六條ノ規定ハ其ノ儘適用アルモノト解釋シテ宜シイノデアリマスカ

○岸國務大臣 其ノ點ハ第四條ノ四項ニ「生産責任者ノ會社ノ代表及業務執行並ニ之ニ伴フ事項ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トナツテ居リマシテ、是ガ生産責任者トシテ會社自體ガ選任シタ場合モ、或ハ政府ガ代ツテ任命シタ場合ニ於テモ、此ノ生産責任者ノ會社ノ代表ノ關係、業務執行ノ關係ニ付キマシテハ勅令デ之ヲ定ムルコトニナツテ居リマス、大體今御話ノ通り商法上會社ノ内部ニ於テハ、之ヲ代表シ又ハ業務執行上ノ權限ヲ持つト云フ風ニ勅令デ規定スル考ヘデアリマス

○永野委員 サウ致シマスルト、會社ノ爾餘ノ取締役ハ商法ノ規定ニ依リマシテ、政府ノ任命サレタ生産責任者ノヤツタ行爲ニ對シテ、ヤハリ連帶責任ヲ負ハナケレバナラヌコトニナルト思フノデゴザイマスガ……

○岸國務大臣 原則トシテハ御話ノ通り是ハ會社ノ役員トシテ、會社ノ生産責任者ト同様ニ、役員會其ノ他定款ノ規定ニ於テ決メテヤルヤウナ責任ヲ取ラナケレバナラヌト思ヒマス、唯生産責任者ニ對シテ法律上特別ノ責任關係ヲ此ノ軍需會社法案ハ規定致シテ居リマスノデ、總テノ規定ヲ悉ク役員ノ連帶責任トスルト云フコトハ、生産責任者ヲ置イタ理由トモ矛盾スル所ガアラウト思ヒマス、ソレ等ノ關係ハヤハリ適當ニ勅令ヲ以テ之ヲ規定スル積リデ居リマス

○永野委員 其ノ勅令ノ原案ト申シマスノハ、先程戴キマシタ此ノ「プリント」ノ第四

條ノ項目デゴザイマスガ

○岸國務大臣 此ノ第四條ノ勅令事項トシテ書イテアリマスガ、是ハ皆網羅シテ居ル譯デモアリマセス、今御質問ニナツテ居ル點ハ二枚目ノ二ニ、必要アル場合ニ於ケル他ノ役員ノ代表權ノ制限ト云フ規定ガアリマスガ、代表ダケデハ今ノ御話ノ點ハ網羅シテ居ラナイト思ヒマス、兎ニ角他ノ役員ノ責任ノ關係ヲヤハリ規定スル必要ガアラウト思ヒマス

○永野委員 最初ニ申上ゲマシタヤウニ、可ナリ此ノ規定ノ運用ハ商法ノ規定ト關係ガアリマスルノデ、從來ノ商法ノ運用ニ慣レテ居リマスル所ノ今日ノ諸會社ノ重役ハ、非常ニ迷ツテ居ル點ガ多イト思ヒマスカラ、ソレヲ明確ニ致シマス爲ニ、成タケ詳シク列舉シテ戴キタイト思ヒマス

ソレカラモウ一點デゴザイマスガ、十三條ノ規定ニ基キマスル補助金トカ、損失ノ補償、利益ノ保證ニ對スル課税ノ問題デアリマス、是ハ實際問題ト致シマシテ、非常ニ龐大ナ金額ニ上ルコトガアリ得ルダラウト思ハレルノデアリマス、其ノ場合ニ從來非常ナ大キナ損ガ立ツテ居ツテ、サウシテ此ノ補助金デ穴ヲ埋メヨウト致シマス時ニ、從來ノ徵稅方法ニ依リマス、折角政府ノ親心ニ依ツテ補助金ヲ貰ヒマシテモ、ソレハ殆ド見セテ貰ツタダケデ、税金デ直グ持ツテ行カレルト云フ結果ガ起リマシタノデハ、洵ニ佛作ツテ魂入レズト云フ現象ノ起ルコトナキヲ保シ難イノデアリマスガ、之ニ對シマシテ何カ特殊ノ御配慮ガアリマスカ

○迫水政府委員 損ヲ埋メル爲ニ交付ヲ受ケマシタ分ニ付テハ税金ハ課カリマセス、

積極的ニ利益ヲ保證致シマシタ部分ニ付キマシテハ、筋ト致シマシテハ税金ハ課カルノデアリマスガ、政府カラ貰ヒマシタ補助金等ニ付テハ非課税ニナシ得ルト云フ税法上ノ法規ガゴザイマスガ、補償金ニ付キマシテハ今後研究シテ行キタイト存ジテ居リマス

○永野委員 最後ニ一言ダケ附加ヘテ置キマス、他ノ委員カラ御話ノアリマシタヤウニ、此ノ規定ノ表面カラ見マスルト、所謂必罰ノ方ノ規定ガ洵ニ多イノデ、非常ニ怯エテ居ルヤウナ部門モ事實アルノデアリマス、ソコデ例ヘバ具體的ニ申シマスルト、實際仕事ヲシテ居リマスルト、自分ノ方ハ一生懸命ヤツテ居ツテモ、下請或ハ色々ナ工事ナドノ負請業者ガ中々思フ通りヤツテ呉レナイ、其ノ爲ニ自分モ非常ニイラ／＼シナガラ、其ノ能率ヲ上ゲルコトガ出來ナイト云フヤウナ場合ガ、實際問題トシテ非常ニ多イノデアリマスカラ、此ノ規定ノ運用ニ當リマシテハ十分ニ親心ヲ以テ運用ナサルコトヲ御願ヒシテ私ノ質問ヲ終リマス

○加藤委員長 船田君

○船田委員 既ニ三君ニ依ツテ大體趣旨ガ明カニナツタヤウデアリマスガ、一二漏レテ居リマスコトニ付テ極メテ簡單ニ御同ヒシタイト思ヒマス、第一ハ先程來本立法法局ニ御趣旨ニ付テ御説明ガアツタノデアリマスガ、現在軍需事業ヲ營シデ居リマス會社ニシテ、政府ノ命令ニ從ハナイト云フモノハ大體ナカラウト思フノデアリマスガ、實際ノ運轉ヲ以テハドウシテモ生産増強、殊ニ航空機ノ生産増強ヲナシ得ナイ、隨テ本法ヲドウシテモ立案制定シナケレバナラヌト云フコトニナツタ其ノ根本ノ理由ト御趣

旨ヲ承リタイト思ヒマス

○岸國務大臣 本法ノ制定理由ニ付キマシテハ、屢、申上ゲタコトデアリマスガ、更ニ之ヲ碎イテ申上ゲテ見マス、最近ノ勞務狀況等カラ見マスルト、軍需——飛行機ガ其ノ中心ヲナシテ居リマスガ、軍需生産ノ劃期的ナ増強ヲスル爲ニハ、相當多數ノ勞務者、勤勞者ヲ必要トスル譯デアリマス、是等ハ何レモ總動員法ノ規定ニ依ル徵用ノ規定ニ依ツテ、之ヲ補填シナケレバナラナイヤウナ實情ニアルコトハ御承知ノ通りデアリマス、是ハ國家權力ニ依ツテ勤勞者ヲ其ノ工場ニ配置スルノデアリマスカラ、其ノ勤勞管理ニ付キマシテ、先ヅ其ノ工場自體ノ國家性ト云フモノガ非常ニ明確デアルカドウカ、其ノ工場ニ於テ勤勞者、生産ニ從事スル事情ガ、即チ國家ノ要請ニ應ヘ、銃後ニ於ケル國民ノ最モ重大ナル義務ヲ之ニ依ツテ果シテ居ルノダ、誇リヲ持つテ是ヲ果シ、光榮アル仕事ニ從事シテ居ルノダト云フ氣持ヲ持つカ持ナイカト云フコトハ、生産能率ヲ上ゲル上ニ非常ニ重大ナ影響ノアルコトハ事實デアリマシテ、各方面ニ於テ此ノ點ハ相當重大問題トシテ指摘サレテ居ルコト、是亦御承知ノ通りデアラウト思ヒマス、此ノ爲ニハ是ハ一ツノ例デアリマスガ、會社自體ガ眞ニ此ノ重大ナル時局ニ於テ、國家ノ要請ニ基イテ生産ヲシテ居ルノダト云フコトヲ、法律的ニモ制度ノ上カラモ明確ナラシメテ、上ハ社長カラ下ハ工員マデ悉ク、會社全體ガ此ノ國家ノ要請ニ基イテ居ル生産ニ從事シテ居ルノダト云フ心構ヘヲ樹立スルト云フノガ、其ノ工場自體ノ性格ヲ明瞭ナラシメル上ニ於テ最モ必要デアリ、是ガ全體ノ生

産能率ヲ上グル上ニ於テ最モ相應シイコト
デアル、之ヲドウシテモヤラナケレバナラ
ナイト云フコトガ色々事態カラ痛感ヲサ
レテ居ル、第二ハ軍需會社ニ對スル——是
ハ先程カラ議論ガ度々出テ居ルノデアリマ
スガ、行政上ノ手續ガ非常ニ煩瑣デアル、
ソナナラ是ハ行政上ノ煩瑣ノコトニ付テハ、
實體ガアレバサウ云フ規定ヲ全部止メタラ
宜イト云フ議論モ出ヤウカト思ヒマスガ、
是モ亦ソレレノ規定ノ設ケラレテ居ル趣
旨ニ付キマシテハソレレノ必要ガアルト
思フノデアリマス、例ヘバ農地管理令ノ例
ヲ取ツテ考ヘテ見マシテモ、是ハ食糧確保
ノ此ノ重大ナ題目カラ考ヘマシテモ、此ノ
農地管理令ノ原則ト云フモノハ嚴格ニ之ヲ
施行シテ行クト云フコトハ、日本ノ事態カ
ラモ必要デアラウト思ヒマス、併シナガラ
軍需會社ノ或ル部門ニ於テ之ニ相當特例ヲ
設ケルト云フコトモ必要デアルト云フ現實
ノ問題ガアルノデアリマス、是等ノ行政運
用ノヤリ方ヲ法律ノ規定ニ拘ラズヤツテ行
クニ付キマシテハ、ヤハリ之ニ關スル特殊
ノ規定ヲ設ケル必要ガアル、其ノ他先程來
申シマシタ立法趣旨ノ眼目カラ見マスルト、
現在ノ生産ノ實況カラモ軍需會社ノ實況カ
ラ見マシテモ、ヤハリ一ツノ制度トシテ茲
ニ頭ヲ切替ヘテ、之ニ關係スル所ノ軍官民
共ニ一ツ新シイ考ヘデ以テ之ニ對スルト云
フ事柄ガ、私ハ劃期的ナ増産ヲ必要トスル
事態ニ直面シテ最モ必要デアル、從來ヤツ
テ居ルコトモ相當出來テ居ル、又之ヲ強化
シテヤツテ行ケバ相當程度ニハ増産モ出來
ル、私ハ軍需會社ヲ經營シテ居ル人ガ非常
ニ採算ノデアリ營利ノデアツテ、國家ノ要
請ヲ無視シテヤツテ居ルト云フ人ハ一人モ

ナイト思ヒマス、併シナガラ茲ニ斯ウ云フ
制度ニシテ明確ナモノニスルト云フコトハ、
劃期的ナ増産ヲヤラナケレバナラナイト云
フ上カラ見ルトドウシテモ必要ダ、斯ウ云
フ風ニ考ヘテ居リマス

○船田委員 今大臣ハ勞務ノコトト勤勞ノ
問題ニ付キマシテ主トシテ御話ニナツタ、
勤勞問題ニ付キマシテハ若シ之ヲ徹底スル
ナラバ全部徴用シテモ宜シイ、或ハ更ニ進
ンデ軍屬ト云フヤウナ榮譽ヲ與ヘルコトニ
依ツテ國家性ヲ與ヘルコトガ出來ヤウカト
思フ、又資材、資金、勞力等ノ調整ト云フコ
トヲ擧ゲラレタノデスガ、其ノ資材、動力、
勞力或ハ農地ノ問題等ニ付キマシテ本法ガ
制定セラレマスレバ、先程來御説明ニナリ
マシタヤウニ、ソレ等ノ所謂生産隘路トナ
ツテ居ルモノガ一切打開サレルト云フコト
デアレバ、本法制定ノ趣旨ハ洵ニ結構ダト
思ヒマス、是ハ今後ノ運營ニアルコトデア
リマスカラ、其ノ運營ニ付テノ御方針ニ付
テ一、二御伺ヒシタイト思ヒマス、軍需省ガ
設置サレ軍需會社法ガ制定サレマシテ、サ
ウシテ軍需會社ト云フモノハ大體軍需省ガ
御所管ニナルノダト思フガ、軍需會社ハ殆
ド全部ガ軍需省ノ所管ニ入リマスカ、或ハ
陸軍海軍ノ從來ノ管理工場ト云ツテ居ツタ
モノガ多少陸軍省、海軍省ニ殘リマスカ、
是ハ陸軍海軍ノ政府委員ノ方カラ御伺ヒシ
タイノデアリマス

○吉積政府委員 一部分ハ陸軍、海軍ノ管
理ノ會社ト云フモノハ殘ルト考ヘテ居リマ
ス

○船田委員 軍需會社ト軍需省、又ハ陸軍
省、海軍省トノ關係ニ付テ更ニ一、二御伺ヒ
致シタイノデアリマス、今御答ヘニ依リマ

シテ、軍需省ガ設置セラレマシテモ陸軍省、
海軍省ニ殘ル部分ガ相當アルモノト思ヒマ
スシ、又其ノ御答ヘデアリマス、ソコデ陸
軍省、海軍省及ビ軍需省ノ共管ニナルヤウ
ナモノガアリハシナイカト思フノデアリマ
ス、或ハ軍需省ノ專管ニナリマスカ、ソレ
等ノ點ヲ明カニシテ戴キタイト思ヒマス、
第一ハ航空機及ビ其ノ關聯兵器ヲ所管スル
ノハ軍需省專管ニナリマスカ、或ハ又他ノ
陸軍省、海軍省ガ共管ヲサレルト云フコト
ニナリマセウカ

○吉積政府委員 陸軍關係ニ付テ御答ヘ致
シマス、今仰シヤイマシタ航空機及ビソレ
ニ關聯スル所ノ兵器器材ト云フモノハ、原
則トシテ軍需省ガ專管スベキモノデアルト
考ヘテ居リマス、唯陸軍デ申シマスレバ、
地上兵器ノ部分ニ於キマシテ、ソレト非常
ニ似通ツタ部分ガアリマスノデ、其ノ點ハ
更ニ調整スル必要ガアルモノト思ヒマスガ、
今具體的ニドウスルノダト云フコトヲ申上
ゲル程度マデ行ツテ居リマセウ

○船田委員 私ハ陸軍ヤ海軍ノ格別機密ニ
屬スルコトヲ御伺ヒシヨウト云フノデハナ
イノデアリマス、唯極メテ常識的ナコトヲ
御伺ヒ致シテ居ルノデアリマス、サウ致シ
マスルト、軍需省ノ所管ニナルモノ、或ハ
陸軍省所管、或ハ海軍省所管ニ殘ルモノガ
出來マス、其ノ中ニハ雙方ニ共通セラル
ル部品ガ相當澤山アルノデハナイカト思ヒ
マスガ、サウ云フヤウナモノノ所管ハ何處
デオヤリニナルノデアリマスカ

○吉積政府委員 其ノ問題ニ付キマシテハ、
原則トシテ軍需省ガ少クトモ統制ヲ執ルベ
キモノデアルト云フヤウニ考ヘテ居リマス、
無統制ニナラナイヤウニ、軍需省ガ中心ニ

ナルベキモノダト考ヘテ居リマス

○船田委員 航空本廠ノ所管ハ何處ニナリ
マスカ

○加藤委員長 船田君ニ御伺ヒ致シマスガ、
工廠ノコトデアリマスカ

○船田委員 サウデス

○保科政府委員 差當リ軍ノ方ニ殘ルト思
ヒマス

○船田委員 軍需省ガ出來、軍需會社ガ出
來マス、軍需品ノ調辨ト云フモノハ、原
則トシテドウ云フコトニナルノデアリマス
カ、發注ノ一元化ト云フヤウナコトガ非常
ニ喧シク言ハレテ居ルノデアリマシテ、今
度ノ軍需省ノ設置或ハ軍需會社法ノ制定ト
云フコトモ、主タル目標ハ發注ノ一元化ヲ
實現シテ、サウシテ生産隘路ヲ打開スルト
云フヤウナ所ニアルト思フノデアリマスガ、
發注ノ一元化ヲ具體的ニドウ云フ風ニ實現
シテ實行シテ行クノカ、軍需省ト軍需會社
トノ間ニ於ケル發注、受注、或ハ契約ト云
フヤウナコトガ、總テ軍需省ノ所管ニ於テ
一元化サレテ行クノカ、或ハ更ニ陸軍省、
海軍省ト云フモノガ、又別々ニ發注ヲシ、
或ハ契約ヲサレルト云フコトニナルノカ、
臨軍費トノ關係ニ於テソレ等ノ點ヲ御説明
願ヒタイ

○岸國務大臣 軍需省ノ官制ノ軍需大臣ノ
所管スル事項ノ中ニ「主要軍需品ノ原料及
材料並ニ特定軍需品ノ生産管理、發注及調
辨ニ關スル事項」ト云フコトガ入ツテ居リ
マス、此ノ特定軍需品ト申シマスノハ、差
當リ航空機及ビ之ニ關聯スル兵器器材ヲ指
シテ居ルノデアリマスガ、是ノ生産管理發
注及ビ調辨ト云フモノハ、軍需大臣ノ所管
トシテ、一元的ニ之ヲ行ツテ行クトニ相

成ツテ居リマス、其ノ調辦發注ノ方法等ニ付キマシテハ、豫算トノ關係モアリマスノデ、尙ホ考究ヲスベキ點ガアルト思ヒマスガ、此ノ問題ニ關スル限リニ於キマシテハ軍需大臣ノ專管ノ事項トシテ、航空機及ビ關聯兵器、器材ノ生産管理、發注及ビ調辦ガアリマス、ソレカラ主要軍需品ノ原料及ビ材料、尙ホ主要軍需品ノ範圍等ニ付キマシテハ、關係省ニ於テ具體的ニ決メナケレバナラス點ガアルト思ヒマスガ、此ノ主要軍需品ノ原料及ビ材料ニ付キマシテモ同様ニ、是ノ生産管理、發注、調辦ヲスルコトニ相成ツテ居リマス、併シナガラ此ノ點ニ付キマシテハ、尙ホ主要軍需品ノ原料材料ト云フモノハ同時ニ陸海軍ニ於テ所管サレル所ノ兵器本部ヤ、或ハ艦政本部ノ所管事項ニ關聯シテノ問題ガアルノデアリマス、是等ニ付キマシテハ、ソレノ方面ニ於ケル發注調辦ノ關係ヲ軍需省ニ於テ統制シテ、多元的ニナラナイヤウニ、此ノ間ノ統制ガ十分付クヤウナ方法ヲ立テテ、是ガ發注調辦等ヲ行ツテ行カケレバナラス、斯様ニ考ヘテ居リマス、尙ホ此ノヤリ方ノ具體的方法等ニ付キマシテハ、豫算ノ點等トモ睨ミ合セマシテ、關係省ニ於キマシテ適當ナル方法ヲ講ジテ、多元的ニ流レルヤウナ弊害ニ陥ラナイヤウニ處置ヲ講ズル考ヘデアリマス

○船田委員 大體大臣ノ御説明デ分ツタヤウデアリマスガ、サウシマス、航空機及ビソレニ關係致シマスル兵器器材ト云フヤウナモノノ發注ニ付キマシテハ、軍需省ガ一元的ニ統制ヲスルコト云フコトニナル譯デアリマスガ、サウ致シマス、本法ノ第八條トノ關聯ニ於キマシテ、實際ノ生産ヲ命

令シ或ハ軍需品ノ注文ヲ發シテ契約ヲスル、斯ウ云フヤウナコトニ付テ考ヘテ見マス、是ハ今申シマシタ航空機其ノ他之ニ關係スル兵器、器材ニ付キマシテハ、軍需省ガ一元的ニ生産命令ヲ出ス或ハ注文ヲ出ス、勿論注文ト云フコトガ、詰リ私法上ノ契約ト云フコトガ原則ニナツテ、此ノ八條ハドウ云フ時ニ發動スルコトトナリマセウカ、實際ニドウ云フ風ニ運營サレルカ、斯ウ云フコトニ付キマシテ御説明願ヒタイノデアリマス

○岸國務大臣 注文ト命令トノ關係デアリマスガ、發注ノ契約ノ形デアラレマス場合ニ於キマシテハ、多クハ調辦價格ト申シマス、買取價格デ以テ大體ノ事柄ハ補償サレルヤウニ適正利潤モ認メ、損失モ補償サレテ引合フダケノ値段デアラレルト思ヒマスガ、第八條ハ十三條トノ關聯ニ於キマシテモ明瞭デアルガ如ク、八條ノ命令ヲ出シタ場合ニ於テハ、政府ハ價格以外ノ方法デ斯ウ云フ補償——補助金ノ交付、利益ノ保證ト云フヤウナ處置ヲ講ズルコトニ相成ツテ居ルノデアリマシテ、八條ハ必ズシモ常ニ物ヲ注文スル場合ニハ必ズ注文契約ノ形デバカリヤルト云フ譯デアリマセシ、命令デ行ク場合モアラウト思ヒマス、殊ニ物ニ依リマシテ、航空機等ニ付キマシテハ、是ハ恐ラク生産サレタモノハ、全部軍需省ニ於テ之ヲ調辦シテ——陸海軍ノ要求ニ從ツテ之ヲ陸海軍ノ爲ニ調辦スルコト云フコトニナルト思ヒマスガ、併シ軍需會社ト云フモノハ申スマデモナク廣イノデアリマシテ、其ノ他製鐵事業或ハ「アルミニウム」トカ云フヤウナ素材ノモノニ對スル一ツノ目標ヲ定メテ、生産ヲ命令スルコト云フヤウナ場合

ニハ、ソレガ總テ契約デ調達調辦サレルト云フモノデハナク、他ノ方ニモ幾分物動ノ計畫ニ依ツテ配當サレル譯デアリマス、サウ云フ關係モアル譯デアリマシテ、命令シタモノガ全部契約サレルト云フモノデハナイ、契約ト命令トノ關係ハサウ云フ風ニ必ズシモ兩者ガ重ナルト云フ譯ニハ行カスト思フ、又其ノ效果ニ於キマシテモ、今申シマシタヤウナ十三條ノ關係ニ於テ命令ト契約トノ關係ハ取扱ガ違フト云フコトニナルト思ヒマスガ、何レニ致シマシテモ軍需會社ノ生産スル所ノモノニ對スル現實ノ問題カラ言ヘバ、政府、軍需省、若シクハ陸海軍ト云フモノガ、之ヲ調辦シテ全部買フカ、或ハ其ノ他ノ方面ニ於テ必ズ造ツタモノハ全部捌ケルト云フコトニナルコトハ當然デアアル、斯ウ云フ風ニ思ツテ居リマス

○船田委員 其ノ點ハ分リマシタガ、私ノ先刻御質問申上ゲタノハ極メテ素人ノ質問ナノデス、詰リ軍需會社ガ出來、或ハ軍需省ノ創設ガアツタト云フ後ニ於キマシテ、例ヘバ飛行機ヲドウ云フ型ヲ何臺注文スルト云フヤウナコトハ陸軍カラ出マスカ、海軍カラ出マスカ、或ハ軍需省ガ皆纏メテ御出シニナルノカ、サウシテ其ノ時ニサウ云フ艦船、兵器、航空機ト云フヤウナ物ノ調辦ヲスルコト云フ其ノ財源ハ、臨時軍事費ノ中ニ計上サレテ居ル譯デアリマスカラ、其ノ契約ヲスル場合ニ支出關係等ハドウ云フ風ニナルカ、是ハ一年生ノ質問デアリマスガ、分リ易ク御説明願ヒタイト思ヒマシテ、御尋ネシタ譯デアリマス

○岸國務大臣 飛行機ノ注文ハ勿論陸海軍ノ要求ニ從ツテ斯ウ云フモノヲ何機、イツ何時マデニ要ルト云フ事柄ハ、是ハ陸海軍

ノ要求ニ依ツテ決マル問題ダト思ヒマス、ソレヲ取纏メマシテ軍需省ニ於テ何スルト云フコトニナツテ居リマスガ、其ノ場合ニ於テ軍需省ガ契約ヲシ、之ヲ調査スル範圍内ニ於テハ臨時軍事費トシテ今日計上サレテ居ル所ノ金ヲ使フコトニナルト思ヒマス

○船田委員 軍需省ガ陸軍、海軍ノ注文ニ應ジテ軍需省ガ代理トシテ臨軍費ヲ支出スルコト云フヤウナ關係ニナルノデアリマスガ

○岸國務大臣 御答ヘ致シマス、陸海軍ノ代理トシテヤル譯デヤナシニ、軍需省固有ノ調辦ノ仕事トシテヤル譯デアリマス、唯其ノ基礎ナル所ノ數量トカ何トカト云フコトハ、或ハ統帥ト云フタラ宜イカモ知レマセスガ、其ノ方面カラ決マツテ來ル所ノ數量ヲ調達スルコト云フノデアリマスガ、調辦其ノモノハ軍需省ガ軍需省ノ責任ニ於テ之ヲヤル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○船田委員 サウ云フ時ニ其ノ金ノ支拂ハドウガヤリマスカ

○迫水政府委員 軍需省ガ支拂ヲ致シマシテ、ソレデ買ヒマシタモノハ軍需省所屬ノ品物ニナルノデアリマスガ、ソレヲ今度ハ陸海軍ヘ無償デ管理替ヲスルコト云フコトニナリマス

○船田委員 其ノ臨軍費ノ所管ト云フコトハドウ云フモノニナリマスカ

○迫水政府委員 私モ餘リ玄人デハナイノデアリマスガ、其ノ臨時軍事費ヲ陸海軍及ビ軍需省、此ノ三省ガ使フト云フコトニナルト思ヒマス

○船田委員 此ノ點ハドウモ少シハツキリシナイヤウデアリマスガ、別ニ政府委員ニ對シテ追窮スル意味デヤナイデスガ、極メテ素人的ニドウモ能ク分ラヌモノデスカ

○岸國務大臣 飛行機ノ注文ハ勿論陸海軍ノ要求ニ從ツテ斯ウ云フモノヲ何機、イツ何時マデニ要ルト云フ事柄ハ、是ハ陸海軍

ラ御伺ヒシタノデス、尙ホ大藏大臣が専門
家デスカラ、何レ大藏大臣が御見エニナツ
タ時ニ御質問申上ガマス

○平井政府委員 臨時軍事費ノ豫算ガ軍需
省ニ編成セラレマスルマデハ恐ラク陸海軍
カラ委託調辦ト云フ形ニナリマシテ、調辦
ハ……ソレト豫算ヲ陸軍カラ軍需省ヘ移管
致シマス、軍需省ノ……

○加藤委員長 只今ノ臨時軍事費支辨ノ件
ニ付キマシテハ、政府ニ於テモ篤ト議ヲ練
ラレマシテ明確ナル御答辯ヲ後刻願ヒタイ
ト思ヒマス

○船田委員 モウ一ツ御伺ヒシタイコトハ
技術トノ關係デゴザイマスガ、是モ素人ノ
質問デアリマスガ、例ヘバ南太平洋上ニ於
テ非常ナ決戦ガ展開セラレテ居ル、航空機
ノ如キハ日々ト云フヨリハ寧ロ時間的ニモ
非常ナ進歩發達ヲスルモノト思ヒマスガ、
サウスルト陸軍、海軍ノ御要求ハ刻々ニ變
ツテ來ルノデヤナイカト思フノデアリマス、
サウ云フ技術ノ改良、發達、進歩ト云フヤ
ウナコトニ付キマシテ、ソレト此ノ軍需省
トノ關係デアリマスガ、サウ云フ陸海軍ノ、
殊ニ統帥部カラノ要求ニ對シテ如何ナルモ
ノヲ生産シタラ宜シイカト云フヤウナ、主
トシテ技術ニ關スル點デアリマスガ、ソレ
等ハ何處ニ於テ所管サレ、又軍需會社法ヲ
制定セラレタ後ニ於キマシテ、ソレ等ニ付
テノ發注ノ場合ニ如何ナル關係ニ置カレル
カ、ソレ等ノ點ニ付テ御伺ヒ致シマス

○岸國務大臣 航空機ニ關スル限リ軍需省
ニ於テ技術ノ問題モ總テ主官スル譯デア
リマス、唯御話ノ如ク今日ノ航空機ノ色々
ナ性能其ノ他技術上ノ問題ハ、殊ニ作戰ノ
様相狀態カラ色々ナ要求ガ出來テ、之ヲ試

驗シ若シクハ試作シ、更ニ之ヲ大量生産ニ
移スト云フ風ナ形デ今日マデ陸海軍ニ於テ
航空機ノ進歩發達ト云フモノガヤツテ來テ
居ルノデアリマス、此ノ要求ハ今後益々多ク
ナツテ來ルダラウト思ヒマスシ、又ソレニ即
應シテ飛行機生産ト云フモノヲ其ノ要求ニ合
フヤウニ持ツテ行カケレバナラヌト思フ
ノデアリマス、其ノ關係ヲ顧慮致シマシテ、
軍需省官制ノ中ニハ特定軍需品ニ關スル軍
事上必要ナル事項ニ付テハ航空兵器總局長
官及ビ燃料局長ハ陸軍大臣及ビ海軍大臣ノ
指揮監督ヲ受クルモノトスルヲ云フコト
ニ相成ツテ居リマシテ、サウ云フ要望ハ時々
刻々此ノ航空兵器總局長官ニ對シテ統帥部
カラ陸海軍大臣ヲ通ジテ指揮命令ガ來テ、
斯ウ云フモノヲ斯ウ云フ風ニ造レト云フ風
ナ連絡ヲ執ルコトニ付テ、左様ナ措置ヲ官
制ノ上ニ講ジテ居リマス

第六類第三號 軍需會社法案委員會議錄
第二回 昭和十八年十月二十七日

○船田委員 官制ノ問題ハ此處デ御質問申
上ゲル限リデハナイカモ知レマセマスガ、サ
ウ致シマスト航空兵器總局長官、サウ云フ
モノニ對スル直接ノ上司ハ軍需大臣デスカ、
航空機ノ生産ト云フヤウナコトニ付テハ陸
軍大臣、海軍大臣モ指揮命令ノ權限ヲ持ツ
ト云フコトニナリマスガ

○岸國務大臣 サウデス
○船田委員 分リマシタ、サウ云フコトデ
技術ノ進歩改良ト云フコトニ付テモ、十分
御努メニナルト云フコトハ洵ニ心強イコト
デアリマスガ、陸軍或ハ海軍ニ依リマシテ
作戰ノ要求カラ、或ハ飛行機ノ形狀、速力
其ノ他色々ナコトニ付テノ注文ガアルト思
フノデアリマスガ、船ノ上カラ飛ビ出ス飛
行機ト、陸上ヲ行軍スル部隊ニ跟イテ行キ
マス陸上ノ飛行機トハ自ラ形モ違ヒ、或ハ

車ノ大キサモ違フダラウシ、又車ノ強弱
ト云フコトモアリマセウガ、其ノ以外ニ例
ヘバ發動機等ニ付テ、今後軍需省ガ出來、
又斯ウ云フ劃期的ノ法制ガ制定セラレマシ
タ後ニ於テハ、サウ云フ部品等ニ付テハ、
總テ軍需省ニ於テ統一サレルト云フコトニ
ナリマセウカ

○岸國務大臣 今ノ御質問ニ御答ヘスル前
ニ委員長ニ御願ヒ致シテ置キマス、先程來
軍需省ノ官制ニ付テ此處デ質疑ガアリ、私
御答ヘシマシタガ、是等ノ事項ハ目下樞密
院デ審議中デアリマスカラ、新聞ノ掲載ハ
委員長ノ方デ御止メ願ヒタイト思ヒマス
御答ヘヲ致シマス、軍需省ニ於テ航空機ノ
關係ヲ陸海軍ノモノヲ茲ニ一元化スルト云
フ狙ヒノ大キナ理由ノ一ツハ、今御話ニナ
リマシタ如ク陸海軍ノ上ニ於キマシテ融通
シ得ル、若シクハ規格ヲ統一シ得ル限リニ
於キマシテハ之ヲ一元的ニ統一シテ行ク、
共通ニスルト云フコトガ大キナ狙ヒノ一ツ
ニナツテ居ル譯デアリマス、最近ニ於テハ
餘程規格等ニ付テモ陸海軍統一ノ傾向ニナ
ツテ來テ居リマスガ、尙ホ軍需省ガ設置サ
レマスレバ、將來航空機ノ生産ニ付テハ能
フ限リ是ガ統一サレル、斯ウ云フ風ニ考ヘ
テ居リマス

○加藤委員長 只今岸國務大臣カラ委員長
ニ御發言ガアリマシタ如ク、軍需省ノ官制
ハ尙ホ秘密ニナツテ居リマスガ故ニ、左様
御諒承置キヲ願ヒマス
○船田委員 只今最後ニ岸國務大臣ノ御説
明ニナリマシタコトハ極メテ重要デアリ、是
ガ殆ド此ノ軍需省設置或ハ軍需會社法ヲ御
作リニナル眼目デヤナイカト思フノデアリマ
スガ、之ニ付キマシテノ陸軍、海軍ノ御意見、

御方針ヲ最後ニ伺ツテ置キタイト思ヒマス
○吉積政府委員 陸軍ト致シマシテハ、今
岸國務大臣カラ言ハレタ通りニ考ヘテ居リ
マス、唯一言申上ゲタイノハ物ヲ「ルーズ」ニ
ハ考ヘマセスケレドモ、餘リ規則ニ因ハレテ
何處ノ權限ダトカ何トカヤカマシイコトハ
言ハナイデ、實質的ニ旨ク行クト云フコト
ヲ狙ツテヤリタイト云フ風ニ考ヘテ居リマ
ス

○保科政府委員 大體今陸軍カラノ御發言
ト同様デアリマスガ、航空機ニ關シテハ陸
海軍ノ者ガ入りマシテ、サウシテ實質的ニ
色々ナコトノ實績ガ舉ルヤウニ進行ヲシ
テ、航空機ノ劃期的生産ガ出來ルヤウニ
十分ニ海軍トシテハ協力スル積リデアリ
マス

○船田委員 以上デ終リマス
○加藤委員長 ソレデハ之ヲ以テ休憩ヲ致
シマス、尙ホ午後一時ヨリ秘密會ヲ開キマ
シテ、航空機ノ生産狀況ニ付テ軍ノ説明ヲ
聽取致シタイト存ジマス、左様御諒承ヲ願
ヒマス

午前十一時五十七分休憩
午後一時十五分開議
○加藤委員長 休憩前ニ引續キ是ヨリ會議
ヲ開キマス、只今ヨリ秘密會ト致シマシ
テ、軍當局ヨリ航空機ノ現狀ニ關スル御説
明ヲ願フコトニ致シマス、關係外ノ政府委
員其ノ他議員以外ノ諸君ノ御退場ヲ願ヒマ
ス

〔午後一時十六分秘密會ニ入ル〕
〔午後一時五十八分秘密會ヲ終ル〕

○加藤委員長 是ヨリ會議ヲ公開致シマス——船田中君

○船田委員 大藏大臣モ時間ガナイヤウデアリマスカラ極メテ簡單ニ二三御伺ヒ致シマス、第一ハ軍需省ガ設置セラレ軍需會社ガ出來マシタ後ニ於テ、航空機等ノ發注ヲ一元化スルト云フコトデアリマスガ、其ノ場合ニ於キマシテ調辦ヲ總テ軍需省デヤル

ノカ、或ハ其ノ契約ノ所管官廳ハ何處ニナルノカ、又臨軍費トノ關係ハドウ云フ風ニ運營サレルノカ、是ガ第一點デアリマス、次ハ本法ノ第十條ニ關係致シマシテ其ノ資金ノ調整及ビ經理ニ關スル必要ナル命令、之ヲ御説明願ヒタイ、ソレカラ第三點ハ第十三條ニ關係致シマシテ補助金ノ交付、損失ノ補償又ハ利益ノ保證、之ニ付キマシテ午前中ニ質問申上ゲマシタコトニ關聯シテ大藏大臣カラハツキリシタ御答辯ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 御質問ノ第一點ニ付キマシテハ、特定軍需品ノ發注調辦ハ軍需省ニ於テ致シマス、而シテソレハ今回ノ臨時軍事ニ要スルモノデアリマスカラ、其ノ經費ハ臨時軍事費ヨリ支辨ヲ致シマス、第三點ハ法案第十三條デアルト思ヒマスガ、軍需會社ノ色々裝備ノ新設擴張、其ノ外各般ノ生産ノ確保増加ニ付テ必要ナルコトヲ命令ヲ致シ得ルコトトナルニ付キマシテハ、ソレカラ由ツテ生ズル所ノ損失ガアリマスル場合ニ之ヲ補償スル必要ガアリマス、又純損失以外ニ若干ノ利益等モ考ヘナケレバナラヌ場合、ソレ等ノ點ヲ綜合致シマシテ補助ヲ致スヤウナ必要ガ起リマス、又其ノ命令自體ガ會社ノ收益上ノ運命ノ大キナモノヲ支配スルト云フヤウナ場合ニハ

會社ソレ自體ノ利益ヲ保證スルヤウナ必要ガ起リマシテ、ソレヲナシ得ル權能ヲ得マスル爲ニアノ規定ガ置カレタノデアリマス、此ノ規定ノ運用ニ依リマシテ義務ガ發生致シマシタ場合ニハ、國家ハ後年度ニ豫算其ノ他ノ協賛ヲ經マシテ、之ヲ實行致スコトニナルト思ヒマス

第二點ノ資金及ビ經理ニ付キマシテハ、極メテ急速ニ、敏活ニ、果敢ニ軍需生産ヲ進メテ行キマスル見地カラ、先ツ問題ノ所管省ヲ單一ニスルコトヲ一ツノ考ヘ方ト致シマシタ、隨ヒマシテ資金ニ付キマシテハドウ云フコトガ考ヘラレルカト言ヒマス、第一ニ企業ニ付キマシテ設備ノ擴張其ノ他ノ理由デ幾ラ資金ガ要ルカト云フ問題ガアリマス、其ノ額ノ決定ハ如何ナル生産ヲナサシムルカト云フコトノ擔當官廳デア

ル軍需省ガ致スノガ一番適切敏速デアリマスカラ、之ヲ軍需省專管ト致シマス、併シ是ハ丁度各省ガ豫算ヲ持ツテ其ノ所管ノ仕事ヲスルノト同ジヤウナ譯デアリマス、資材資金、國家全般ノ計畫、國家ノ全資金計畫ノ一環トシマシテ、斯カル事業ニ投下シ得ル資金ノ範圍ヲ計畫的ニ定メマシテ、政府ガ持ツテ居リマス其ノ範圍ニ於テ專管的ニ軍需省ガ決メル、時期モ從ツテ決マル譯デアリマス、サウ致シマスレバ金ガ何時要ル、幾ラ要ルト云フコトガ決ツテシマフ、之ヲ確保スル手段ヲ講ズル必要ガアリマス、現在ニ於キマシテ國家所要資金ノ總額ハ、國民ノ絶大ナル努力ニ依リ貯蓄ノ増加ニ依ツテ、戰費、生産擴充資金ヲ賄ヒ得マシテ不足ナク參ツテ居リマス、是ガ現實ノ調達方法トシテハ株式ノ拂込、社債、銀行等ヨリノ借入金、大體此ノ三ツガ考ヘラレルノ

デアリマスガ、是等ヲ如何ニ安排シテ行クカト云フコトハ、金融市場全般ノ趨勢ニ關係致シマス、其ノ調達方法ハ皆企業者ト金融業者トノ相談ノ上デ、成ベク當事者ノ意思ニ依リマスガ、金融市場全體ノ觀念カラ調整ヲ要スル場合ハ、ソレハ大藏省ガ見テ行ク、先ツ第一ニ幾ラ要ルカト云フコトハ

軍需省ガチヤント決メ得ル、其ノ方法ハ全體ノ資金ノ上カラ大藏省ガ見マス、サウシテ資金ノ需要ガ決マリマシテ、設備ガ要リ何ガ要ル、ケレドモ今日決メテ明日要ルト云フモノハ少イノデアリマス、併シ急速ニ要スル時ニハ社債或ハ株式ノ拂込等デハ間ニ合ハヌ場合ガアル、是ハ當該會社ガ適宜銀行等ヨリ借入ヲ致シテ、先ツソレデヤツテ行ク、アトカラ確定的ノ方法デ調整スルト云フ方策デ行キマス、併シソレガ當該銀行カラ借入レラレナイ場合ニハ、戰時金融金庫ヲ出動セシムルナリ、或ハ銀行等資金運用令ニ依ツテ大藏省ガ所要ノ資金ヲ必ズ間ニ合ハセル、斯ウ云フ構想デアリマス、詰リ簡單ニモノガ決マツテ——アレヤ是ヤ考ヘレバ、社債ガ幾ラ要ル、株式ガ幾ラ要ル、斯ウ云フモノヲ絡ミ合ハセテヤツテ行カナケレバ決マラスト云フ構想ヲ離レテ、簡單ニ幾ラ要ル、何時マデニ要ル、ドン／＼仕事ハ出來ル、ソレヲ拵ヘルノハコチラデドン

ドン拵ヘル、斯ウ云フヤウナ仕事ヤル、經理統制令ニ付テハ、給與ノ問題ハ重要ナ問題デアリマスガ、是等ハヤリ方ヲ間違ヘマスト所謂鰐ゴツコデ、或ル會社ガ上ゲル、ソコハ一寸働キヤウニナツタガ、他ノ會社ハ同ジク上ゲナケレバ逆ニ働カヌト云フコトニナリマス、是ハ下手ニヤルト鰐ゴツコニナリマスカラ、目前ノコトヲ考ヘテ之ヲ樂

ニヤリマスコトハ弊害ガ相當アル譯デアリマス、併シナガラ其ノ弊害或ハ權衡ヲ考ヘルノハ、大藏省ガヤル場合ガ一番權衡ヲ得マス、併シ軍需生産ヲヤリマス場合ニハ機動的ニ、多ク働イタ人ニハ金ヲ餘計ヤルトカ、之ヲ巧キヤリマスニハ、ユツクリ考ヘテ居ツタラ時機ヲ失シマス、サウシテチヨコチヨコ始終起ル問題デアリマス、是ハ實際費ヤ機密費ノ問題モサウデアリマス、是ハ軍需會社ヲ直接握ツテ居ナイ、様子ヲ知リマセヌ役所ハ相談スルト云フコトハ、或ハ結果カラ見レバ公平カモ知レマセヌガ、六萬十

菊ノ感ヲ催スヤウナコトガ起ルコトガ多イノデアリマスカラ、軍需省專管デドン／＼然ルベクヤツテ行ク、大體宜シキヲ得テ、而モ機動的ニ早ク效果ヲ擧ゲルヤウニヤツテ行ク、唯配當ノ點ニ對シマス、今ハ増配々々生産ヲ刺激スル時代デナイト云フコトハ、是ハ詳シク申上ゲルマデモナイ、而モ是ハ年ニ一遍カ三年ニ一遍カアルヤウナ譯デアリマス、是ハ一般ニ事業資金ノ調達、株式市場、皆サウ云フ方ニ關係ノアル問題デアリマスカラ、増配ニ關係アル問題ハ大藏省ガ致シマス、尤モ増配ト云フ文字ハ實質上ノ増配デアリマスカラ、高率配當會社ガ増資ヲシマスヤウナ場合ノ配當率ノ問題ハ其ノ中ニ入ルノデアリマス、サウ云フ構想デ大體マア軍需會社ニ始終起ルヤウナコトハ軍需省ヘ行ケバ片付ク、年ニ一遍カ、三年ニ一遍起ルヤウナコトデ、外ニ非常ニ關係ガアル、而モ直接ソレガ増産ヲスルニ直グ／＼響イテ障礙ガナイヤウナ事柄デ、金融市場全體ニ關係スル、斯様ナ場合ニハ大藏省ニ來ル、斯ウ云フ分ケ方ニ致シテ居ル譯デアリマス、尙ホ能ク承リマセヌデシタノデ、不十分ナ

點ガアリマシタラ、モウ一度仰セニナツタ
ラ御答ヘ致シマス

○船田委員 今ノ御話デ大體分リマシタガ、
第一ノ點デスガ、軍需會社ニ對シテ航空機
等ノ發注ヲスル、或ハ調辦ヲスルト云フコ
トガ一元ノ軍需省ノ所管ニ屬スル、サウス
ルト今大臣ノ御説明デアリマス、契約ヲ
シ金ヲ支拂フト云フコトモ總テ軍需省デオ
ヤリニナルト云フコトニナリマスカ

○賀屋國務大臣 左様デアリマス、詰リ特
定軍需品——特定ガ如何ナル範圍ニナルカ
ト云フコトハ、特定ノ範圍ニ依ツテ決マリマ
ス、決マツタモノハ軍需省自體ガ調辦スル
モノデアリマスカラ、契約モ金ヲ拂フトコ
トモ皆軍需省ガヤル、ソレハ臨時軍事ノ必要ニ
依ツテ軍需品ヲ造ルノデアリマスカラ、臨
時軍事費デ支辨スル、斯ウ云フ筋合ヒニナ
リマス

○船田委員 サウ致シマス、軍需省ハ臨時
軍事費ヲ所管シテ居ラナイガ、航空機等ノ
注文ニ付テハ軍需省ガ陸軍省ナリ、海軍省
ナリノ所管ノ臨時軍事費ヲ支出シテ支辨ス
ル、或ハ金ヲ支拂フヤウナコトニナリマ
スカ

○賀屋國務大臣 臨時軍事費ノ所管省ニ軍
需省ガ一枚加ハルコトニ相成リマス、今ハ
臨時軍事ノ爲ニ必要ナル經費ヲ使フ、擔當
者ハ官制上デ陸軍省ト海軍省ノミデアリマ
スガ、軍需省ノ官制ガ出マスト軍需省ト云
フモノガ其ノ擔當者ノ一ツニナリマス、詰
リ所管省ガ一ツ殖エル譯デアリマス

○船田委員 新タニソレダケ加ハルト云フ
コトニナリマスカ

○賀屋國務大臣 ソレハ金額ノ増減トハ別
問題デス、所管省トシテ加ハル譯デス

○船田委員 第十三條ノ關係ニ於キマシテ
大體御趣旨ハ分リマシタガ、政府ニ必要ガ
出來マシタ場合ニ於テハ、ソレハ第二豫備
金デ支出スルトカ、或ハ豫算外國庫ノ負擔
トナルベキ契約トシテ將來政府ガ支出ヲス
ルト云フヤウナ取扱ニナリマセウカ

○賀屋國務大臣 別ノ言葉デ申シマス、
アノ條文ニ依リマシテ、利益保證デアルト
カ損失補償ヲ當該會社ニ約束シマス、其ノ
約束自體ガ豫算外國庫ノ負擔ニ屬スル契約
其ノモノナラデス、豫算外國庫ノ負擔ニ屬
スル契約ノ大體御協賛ヲアレデ得ル譯デ
ス、其ノ實行トシマシテハ急グ場合ニハ第
二豫備金デ實行スル場合モアリマス、後ニ
起リマス場合ハ豫算ヲ提出シマシテ、豫算
ニ計上シテソレニ依ツテ支出ヲスル斯ウ云
フコトニ相成リマス

○船田委員 モウ一點ダケ御伺ヒラシマス、
其ノ場合ニ於キマシテ會社ノ經理ノ運營ノ
コトデアリマスガ、大藏省ノ御方針トシテ
ハ、普通ノ會社ハ六箇月或ハ一年ト云フコ
トデ經理ヲシテ居リマスガ、此ノ軍需會社
ニ付キマシテハ補助金トカ或ハ損失ノ補償
又ハ利益ノ保證ト云フヤウナコトハ相當長
期間ヲ見ナケレバ出來ナイコトデハナイカ
ト思フノデゴザイマス、其ノ場合ノ經理ノ
期間ハドウ云フ風ニ御監督或ハ特別ノ期間
ヲ設ケルト云フヤウナコトニ付テ何等カノ
措置ヲ講ズル御方針デアリマスカ

○賀屋國務大臣 軍需會社ノ經理ハ從來ハ
半期、六箇月ノモノモアラウト思ヒマス、
是ガ生産ノ能率ヲ上ゲテ行ク上ニ六箇月毎
ニ計算ヲスルコトモ中々複雑デアルカラ、
相當營業期ノ長サヲ調節シヨウト云フコト
ハ、軍需省ガ其ノ仕事ヲ始メラレマスルト必

要ヲ感ゼラレル場合ガアラウカト思ヒマス、
ソレヲ一年ニ變ヘル、ドウスルト云フ風ニ
適當ナ時期ニ變ヘ得ルコトハ、只今御審議
ノ法律ニ依ツテ得マシタ政府ノ權能デ出來
ル譯デス、大藏省トシテ今ト云フコトハゴ
ザイマセヌガ、主トシテハ軍需省ニ於テ
考ヘラレルコトガ主ニナラウト思ヒマス、
尙ホ御質問ノ利益ノ保證ナドノ場合デアリ
マスルガ、是ハ端的ニ一番想像シ得ル簡單ナ
例ヲ申上ゲマスレバ、非常ニ大キナ設備ヲ命
ジテ、其ノ爲メ會社ノ資本金ヲ二倍ニシナケ
レバナラヌトカ云フヤウナ大キナ設備ヲ命ズ
ル、併シ其ノ設備ガ何時マデ動イテ何時マデ
製品ガ出ルカ、簡單ニ申スト戰爭デモ濟ン
ガラ直グ半分モ動カサヌデモ宜クナリハ
シナイカ、皆要ラナクナリハシナイカト云
フ場合ニ、ソレガ十年モ二十年モ動クモノ
トシマシテ、原價計算ヲヤツテ調辦價格ヲ
決メラレタノデハ先ハ隨分不安ナ譯デアリ
マス、サウカト云ツテ一年又二年デ設備ノ
償却ヲスルヤウナ調辦價格モ決メニクイ譯
デアリマス、ソコラニナリマス、將來ソ
レニ對シテドウスルカト云フ利益ノ保證ト
カ損失ノ補償ト云フコトヲヤハリ考ヘネバ
ナラス、利益ノ保證ニシマシテモ何十年間
一割ニ相當スル利益ヲ約束スルト云フ譯ニ
モ參リマセヌ、マア五年トカ何年トカ常識
上一定ノ期間ヲ見ル、ソレカラ仕事ガナク
ナレバ設備ノ減價ヲ補償スルトカ、是ハ今
私ノ想像デアリマスガ、實際ノ事態ニ即應
シテ色々方法ガ考ヘラレル、サウシマス、
ソレハ當營業期デアルトカ、來營業期デア
ルトカ云フコトヲ離レマシテ、會社全體ノ
將來ニ互ル經理ヲ見テ考ヘネバナラス、斯
ウ云フ問題デアラウト思ヒマス、差向キノ

營業期間トハ先ヅ切離シテ考ヘテ宜シイカ
ト思ツテ居リマス

○加藤委員長 大藏大臣ニ對スル質疑ハ他
ニゴザイマセヌカ——次ニ渡邊泰邦君

○渡邊(泰)委員 商工大臣ニ伺ヒマスガ、
第十一條ニ協力關係ノ設定ニ關シテ必要ナ
ル命令ヲナスコトガ出來ルト云フコトガ規
定サレテ居リマスガ、工場診斷ニ步イテ居
リマス能率協會デアルトカ、色々サウ云フ
モノガ到ル處ノ隘路ヲ研究シテ歩イテ居ル
コトハ吾々モ承知シテ居リマス、サウ云フ
モノガ、何處ノ工場ニハドウ云フヤウナ隘
路ガアリ、何處ニハドウ云フ風ナ缺點ガアル
カト云フコトヲ調ベテ參リマシテ、其ノ連
中ガ協力スルト云フ意味ニ此ノ協力關係ハ
解釋シテ宜イノデアリマスカ

○岸國務大臣 第十一條ニ申シテ居リマス
必要ナル協力關係ト云フノハ今御質問ニア
リマシタヤウナ意味ノ協力ト云フ意味デナ
クテ、親工場ト子工場トノ關係トカ、子ト
孫トノ關係トカ、或ハ同列ニ於ケル特別ノ
具體的ニ生産上ノ協定ヲスルトカ云フ風ナ
關係ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ前
ノ議會ニ於テ戰力増強企業整備ノ第二種ノ
工業部門ニ於ケル縱、横ノ系列ヲ正スト云フ
事柄ヲ申シテ居リマシタガ、サウ云フ關係
ヲ此ノ十一條ニ於テハ豫定致シテ居ルノデ
アリマス、今御話ノヤウナ意味ニ於テ色々
ナ隘路ヲ打開スルノニ、各工場ガ協力スル
必要ガアルト云フ事柄ハ、私共モヨク承知
シテ居リマシテ、サウ云フ風ニ指導シテ參
ツテ居リマスガ、ソレヨリ一步進シテ特殊
ノ特定關係ヲ「エー」「ビー」ノ工場ノ間ニ、
或ハ親子ノ關係ニ於テ、或ハ同列ノ關係ニ
於テ、或ハ子ト孫トノ關係ニ於テ作ルト云

フノガ十一條ノ狙ツテ居ル所デアリマス
○渡邊委員 サウシマス、隘路ヲ研究シタリ、缺點ヲ見付ケテ歩イテ居ル連中ハ、工場ト懇談シテ隔意ナキ談笑ノ裡ニ解決スルヤウナ方法ヲ講ゼラレテ居ルノデスカ、サウ解釋シテ宜シイカ

○岸國務大臣 今日ノ工場診斷等ニ於ケル隘路トシテ各工場ガ協力スル必要アル問題ニ付キマシテハ、關係工場ガ集マリマシテ懇談會若クハ色々ナ話合ヒデ解決シテ居ル問題ガ相當多イと思ヒマスガ、併シナガラ總テガソレダケデハ決定シナイと思ヒマス、例ヘバ技術ノ公開ノ問題デアルトカ、或ハ特ニ有機的ナ關係ヲ設定スル必要ガアルトカ、或ハ親子ノ關係ヲ設定スル必要ガアルトカ云フ風ナ問題ニナツテ來マス、必ズシモ唯談笑ノ間ニ總テガ決定スルトハ行カスト思フ、サウ云フ場合ニ初メテ十一條ニ依ツテ——命令ニ依ツテ協力關係ヲ設定セシメルト云フコトガ起ツテ參ル、斯ウ思ヒマス

○渡邊委員 先程勤勞精神ノ昂揚ニ付テ承ツテ大變結構ダト存ジマスガ、ソレニ從ツテ軍需監理官ノ服務規律ヲ非常ニ強化シテ、監理官ノ正否ガ非常ニ大事ダ監理官ノ善シ惡シニ依ツテ此ノ軍需會社法案ノ死命ヲ制スルト云フ御話モ承ツテ大變喜ンデ居ルノデスカ、サウスルト其ノ服務規律ハ——ドウシテモ工場ヲ管理スル監理官ナル者ハ率先垂範シナケレバナラスト思ヒマスガ、今日デモ噂サレル如ク、自分が監督スベキ工場ノ重役ナドト遊興ヲ俱ニスルト云フヤウナコトハ服務規律ヲ禁ズルト思ヒマスガ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒマス
○岸國務大臣 勿論綱紀ノ肅正ノ問題ニ付

キマシテハ、是ハ一般官吏ニモ通ジテ必要ナコトデアリマスガ、特ニ監理官等ニ付キマシテハ其ノ點ハ強調セナケレバナラスト思ツテ居リマス

○渡邊委員 ソレカラ一ツ罰則ノコトニ付テ御伺ヒシタイノデスカ、第二十條第二十一條ニ罰則ノ規定ガアリマス、今度ノ立法ハ劃期的ナ立法デアツテ、總員戰鬪配置ニ就ケト東條サンカラ言ハレテ居ル程ノ重大ナ事態デアリマス、然ルニ此ノ罰則ノ規定ヲ見マスルト、職務ヲ懈リ、其ノ責任ヲ果サナカツタ場合ニハ責任者或ハ擔當者ハ解任譴責デアリ、其ノ他ノ從業員ハ譴責訓告デアル、故ナク指揮ニ從ハナイト云フヤウナコトハ、戰鬪配置ニ付ク者トシテハ、譴責ヲ訓告ダケデハ容易ニ動カヌノデハナイカ、軍ノ紀律ニ於キマシテモ、故ナク上長ノ命令ニ從ハナイ者ハ、軍刑法ヲ以テ罰シテ居ル、ソレヲ譴責、訓告ニ罰シ、又ハ職務ヲ懈ツテ其ノ責任ヲ果サナイ者ハ解任、譴責ト云フ單ナル懲戒處分デアツテ、何等ノ茲ニ刑事的ナ罰則ハ加ヘラレテ居ラス、然ルニ二十三條、二十四條ニ於キマシテハ、第九條乃至第十二條ノ規定ニ對シマシテハ二年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處シテ居ル、此ノ立法ノ構想ニ付キマシテハ、政府ガ斯ウシロト云フヤウナコトヲ命令サレテ、ソレニ從ハナカツタ者ハ、二年以下ノ懲役、又ハ三千圓以下ノ罰金デアルガ、一番大事ナ生産ノ責任ヲ果サナイ者ニ對シテハ、刑事的ナ罰則ハ全然ナクテ、私共ハ此ノ立法ノ構想ハ何カ昔ノヤウナ在リ來リノ構想ニ類シテ居ツテ、戰時立法トシテ、劃期的ナ總員戰鬪準備ニ就クト云フヤウナ時代ノ立法トシテハ、ドウカト思フノデスカ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒマス

○岸國務大臣 二十條、二十一條ノ規定ハ、生産責任者、生産擔當者及ビ從業員ノ懲戒ニ關スル規定デアアルデアリマスガ、本來ニ關スル規定デアアルノデアリマス、從來ノ企業經營ノ頭カラ申シマス、生産責任者或ハ生産擔當者ハソレノ其ノ會社ノ社長デアリ、工場長デアルト云フヤウナ立場ノ人デアリマシテ、若シモ十分責任ヲ果シテ能率ヲ上ゲナイコトニナルト、或ハ株主ニ責任ヲ負フトカ、或ハ重役ニ責任ヲ負フノデ、隨テ會社トシテ何カ處分スルト云フ建前ガ從來トシテハ本質的ナ考ヘ方デアリマス、又從業者モ其ノ上ノ者ニ對シテソレノ指揮命令ニ從フト云フコトハ、ヤハリ雇傭契約上ノ義務ノ履行トシテ考ヘラレテ居ルノガ從來ノ考ヘ方デアリマス、併シナガラ今回ノ此ノ立法ニ於キマシテハ、軍需會社ノ生産ト云フモノハ、國家ノ要請ニ應ヘテ之ヲヤルノダト云フ性格ヲ明瞭ナラシメ、生産責任者、生産擔當者ガヤハリ國家ニ對シテ其ノ義務ヲ負フノデアリ、又從業者ハ其ノ生産責任者、生産擔當者ノ指揮命令ニ從フトコトハ、單ニ契約上ノ義務トシテ負フノデハナクシテ、國家ニ法律上ノ義務トシテ負フノダト云フ建前ヲ明瞭ナラシメマシタ、隨テ茲ニ一種ノ國家トノ間ニ特殊ノ權力關係ガ出來ルノダト云フ前提ノ下ニ、國家ハ一ツノ懲戒權ノ發動トシテ斯ウ云フ懲戒ヲスルコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、此ノ建前ハ從來ノ法律ニハ私ハ全然ナイト思フ、而シテ此ノ懲戒ノ内容ガ果シテ是デ妥當デアルカ、或ハ此ノ程度デハ生溫イ、寧ロ嚴シクナケレバナラヌカト云フ問題ニ付キマシテハ、主トシテ生産責任者、生産擔當者ニ付キマシテハ、是ハ首腦部デアリマスカラ、出來ルダケ其ノ責任ヲ重クシ

テ、サウシテ社會的ニモ名譽上ニ於キマシテモ是ガ責任ヲ果スコトニ付テハ特ニ重要ニ考ヘテ居リマス、之ニ反シマシテ從業者ノ問題デアリマスガ、是ハ數モ多イコトデアリマスシ、同時ニ一ツノムツカシイ問題ハ、解雇解任ト云フヤウナ問題ハ、實ハ總員徵用ノ趣旨カラ申シマシテ寧ロサウ云フ制裁ヲ置クト云フコトハ逆ノ效果ヲ生ズル危險ガアルノデアリマス、即チ寧ロソコデ罷メサセラレルト云フコトデアルト、元ノ所ニ歸レルノダ、徵用ヲ免レルノダト云フヤウナ思想カラ、逆ノ效果ヲ生ズル虞モアリマスノデ、譴責ト訓告ニ留メテ居ルノデアリマス、勿論色々ナ暴行ヲスルトカ、或ハ徒黨ヲ組ンデ何カスルト云フヤウナ問題ニナリマス、是ハ刑法上ノ刑罰ガ科セラレルコトハ當然デアリマスガ、唯單純ニ指揮命令ニ從ハナカツタト云フ者ニ付キマシテハ、兎ニ角國家ノ責任トシテ斯ウ云フモノヲ負フト云フ建前ニシタ事柄ハ、精神的ニ相當從來ト違フ效果ガアルト思フノデアリマス、唯、今例ニモ御舉ゲニナリマシタガ、軍紀軍律ニ準ジタヤウナコトヲスルカドウカト云フ問題ニナリマス、是ハ勿論斯ウ云フ關係ト、軍紀軍律トノ問題ニ付キマシテハ、非常ニ本質的ナ相違モアルコトデアリマシテ、直チニサウ云フモノニ做ツテ、之ニサウ云フ觀念ヲ適用スルト云フコトハ適當デナイ、斯ウ云フ考ヘカラ、今申シマシタヤウナ制裁規定ヲ設ケタ譯デアリマス
○渡邊委員 ヨク御話ハ分ルノデスカ、實際私等聽イテ歩イテ居ルト、産業戰士ノ徵用ノ人ハ、ソシナニ働カナクテモ、怠ケテモ懲戒ノ方法ガナイ、是デ見テモヤハリ譴責ト訓告ダケデアル、之ヲ此ノ儘デ、企

業精神ノ昂揚、國家ノ爲ニヤレト講演シテ歩クデセウガ、是ダケデ言フコトヲ聽カナイモノヲ、言フコトヲ聽カセルト云フノニハ、ヤハリ生産責任者モ一ツノ責任ヲ持ツト同時ニ、皆間違ツタラ懲役ニモナリ罰金モ納メル、併シテ前等モ間違ツタラ刑罰ニスルゾト云フ強イ制裁ガアツテ、一方ヤハリ緩カナ、良ク行ツタ時分ニハ非常ニ良ク待遇シテヤルト云フヤウナ、所謂信賞必罰ヲハツキリシタナラバ能率ガ上ガルヤウニ思フノデスガ、私共今マデ聽イテ歩クト、何モ方法ガナイト云フコトヲ聽クノデスガ、是デ旨ク行キマスカ

○岸國務大臣 今日マデ微用ニ關聯シテ今御話ニナリマシヤウナ事柄ガ、經營者ナリ或ハ工場長等ノ側カラ要望サレテ居ルコトヲ私共モ聞イテ居リマス、併シナガラ是モ亦其ノ言葉通りニ直チニ之ヲ具體化スルカドウカト云フコトニ付テハ、私ハ反省ヲシナケレバナラヌ部分ガアルト思ヒマス、ト申シマスノハ、ヤハリ是ハ國家的ノ一ツノ責任ト云フモノヲ是デ非常ニ明瞭ナラシメタノデアリマシテ、サウシテ其處デ働ク者ヲシテ國家ノ要請ニ應ヘテ働クノダト云フ頭ニ切りヘルコトガ第一デアリマシテ、其ノ義務ニ違反シタモノトシテ國家カラ懲戒サレルト云フ事柄ハ、唯單ニ從來ノ會社ニ契約上ノ關係ニ於テ叱ラレルトカ或ハ處分ヲサレルトカト云フノトハ非常ニ趣キヲ私ハ異ニスルモノデアアル、飽クマデ狙ヒハヤハリ精神のナ考ヘ方デアアル、此ノ國民總員ガ戰國配置ニ就クト云フ態勢ノ下ニ於テ一番考ヘナケレバナラヌモノハ、生産ニ從事シテ居ル人々ガ總テ其ノ責務ト云フコトヲ國家的ニ自覺スルコトダ、是ガナケレバ

如何ニ懲罰ヲ以テ臨マウガ、如何ナル刑罰ヲ課セヨウトモ、ソシテ一時的ノ脅シヤ何カデハ、是ハ眞ノ能率ハ上ラナイ、ヤハリ一番根本ハ其ノ會社ノ性格ト自分達ノ責務ト云フコトヲ自覺セシムルニアルト思フノデアリマシテ、今回ノ此ノ制裁モ見様ニ依ツテハ刑罰等カラ考ヘマスト輕イ、又サウ云フ意味カラ言ツテ或ル種ノ工場經營者、企業主等ノ要望ニ副ツテ居ラナイ分ガアルト思ツテ居リマスガ、私ハ本質的ニ斯ウ云フコトニ依ツテ之ニ働イテ居ル従業員ニ國家的意識ト云フモノヲ昂揚シ、ソレニ反スレバ國家的ニ自分達ハ懲罰ヲ受ケルンダ、其ノ懲罰ハ重イトカ輕イトカト云フコトヨリモ、戰時ニ總員ガ戰國配置ニ就イタ時ニサウ云フモノヲ受ケルンダト云フコトニ付テ、非常ナ自責ヲ感ズルト云フヤウニ持ツテ行クコトガ眞ニ生産効率ヲ上ゲル上ニハ最モ適當デアアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○渡邊(泰)委員 分リマシタ、第十五條ノ統制ノ問題ヲ御聽キスルノデアリマスガ、統制ヲ外シテ貰フ場合ニハ時間ヲ必要トスルダラウト思フ、此ノ時ヲ必要トスル爲ニ一々監督官廳ノ許可ヲ受ケタリスルコトニ困難ナ場合ガアルト思ヒマスガ、此ノ時ヲ考ヘマス、此ノ統制ハ公定物價ヲ外ス場合ガアルト考ヘテ宜シウゴザイマスカ

○岸國務大臣 軍需會社ニ對スル製品ノ價格又是ガ用フル所ノ原材料等ノ價格ニ付キマシテハ先刻モ答辯致シマシタ通り、從來ノ公定價格制度ヲ其ノ儘ニ總テ墨守スルト云フ考ヘ方ヲ持ツテ居ラナイノデアリマシテ、價格ニ付テハ生産上ノ色々ナ支障ヲ來スコトノナイヤウナ考慮ヲ致シマシテヤツ

テ行キタイト思ヒマス、公定價格ヲ唯單純ニ解放シテモ勝手ダ、例ヘバドンナ値段デ買ツテモ軍需會社ハ勝手ダ、天下御免ダ、斯ウスル事柄ハ又非常ナ弊害ガアリ、却テ適當デナイト思ヒマス、唯併シナガラ今マデノ公定價格ト云フモノガ今御指摘ニナリマシタヤウナ意味ニ於テ、時ノ點ニ於テ色々ナ支障ガアリ、實際ニ合ハナイ點ガ多々アルノデアリマシテ、是等ニ致シマシテハ實際ニ合ツテ、而モ價格全體ノ制度ト云フモノヲ壞サナイヤウナコトヲ色々考慮致シテ居リマス、サウ云フ進ミ方ヲシタイト思ヒマス

○渡邊(泰)委員 モウ一點御聽キシマスガ、生産責任者審議會ノ構成分子ノコトハ此ノ勅令ノ方ニハ何モ書イテアリマセス、此處デ若シ御話出來タラ御話願ヒタイ、ソレカラ二十二條ノ準用スル場合ノ勅令ノ内容モ漠然トシテ居リマスルガ、若シ是ガ御話シ出來タラ御伺ヒシタイト思ヒマス

○岸國務大臣 二十條ノ軍需生産責任審査會ノ構成ハ官制決定タラレノデアリマスガ、大體今考ヘテ居リマス所ニ依レバ、是ハ内閣ニ設置致シマシテ、内閣總理大臣ヲ會長トシテ、關係廳ノ勅任官數名ヲ以テ其ノ委員トスルト云フ風ナ考ヘデ居リマス

ソレカラ、二十二條ノ規定ハ、此ノ軍需事業以外ノ所謂軍需充足上必要ナル事業並ニ會社デナイ個人ニ準用スル場合等ノ規定デアリマシテ、ドウ云フモノニ準用スベキカ、又準用スル規定ノ範圍ト云フモノヲ勅令デ規定スル積リデアリマス

○渡邊(泰)委員 其ノ範圍ヲ茲ニ勅令ノ内容ハ「準用スル客體並ニ準用スベキ條文及準用セル場合ノ讀替ニ必要ナル規定」ト書

イデアリマスガ、「讀替」ト云フノハ意味ガ分ラナイノデアリマスガ、此ノ内容ヲモウ少シ出來ルダケ御話願ヒタイト思ヒマス

○岸國務大臣 準用スル客體ガ個人デアアル場合ニ付テ考ヘテ見マス、是ハ大體適用スル場合ガ會社ヲ前提ト致シテ居リマシテ、色々ノ規定ガ會社ニ適用スルヤウニ出來テ居ル譯デス、軍需事業ヲ營ム者ガ個人デアアル場合ニ、軍需會社法ヲ準用スルト云フ場合ニハ、此ノ儘ノ規定デハ準用出來ナイト云フ場合ガアル、ソレヲ茲ニ斯ウ書イテアルノハ、斯ウ讀替ヘルノダト云フヤウナ意味デアリマス、又準用スル充足ノモノニ對シマシテモ、例ヘバ配給輸送ト云フヤウナ會社ニ之ヲ準用スルト云フコトニナリマスト、茲ニ「生産」ト書イテアルノハ、一體配給會社ニハドウナルノカト云ヘバ、ソレガ「配給」ト讀替ヘテ來ルンダト云フヤウナ意味ニ於テ考ヘテ居リマス

○渡邊(泰)委員 宜シウゴザイマス

○加藤委員長 次ハ三木武夫君

○三木(武夫)委員 他ノ議員諸君カラ相當廣範圍ノ御質問ガアリマシタガ、マダ盡キテ居ナイト思ハレル點ニ付テハ、三御尋ネラ致シマス、第四條ト第五條トノ生産責任者並ニ生産擔當者等ニ對シテデアリマスガ、生産責任者ハ重役會社軍需會社ニテ決メラレルト云フ御説明デアリマシタガ、一方政府ガ生産責任者ヲ任命スル場合ハ、從來其ノ軍需工業ニ全然關係ノナカツタ第三者ヲ任命サレル場合モ豫定サレテ居ルノデアリマスカ

○岸國務大臣 政府ガ任命スル場合ニ付テドウ云フ所カラ任命スルカト云フノニ付テハ法律上制限ガナイノデアリマス、實際運

用ト致シマシテハ、成ベク其ノ會社ニ於テ適當ナ人ヲ選ブト云フコトガ第一段デアラウト思ヒマス、次ニ若シモソコノ會社ニ適當ノ人が役員ノ中ニモ職員ノ中ニモナイト云フ場合ニハ、他カラ持ツテ來ルト云フ場合モアルト思ヒマス、其ノ場合ニ於テモ成ベク其ノ軍需事業ニ關係ノアル方面カラ持ツテ來ルト云フコトハ當然デアラウト思ヒマス、併シナガラ此ノ規定トシマシテハドコカラ選バナケレバナラナイト云フコトハナイノデアリマス、兎ニ角生産責任者トシテ最モ適當デアツテ、之ヲ任命スルコトニ依ツテ生産ガ確保出來ル、之ニ最モ適當デアルト云フ人間ヲ政府トシテハ選ブ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○三木(武夫)委員 次ニ第五條ニ生産擔當者ヲ生産責任者ハ任命スルコトヲ得トアルノデアリマスガ、是ハ當然生産責任者トシテ獨自ノ意思ニ依ツテ、生産擔當者ヲ改變スルコトモ行ヘルト解シテ宜シウゴザイマスカ

○岸國務大臣 其ノ通りニ考ヘテ居リマス

○三木(武夫)委員 次ニ同ジク第五條ノ生産擔當者ノ職務權限ニ關シテデアリマスガ、之ニ依リマスレバ、職務權限ニ對スル必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ムトアリマスガ、具體的ニ職務權限ニ對シテドウ云フ事項ヲ必要ナモノトサレテ居ルノデアルカ、御答辯ガ願ヘレバ結構ト思ヒマス

○岸國務大臣 具體的ナ方針ト致シマシテハ、成ベク生産擔當者ガ現場ヲ處理スルコトガ適當ト思ハレルヤウナ事柄ヲ委カス積リデアリマス、即チ或ル程度ノ従業員ノ任命ニ關スル人事デアルトカ、或ハ或ル金額以外ニ於ケル契約ヲ單獨ニ施行スルコトガ

出來ルト云フ風ナ經理、人事、其ノ他各般ニ互ツテ現場ヲ處理スルコトガ適當デアリ、又會社自體トシテ考ヘテ見テ、ソレガ非常ニ敏活ニ行ク所以デアルト云フ風ナモノハ、出來ルダケ廣ク之ニ委カスト云フ風ニシタイト考ヘテ居リマス

○三木(武夫)委員 次ニ第六條ノ規定ニ關シテデアリマスルガ、軍需事業ニ從事スル者ハ徵用サレタ者ト看做ストナツテ居ルノデアリマスルガ、此ノ軍需事業ニ從事スル者ノ範圍ト云フモノハ、最近結成サレル女子ノ勤務挺身隊トカ、勤務報國隊トカ云フサウ云フ一時的ナモノモヤハリ此ノ中ノ從事スル者ノ範圍内ニ入ツテ來ルノデアリマスカ

○岸國務大臣 此ノ從事スル者ノ範圍ハ具體的ニ命令ヲ決メルコトニナツテ居リマスガ、今才舉ゲニナリマシタヤウナ勤務報國隊等ノ一時的ニ之ニ從事スルモノ、又別個ノ一ツノ規律ノ下ニサウ云フ風ニ結成セラレテ行クモノニ對シマシテハ、是ハ徵用サレタモノト看做スト云フ取扱ヒヲシナイ考ヘデ居リマス

○三木(武夫)委員 其ノ徵用サレタモノト看做スト云フコトハ、國家總動員法ニ於テ事實上徵用スルノデアリマスカ、即チ現實ニ於テ現場徵用ヲスルノデアリマスカ、其ノ處置ヲドウオ付ケニナリマスカ

○岸國務大臣 此ノ效果ハ現場徵用ヲシタト同ジ結果ニナルノデアリマスガ、特ニ具體的ニ命令ヲ以テ徵用スルコト云フコトデナシニ、範圍ト時期ヲ決メテ、何時々々カラドレダケノ範圍ノ人ハ斯ウナルト云フ包括的ナコトデ、總テノ者ガ悉ク結果トシテ徵用サレタト同ジ形ニナル、斯ウ云フ扱ヒニ

シタイト思ヒマス、徵用ノ現實ノヤリ方トシテ總動員法ノ規定ヲ適用シテ行クト云フコトニナルト、非常ニソコガ複雑ニナルト思フノデ、斯ウ云フ取扱ヒヲシタノデアリマス

○三木(武夫)委員 第十條モ之ニ關聯スルノデアリマスルガ、資金、經理ノ問題ニ付テハ大藏大臣カラ御説明ガアツタヤウデアリマスシ、又岸國務大臣カラモ賃金統制令等ニ付テハ一應觸レラレタヤウデアリマスルガ、若シ賃金統制令ヲ改メルト云フコトナラバ、將來軍需會社法案ノ成立ト共ニドウ云フ風ニ改メラレル御意見デアリマスカ、承リタイト思ヒマス

○岸國務大臣 第十條ノ規定ニ依リマシテ、軍需會社ニ對スル勤務管理ノコトニ付テ必要ナ命令ガナサレルコトナルノデアリマスガ、此ノ軍需會社ノ勤務管理ノ内容ト致シテ、ドウ云フヤリ方ヤツテ行クカト云フコトヲ茲ニ具體的ニ申上ゲルコトハ、マダ適當デナイト思ヒマス、隨テ軍需會社ニ於ケル賃金ニ付テドウ云フ風ナ處置ヲ具體的ニ執ルカト云フコトヲ申上ゲルコトモマダ適當デナイト思ヒマスガ、此ノ賃金ノ制度ニ付テハ、現在ニ於テモ相當代金ハ賃金統制ノ關係カラ、昨年若シクハ一昨年アタリヨク言ハレテ居ツタ能率ヲ非常ニ低下セシムルカ、或ハ勤務管理ノ上カラ、生産管理ノ上カラ云ツテ、賃金制度ト云フモノガ非常ニ適當デナイト云フヤウナ非難ナリ批評モアツタノデアリマス、是ハ最近ニ重要工場等ニ付キマシテハ殆ンド改メラレテ居リマシテ、今日ノ賃金制度ハ私ハ必ズシモ軍需會社ニナツテ直チニ之ヲ改メナケレバナラスト云フ風ニモ實ハ考ヘテ居リマセ

ス、併シナガラ將來色々事態ノ變ツテ來ルニ伴ヒマシテ、兎角賃金ト云フモノハ、何ト申シテモ多數ノ勤務者ニ取リマシテ非常ニ重要ナ勤務條件デアリマスノデ、是ガ適正デアルカドウカト云フコトハ、生産ニモ非常ニ影響ヲ持ツテ居リマスカラ常ニ之ニ對シマシテハ實情ニ合フヤウニ又生産性ヲ昂揚スルヤウニ之ヲ運用シテ行キタイ、斯ウ思ツテ居ル、唯單ニヨク世間ニアルノデアリマスガ、軍需會社等ノ重要工場ニ付テハ賃金ヲドン／＼上ゲテ行ツタラ宜イデヤナイカト云フコトヲ極ク粗案ニ言フ人ガアリマスケレドモ、決シテサウ云フ簡單ナ問題デハナイト思ヒマス

○三木(武夫)委員 第十一條ノ協力關係デアリマスガ、此ノ軍需會社法案ハ飛躍的ナ航空戦力ノ増強ト云フコトヲ目標ニサレテ居ルノデアリマスガ、申スマデモナク航空機工場ル協力工場、下請工場ト云フモノガ非常ニ多イノデ、恰モ積木細工ノ感ガアル、隨テ軍需會社法案ノ適用ヲ受ケル會社ト云フモノハ政府ノ御指定ニ依ルノデアリマシテ、其ノ數ハ限ラレテ居リ恐ラク協力工場ニハソレハ及バナイモノト思フ、サウナツテ參リマスルト、親工場ノ生産ガ思フヤウニ出來テモ、其ノ下ノ協力工場或ハ下請工場ト云フモノノ生産ガ計畫通りニ行カナケレバ全體トシテノ戦力ノ増強ニハナラナイ、此ノ軍需法案ノ設定ト共ニ協力工場ノ處置ト云フモノニ對シテドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルカ承リタイ

○岸國務大臣 此ノ軍需會社ハ勿論完成工場ノミナラズ其ノ部分品等ヲ作ツテ居ル工場ニ付キマシテモ、必要ナモノハ軍需會社トシテ指定スル積リデアリマス、併シナガ

ラ今御話ノ通り、航空機生産ニ付テハ協力關係ノ工場ト云フモノハ非常ニ澤山アルノデアリマシテ、ソレヲ悉ク軍需會社トシテ指定スルコト云フ事柄ハ、是ハ固ヨリサウ云フコトニナルマイト思フ、其ノ場合ニ於テ、ソレナラバ其ノ關係ガドウナルカト云フ問題ニ關シマシテハ、此ノ十一條ノ規定ニ依リマシテ、有機的ナ協力關係ヲ徹底セシメマシテ、其ノ關係ヲ十分滑カニ行クヤウニヤツテ行クト云フ考ヘ方モアリマス、又軍需會社トハシナイケレドモ、國家總動員ノ重要事業場管理令ニ依ツテ管理シテ行クト云フ事柄モサウ云フモノニ付テ考ヘラレマス、其ノ他必要ナ指導、統制ト云フコトハ軍需省ニ於テ考ヘテ行ク積リデアリマスガ、悉ク此ノ軍需會社ニスルト云フコトハ勿論考ヘテ居リマセス、併シ主ナモノハヤハリ軍需會社トシテ指定サレル、斯ウ云フ風ニ思ツテ居リマス

○三木(武夫)委員 國務大臣ノ御答辯デハ、主立ツタ協力工場ハ此ノ軍需會社法ノ適用ヲ受ケル軍需會社ニ御指定ヲサレル御意ニ對シマスガ、ソレ以外ノ所謂協力工場、下請工場ト云フモノニ對シテ、十一條ノ必要ナル命令ト云フモノガ事實上運用サレル譯デアリマスガ、此ノ第十一條ノ立法精神ト云フモノハ、將來少クトモ航空機工業竝ニ之ニ關聯スル工業ニ對スル協力工場トカ下請工場ト云フモノハ一ツノ親工場ニ專屬サシテ行ク、サウシテ其ノ製品ト云フモノモ專門化シテ行ク、即チ企業整備ノ第二種工業ノ整備ニ政府ガ御示シニナツタ企業系列ノ整備ヲ、今後軍需省ガ新シク生レタナラバ、徹底的ニ強力ニ推進シテ行クノダ、斯ウ云フ必要カラ十一條ハ生レテ來タモノ

カ デアル、斯様ニ解釋シテ宜シウゴザイマス

○岸國務大臣 左様ニ私共モ考ヘテ居リマス

○三木(武夫)委員 第十二條ノ規定ハ軍需會社ノ廢止或ハ解散等相當重要ナル問題ヲ含シテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ場合ニハ軍需省ノ單獨ノ御見解ヲ命令ヲ發スルノカ、他ニ何カノ機關ヲ設ケテ、ソレニ付議スルト云フ手續ガトラレルノデアリマス

○岸國務大臣 此ノ場合ニ於キマシテハサウ云フコトヲ考ヘテ居ラナイノデアリマス、然ラバ斯ウ云フ非常ニ重大ナ問題ヲ軍需大臣一人ガ決定スルト云フコトハ、他ノ立法等ノ關係カラ言ツテモ適當デナイデハナイカト云フ御疑問ガ起ルカト思ヒマス、勿論斯ウ云フ重大ナ問題ハ慎重ニヤツテ行クベキコトハ當然デアリマスガ、同時ニ私カラ申上グルマデモナク、此ノ立法自體ガ非常ニ戰時的ナ色彩ヲ持ツテ居リ、斯ウ云フ緊迫シタ狀況ニ直面シテ行ハレルノデアリマシテ、是等ノ命令ノ效果ト云フモノモ直チニ現ハレテ、直グ増産ニ現實ニ現ハレテ來ルト云フヤウナコトデナケレバナラナイト思フノデアリマス、サウ云フ必要ニ基イテ是ガ行ハレルト云フ事態ヲ前提トシマス、ヤハリ一面ニ於テ軍需大臣ガ責任ヲ持ツテ果斷ニ之ヲ實行シテ行ク必要ガアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、他ノ場合ノ平時ノ立法ノヤウナ付議機關ヲ作ラナイ考ヘデアリマス

ナツテ居リマスガ、是ハ從來ニ於テモ色々複雑ナ統制法規ト云フモノガアツテ、現實ニ生産ノ隘路ヲナシテ居ル場合モ多イノデアツテ、今後此ノ苛烈ナ戦局ニ對應シテ戰力ノ飛躍的増強ヲ圖ルタメニ大ナリ小ナリノ支障ヲ來シテ居ル取締法規ト云フヤウナモノハ全部適用ヲ除外スル、ソコマデ思ヒ切ツテ第十五條ト云フモノノ規定ハ解釋ヲシテ宜イモノデアリマス

○岸國務大臣 第十五條ノ規定ハ命令デ具體的ニハ決マルノデアリマスガ、屢々御答ヘ申上ゲテ居ル通り、成ベク廣ク之ヲ排除シテ苟クモ生産ノ増強ニナル爲ニ必要ダトスレバ、出來ルダケ廣ク之ヲ排除シテ行ク、斯ウ云フ考ヘデ居リマス

○三木(武夫)委員 私ノ御尋ネシタイコトハ大體終リマシタガ最後ニ附加ヘテ御尋シテ置キタイと思ヒマス、第一點ハ生産責任者ト軍需事業以外ノ事業會社トノ役員ヲ兼任シ得ルカドウカ、次ニ社長以外ノ役員ガ政府ノ任命ニ依ツテ生産責任者トナツタ場合ニ、商法上ノ社長トノ權限ノ調整ト云フモノハドウ云フ風ニナサルノデアリマス

○岸國務大臣 軍需會社ノ生産責任者ガ軍需會社以外ノ他ノ役員ヲ兼任スルコトガ出來ルカト云フ問題デアリマスガ、法律論トシマシテハ此ノ兼任ヲ禁止ハ致シテ居リマセス、併シ屢々申述バマシタ如ク此ノ生産責任者ト云フモノハ、其ノ軍需事業ヲ中心ニ全力ヲ擧ゲテ貫フト云フコトヲ趣旨ト致シテ居ルノデアリマシテ、隨ヒマシテ此ノ責任者ニ任命ヲサレバ、從來ノ如ク一人デ數社或ハ數十社ノ社長、會長、役員ヲ兼ねルト云フヤウナ事柄ハ、其ノ人ニ關スル限りニ於テハ止メテ貫ツテ、成ベクソレニ集中シ

テ貫フト云フコトヲ私共ハ強ク希望シテ居ル次第デアリマス、ソレカラ政府ガ此ノ生産責任者ヲ任命シマシタ場合ニ於テ、其ノ生産責任者ノ國家ニ對スル關係ハ茲ニ明瞭デアリマスガ、其ノ者ヲ社長ニ任命シタ場合ニ於テハ、是ハ勿論今御質問ニナツタヤウナ點ハナイト思ヒマスガ、先程御質問ガアツタヤウニ、第三者ヲ任命スル場合モアルノデアリマスカラ、其ノ場合ニドウ云フ關係ニ立ツカト云フ問題ニ對シマシテハ、大體ソレニ任命サレバ同時ニ役員タル地位ニ就カセル積リデアリマシテ、其ノ場合ニ於テノ規定ハ第四條ノ第四項ノ規定デ、命令デ之ニ關スル調整ノ規定ヲ置ク積リデアリマス

○三木(武夫)委員 私ノ質問ハ終リマシタ

○加藤委員長 只今總理大臣ガ御出席ニナリマシタガ故ニ、總理大臣ニ對シテ質問ヲ保留サレタ方ガアリマスノデ、此ノ場合發言ヲ許シマス——小山倉之助君

○小山(倉)委員 總理大臣ニ對シテ御質問申上ゲタイノデアリマスガ、總理大臣ガ屢々議會ニ於テ御聲明ニナリマスル通り決戰ノ様相ハ愈々深刻苛烈ヲ極メ、一億國民ハ最後ノ蹶起ヲ以テ英米聯軍ニ當ラナケレバナラヌ時期トナツテ居ルノデアリマス、此ノ際前線ノ戰況報告ノ中ニハ今日ノ戰ハ鐵ト血デアル、或ハ戰況報告ノ末段ニ於キマシテハ何時デモ飛躍的兵器ノ増産ヲ以テ、飛行機ヲ一臺デモ多ク前線ニ送ラナケレバナラヌ、斯ウ云フコトガ報告セラレテ居ルノデアリマシテ、私共ハ全く身ヲ切ラレルヤウナ思ヒヲ以テ此ノ壯烈ナル戰況ヲ讀ミ、未ダ會テ胸迫リ目頭ノ熱キヲ覺エザルコトハナイノデアリマス、茲

ニ御提案ニナリマシタ軍需會社法案ハ正ニ此ノ前線ノ將士ニ應ヘントスル法律デアアル、ソレ程重大ナモノデアアルト私ハ思フノデアリマス、隨テ經濟立法ト申シマスルヨリハ、寧ロ決戰立法デアアル、斯様ニ考ヘルノデアリマシテ、此ノ決戰立法ニ依ツテ最後ノ勝利ヲ得ヨウ、正ニ此ノ立法ノ運用如何ガ勝敗ノ鍵ヲ握ル重大ナル法案デアアルト考ヘルノデアリマシテ、私共ハ願クハ此ノ法律ハ

此ノ大戰争ニ於ケル最後ニシテ恐ラクハ唯一ノモノトラシメタイ、此ノ法律デ行クノダ、ソレ程此ノ法律ニ重大性ヲ考ヘテ居ルノデアリマスガ、總理大臣モ斯様ニ御考ヘニナツテ居リマスカ、如何デアリマスカ、御意見ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○東條國務大臣 此ノ大東亞戰爭ノ勝敗ノ上ニ於キマシテ重大ナル鍵ヲ握ルモノハ所謂制空權ノ獲得デアアル、隨ヒマシテ航空ノ增強、航空勢力ノ飛躍的擴充ト云フコトハ、此ノ戰爭ノ結末ヲ着ケル上ニ於キマシテ重大ナル鍵ヲ握ルト云フコトハ今ノ御説ノ通りデアリマス、カルガ故ニ此ノ目的ヲ達成スルガ爲ニ、政府ト致シマシテハ過般本議場ニ於テ述べマシタル如ク、凡ユル手段ヲ盡シ、又從來ノ行掛リヤ傳統ヲ總テ取去ツテ、裸トナツテ、總テガ航空生産ノ增強ノ一點ニ結集ヲシテ此ノ生産ヲ上ゲテ行ク、之ヲ戰場ニ反映サセ、其處ニ戰爭ノ道ヲ大キク開イテ行キタイ、茲ニアルノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ軍需會社法ト云フモノハ、是トノ關聯性ニ於テ深ク關係ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ故ニ、實ニ重要ナル法案トシテ存在スルト云フコトニ付キマシテハ今ノ御説ノ通りデアリマス、是ガ設立運營ニ當リマシテハ只今申シマシタ目的ヲ

十二分ニ達成シテ行キタイ、斯ウ考ヘルノデアリマス、サウ云フ風ナ意味ニ於キマシテ只今御話ノヤウナオ考ヘニ付キマシテハ、御同感ニ存ズル次第デアリマス

○小山(倉)委員 斯様ナ重大ナル法案ニ付キマシテ、此ノ法案ノ構想ヲ通觀致シマスルト、總理大臣ハ常ニ國民ノ忠誠心ニ懇ヘテ其ノ聯域ノ奉公ヲ全カラシメタイト云フ普段ノ御訓示ナリ御演説、御講演ノ其ノオ考ヘガ盛達マレテ居ルヤウニ見エルノデアリマス、即チ戰爭遂行ノ武器、兵器、航空機、戰艦等ノ重要軍需品、其ノ他軍需物資ノ生産確保及ビ修理ヲナス事業、其ノ他軍需ノ充足上必要ナルモノニ付テハ、殆ド民間ニ委ネタルヤウナ感ガセラレノデアリマス、今日重要ナル軍需工業ニシテ國家ノ資金ノ恩恵ヲ蒙ラナイモノハ恐ラクハ少カラウト思ヒマス、恐ラクハ其ノ大部分ハ國家ノ資金ニ依ツテ經營セラレル事業ガ多カラウト思ヒマス、然ルニ此ノ法案ニ於キマシテハ國家ガ直チニ經營スルト云フコトモナク、或ハ一旦之ヲ國營ニ移シテ運營セシムルト云フヤウナ心持モ此ノ中ニハ謳ツテ居ナイ、國民ガ自ラヤル、軍需工業者ガヤルノダ、併シ政府ハ是ガ爲ニハ十分ナル監督ヲシナケレバナラス、總理大臣ハ屢、人ヲ信賴スルコト篤ク、其ノ外交上ノ政策ニ於キマシテハ、「フイリピン」ニ自由ヲ與ヘタル、或ハ「ビルマ」ニ自由ヲ與ヘル、支那ニ對シテモ相當ノ信賴ノアル政治ヲヤツテ居ラレマス、所謂大國ヲ治メルコトハ小鮮ヲ烹ルガ如キモノデアアル、小魚ヲ煮ルガ如キモノデアアル、餘リ細カシク干涉ヲ加ヘテ居ツテハ、本當ノ信賴心ハ起ルモノデハナイ、本當ノ責任ノ心ト云フモノハ起ルモノデハ

アリマセヌ、其ノ御心持ヲ以テ大體ニ於テ本法ニ織込シタ所ヲ見マスルト、民間ノ者ハ一生懸命デアアル、之ニ對シテ十分責任ヲ盡セ、十分國家性ヲ考ヘテ其ノ責任ヲ盡セト云フ點カラ申シマス、或ル點ニ於テハ岸國務大臣ハ民有民營ノ形式デアアルトサヘ御説明ニナツタノデアリマスガ、左様ナ御心持デアリマスカドウカ此ノ點モ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○東條國務大臣 今御述ベニナツタ通りデアリマス、即チ私ハ今御説明ニナリマシタ如ク、此ノ戰爭ハ唯之ヲ權力ニ依ツテ縛ツテ行クト云フヤウナヤリ方デハ到底駄目ダト思フノデアリマス、又日本ノ國民性カラ見マシテモ、ソレデハ一億ノ結集ハ出來ナイ、何處マデモ國民ノ心ニ潛シデ居ル忠誠心——ト言ツテハ語弊ガアリマスガ、ドンナ惡虐無道ダト見エル國民モ日本人デアアル限り必ズ忠誠心ハアル、ソレ等ヲ振ヒ起シテ、ソレヲ結集シテ行クト云フ所ニ初メテ國ノ力ガ大キナ發展ガ出來ルノデアリマス、此ノ會社法ノ取扱ヒモサウデアアル、之ヲ理窟カラ云ヘバ西洋人ニ取扱ハシタナラバ是ハ確ニ國營トシテ力デ動かサウ、斯ウ掛ツテ來ルト思ヒマス、ソレハ日本ハサウデヤナイ、サウヤル場合モ起ツテ來ルカモ知レス、併シナガラ努メテサウ云フ力ヲ以テ動かカスト云フコトヲセズニ、之ヲ國民ノ忠誠心ニ懇ヘテ行クト云フ根本精神ニ於テ、私ハ現在民營民有ノ形體ノ企業ニ依ツテ今日發達シテ行ツテ居ル、之ヲ何處マデモ活カシテ行ク、但シソコノ國家性ヲ與ヘルトカ、或ハ責任性ヲ確立スルト云フヤウナ點ハ、是ハドウモ戰爭ノ要求上ドウシタツテ仕方ガナイ、是ハヤラナケレバナラス、其ノ點ヲ

從來ノヤウナ考ヘ方ニ放置シテ居ツテハ戰爭ノ目的ハ達セラレナイ、其ノ點ハビツシリ抑ヘテ行ク、併シナガラ努メテ各自ノ特性ヲ十二分ニ發揮サシテ、之ヲ纏メテ大キナ力ヲ出シテ行カウ、斯ウ云フ點デアリマス、要シマスルニ今アナタノ言ハレタ趣旨ノ上ニ立ツテ居ルノデアリマス

○小山(倉)委員 總理大臣ノ明確ナル御意見ノ御發表ヲ伺ヒマシテ満足ニ堪ヘマセヌ、第三ニ御質問申上ゲタイコトハ、此ノ法律ノ内容ヲ見マスルト、如何ニモ冷嚴、所謂冷ヤカデアリ嚴格ナ點ガ窺ハレルノデアリマシテ、是ハ此ノ戰時下ニ於ケル軍需品ノ生産ニ當ル者ニ對シテハ、更ニ冷嚴ナ態度ヲ持ツコトヲ躊躇シテハ相成ラスノデアリマス、併シナガラ又一方ニ於キマシテハ、此ノ會社ニハ責任者モアリ、責任擔當者モアリマスガ、最モ國家性ヲ體得セシメ、國家性ヲ帶ビルヤウニ指導スル任務ニアル力強キ者ハ、私ハ會社ノ監理官デアアルト思フノデアリマス、一方ニ於テハ此ノ法律デハ相當嚴格ダ、一方ニ於テハ此ノ監理官、一般官吏、監督ニ當ル者ニ對シテモヤハリ相當ノ制裁ガナケレバナラスト考ヘルノデアリマス、此ノ度ノ刑法ノ改正ニ於キマシテハ公務員ノ瀆職罪ニ關シテハ特ニ重科ヲ以テスルト云フ重科主義ヲ執ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ法律ト相照應スルヤウニ、特ニ官吏服務規定ヲ御制定ニ相成リマシテ、照應セシムルノ御用意アルカ否カ、此ノ點ニ付テ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○東條國務大臣 此ノ生産責任者等ハ、企業ノ國家責任ヲ遂行スル重責ニアル者デアリマスガ故ニ、國家ハ之ニ對シテ一面今御話ノ如ク峻嚴ナル態度ヲ以テ臨ムト云フコ

トモ必要デアリマスルガ、他面ニ於テハ今御話ノ如ク、其ノ責務ヲ完遂シタ者ニ對シマシテ、其ノ努力ナリ、功績ト云フ點ハ適當ナル褒賞ノ方圖ヲ講ジテ行クト云フコトハ、是非ハヤツテ行カレバナラヌ、唯嚴ダケノ手綱デハ人ハ動カナイノデアリマシテ、ソコニ嚴緩適當ナル兩方ノ使ヒ分ケニ於テ初メテ人ガ動イテ行クノデアリマス、即チ能率ノ發揮ガ出來テ行クノデアリマス、此ノ妙味ハ政府トシテハ十分持タナレバナラヌ、併シナガラ此ノ法令ノ裏面ニ於キマシテハ褒賞ト云フコトヲ法律上ニ書キ現ハスト云フコトニ付テハ、法律的ニ工合ガ惡イ、法制的ニ適當デナイト云フ風ナノデ、是ハ拔カシテ居ルダケノ話デ、國家ガ之ヲ忘レテ居ルト云フヤウナ意味ニ御取リニナラスヤウニシテ戴キタイ

次ニ官吏、殊ニ監理官アタリノ服務規律、服務規則申シマスカ、斯ウ云フ點ニ付キマシテモ、一方生産責任者ナリ、生産擔當者ニ必要ナル要求ハシマスルト共ニ、又之ヲ監督スル所ノ監理官ニ於テモ十分其ノ點モ考ヘテ、之ニ對スル必要ノ處置ヲ講ジテ行カレバナラヌ、斯ウ考ヘテ居リマス

○小山(倉)委員 満足ナル御答辯ヲ得マシテ洵ニ同感デアリマス、最後ニ御伺ヒシタイ點ハ、先程冒頭ニ御質問申上ゲマシタル通り、此ノ法律ハ洵ニ決戰ノ法律デアアル、此ノ法律ノ運用如何ニ依ツテ英米擊滅ヲ早カラシムル、サウ云フ一大使命ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ故ニ、其ノ内容ニ於キマシテハ、大分此ノ運用ニ依ツテ效果ヲ擧ゲ得ル點ガ相當ニ多イト存ジマス、政府ハ一方ニ於テ生産責任者ノ責ヲ問ヒ、生産擔當者ヲ置キ、或ハ不適當ナル場合ニハ是ガ解

任ヲ命ズル、サウ云フ點ガ大分アリマシテ、兎ニ角此ノ會社ノ經營ハ人事ガ一番大事デアアル、總理大臣ハ屢、機構ヨリ人間ダト仰セラレマスガ、其ノ人間ヲ中心トシテ、ヤハリ擔當者ガ出來ル方ガ宜シイノダ、人間ヲ中心トシテ、社長ヲ中心トシテ、其ノ下ノ責任者ガお互ニ相協力スルト云フコトガ宜シイ、併シナガラ一方ニ於テ生産責任者ト云フ全責任ヲ負フ者ヲ拵ヘテ、一方ニハ擔當者ト云フ別ニ責任者ヲ作ツテ、其ノ責任ヲ取代ヘルコトモ出來ル、斯ウ云フコトヲシテハ、稍、ソコニ指揮統一ノ完全ナル働キヲナシ得ザル憾ミナシト致シマセヌ、併シナガラ是ハ總テ運用ニ依ルコトデアリマシテ、商工國務大臣ノ御説明ニモ能ク其ノ點ハ諒トセラレテ居リマスガ、其ノ點ニ付テハ十分運用ニ付テ御留意ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス、一方ニ於キマシテハ、此ノ生産責任者ガアルニ拘ラズ、是ガ不適當ナル場合ニハ之ヲ解任ヲ命ズルコトガ出來ル、會社以外ノ者デモ任命スルコトガ出來ルト云フ規則ガアリマシテ、ソコデ任命サレタ者ハ、是ハ株主總會ノ力ヲ以テ致シマシテモ、内部ノ力ヲ以テ致シマシテモ、是ハ解任ガ出來マセヌ、政府ノ認可ヲ得ナレバナラヌノデアアル、斯様ナ工合ニシマス、サウ云フ答ナ考ヘテ持ツテハ申譯ノナイ譯デアリマスガ、ドウモ自分ガ全責任ヲ負ハサレテ居ルニ拘ラズ、何トナク浮イテ居ル、ヤハリ是ハ政府ノ力デノミ行クノダ、政府ノ最高ノ幹部、最高ノ責任ヲ負ウテ居ラレル方ノオヤリニナルコトハ、能ク徹底シテ能ク分リマス、併シナガラ政府ガヤルト申シマシテモ、往々ニシテ末梢ナ、

ソレニ經驗ノナイヤウナ、又仕事ニ經驗ノナイヤウナ、感情ニ走ルヤウナ、先程小笠原君ノ御質問ノアリマシタ通り、或ハ惡代官ノヤウナ人ガ參リマシテハ、サウ云フコトデハ却テ生産ヲ害スルヤウナ虞ナシト致サナイノデアリマシテ、其ノ運用ニ付テハ、新タニ出來マスル所ノ軍需省ノ大臣ニ於テ十分御留意アラウトハ存ジマスルガ、是非是ハ運用ノ上ニ全キヲ期シテ戴キタイ、併シナガラ若シ此ノ法律ノ上ニ於テ、直チニ改正ガ必要ダト云フヤウナ場合ニハ、御遠慮ナク臨時議會デモ開イテ直チニ御改正ニナル、ソレハ即チ戰爭ガ待ツテナイカラダ、是ハ戰爭ノ完遂ヲ願フカラダ、サウ云フ意味合デ此ノ法律ニ付テハ特ニ御留意ヲ賜ハリマシテ、サウシテ是ガ改正運用ニ付キマシテモ、手取早く迅速果敢ニオヤリニナルト云フ總理大臣ノ御心持ヲ伺ヒタイノデアリマス

○東條國務大臣 今ノ人ノ運用ニ依ツテ目的ヲ達スルト云フ點、今回ノ會社法ガ出來マシテモ、是ハ當然ナコトデアリマシテ、是ハ先程説明ガアツタカモ知レマセヌガ、今回ノ生産責任者ハ、原則トシテハ社長ヲ以テ之ニ充テル、斯ウ云フ趣旨デアリマス、併シナガラ會社ノ事情ニ依リ、當該軍需事業ニ對スル知識經驗豐富ナル他ノ適任者ヲ選任スルト云フコトモ、是ハ認メル方針デアアル、併シナガラ其ノ社長ヲ以テスル、或ハ他ノ適任者ヲ以テスル、何レノ場合ニ於キマシテモ、ソレガ會社全體ノ運營ニ最も適當ナル者デアアルベキデアリノデアリマス、而シテ又生産擔當者ノ方ニ於キマシテモ、原則トシテハ本店ニ於ケル職務責任者、又ハ當該工場、事業場ニ於ケル長ヲ任命スル、大體此ノ方針デアリマス、而シテ此ノ會社法ナルモノハ、是ハ兎ニ角人間ノ作ツタモノデアアルカラ、是ハ又工合ノ惡イ點モアルカモ知レマセヌ、若シアリ、ソレガドウシテモ改正ノ必要ガアルト云フナラバ、ソレハ御改正願フト云フ方途ヲ執ルコトニ付テハ躊躇スル必要ハナイ、又私ハ躊躇シヨウトハ思ツテ居リマセヌ

○小山(倉)委員 私人質問ハ是デ終リマス

○加藤委員長 田邊七六君

○田邊委員 簡單ニ總理大臣ニ伺ヒタイ、私ハ輕金屬ノ部門ニ相當ノ經驗ヲ持ツテ居ル者デアリマシテ、從來政府ノ「アルミニウム」増産計畫ガドウモ小サイ、貧弱デイケナイ、斯様ニ考ヘテ居リマシテ、本年夏總理大臣ニ向ツテ、私個人トシテ意見書ヲ出サウト思ヒマシタ、併シ翼政會ニ於キマシテハ、金光君ニシテモ伍堂君ニシテモ、翼政會ヲ通ジテサウ云フ進言ヲシタイカラ、其ノ意見書ヲ出スコトハ一ツヤメテ呉レナイカト云フコトデ、先般翼政會ヲ代表致シマシテ、金光君、茲ニ伍堂君ガ總理ニ御目ニ掛リマシテ、詳細ニ陳情致シタノデアリマスカラ、私が蛇足ヲ添ヘル必要ハナイノデアリマスガ、全體私ハ商工省ニ向ツテ、或ハ統制會ニ向ツテ、斯様ナ貧弱ナ計畫デ宜シイカ、斯様ニ強ク強調致シテ居ツタモノデアリマス、而シテ色々事情ヲ聽イテ見マス、臨路ガ幾ツカアルトハ申シナガラ、色々煎ジメテ見マス、ヤハリ鋼材デアリマス、是ハ幾ラデモヤル餘地ガアル、我が國ニ於テ鋼材ガナイノデハナイノダト云フコトニ付テ痛切ニ色々議論ハアリマシタケレドモ、從來ノ機構ニ於テハ中々旨ク行カナイ、政府ガ今日戰力增強——殊ニ主

トシテ航空機増産ノ爲ニ軍需省ヲ設定シ、又軍需會社法ヲ設定スルコトニ相成リマシタコトハ眞ニ機宜ニ適シタ處置デアリマシテ、私共滿腔ノ贊意ヲ表スル者デアリマス、只今委員ヨリモ申シマシタ通り、國民ハ此ノ軍需省竝ニ軍需會社ニ向ツテ期待スル所極メテ大ナルモノガアル、勿論運營其ノ他ニ於キマシテモ十分御留意ヲ願ツテ、サウシテ百「パーセント」ノ效果ヲ擧ゲナケレバナラヌト思ヒマスガ、先刻佐藤政府委員ノ説明ニ依リマス、相當ニ確信ガアルノダ、心配ニ及バナシ、斯ウ云フ御話デアリマス、私ハドウモ十九年度、二十年度ノ生産擴充、殊ニ「アルミニウム」ノ生産擴充ハ貧弱ナリト考ヘマシタケレドモ、色々事情ヲ調べテ見マシテ、此ノ軍需省ヲ作り、又軍需會社法ヲ制定シテ之ヲ實行致シマシタナラバ、必ずヤ相當ノ航空機増産ガ出來ルモノナリト私モ確信ハ致シテ居リマス、併シナガラ只今マデノ狀況ニ依リマス、實際ノ問題トシテ二十年度ノモノヲ直グコデ資材ヲ戴カナケレバ間ニ合ハナイ、來年十九年度ノ資材ヲコデ戴クト云フコトダケデハドウシテモイケン、二十年度ノモノヲコデ早く資材ヲ戴クト云フコトデナケレバドウシテモ間ニ合ハナイ、從來ハ此ノ隘路ヲ打開スルコトガドウシテモ出來ナカツタ、統制會ニ於キマシテモ、商工省ニ於キマシテモ出來ナカツタ、是ハ重大ナ事柄デアリマス、今日ニ於テハ陸海軍ノ所謂生産ノ一元化ヲシ、又之ニ依ツテ發注ノ一元化ヲスルト云フコトニナリマシタカラ、今度ノ此ノ政府ノ機構ニ於キマシテハ、必ずヤ私ハ此ノ隘路ヲ打開ハ出來ルモノナリト確信シテ、衷心ヨリ非常ニ欣ンデ居リマス、

併シナガラ「アルミニウム」ノ一部門ノ上カラ見マシテ、官民眞ニ協力ヲ致シテヤルノデナケレバ、中々是ハ容易ナラスコトデアリマス、吾々民間ニ於キマシテモ簡單ナ一例ヲ申上げマス、私ノ會社ニ向ツテ「一万トン」ノ「アルミニウム」ノ生産内命ガアリマシタ、是ハ内命デスカラ切符モ何モノナイノデス、材木ガ一番先ニ必要ナノデ、私ハ農林省ヘ十回モ參リマシテ山林局長ニ會ツテ、内命ダケデ切符ハナイケレドモ、此ノ材木ヲ早ク買ヒタイノダガドウカト云フ話ヲシテ、サウシテ打合セラシタ所ガ、今度新潟縣デスガ、縣ノ方ヘ行キマス、ソレガ中々難カシ、ソコデ山林局長ニモ能ク話ヲシ、又前田新潟縣知事ニモ話ヲ致シテ、今日人ヲ出シマシタケレドモ、吾々民間ノ者ハ内命デ既ニ材料ノ仕度ヲ致シテ居ル、切符ハナクテモ兎ニ角迅速ニ國家ノ要請ニ應ジヨウト云フコトデ、民間ハ可ナリ熱心ニ各會社トモヤツテ居ル譯ナノデス、此ノ場合、斯様ナ重大ナ機構ノ變革ヲ致シテ、軍需會社法ナリ又軍需省ノ設定ヲ見ルコトニナリマシタコトハ、吾々ガ從來非常ニ心配致シマシタ問題モ、之ニ來ツテ解決ヲ致スコトガ出來ルモノナリト考ヘマシテ、衷心ヨリ非常ニ欣ンデ居ル次第デアリマス、軍需省ガ來月早々出來マシタ曉ニハ、更ニ一ツ運用其ノ他ニ付テ迅速果敢ニ御指揮ヲ願ヒタイト思ヒマス、一言希望ヲ申上げテ置キマス

○東條國務大臣 只今ノ御話殊ニ、「アルミニウム」ノ生産ガ今日重大ナル意義ヲ持ツコトハモウ御説明スルデモナイ、此ノ點ニ付キマシテ色々御苦心ニナリ、又翼政會ヲ通ジテ御意見ノ程ヲ開陳セラレ、政府ト致シマシテモ非常ニ參考トシテ仕合せニ思ツテ居リマス、此ノ點厚ク御禮ヲ申上げテ置キマス、而シテ勿論其ノ隘路ハ今御話ノ如ク鋼材ナリト云フコトモ大體承知致シテ居リマス、ソレハ殊ニ今航空重點主義ニ生産ヲヤツテ居ルノデスカラ、最小限必要ナモノハ何トシテデモ出シテ行カナケレバナラス、唯モウ一ツ——アタノ會社ハ違フノデスヨ——私ハ會社ニ對シテモ小言ヲ言ヒタイコトガ澤山アル、ソレハ此ノ間藤原査察使ニ或ル會社ヲズツト廻ツテ貰ツタ、サウスルト、是ダケノ生産ヲ擧ゲナケレバナラス、ソレニハ何万「トン」デシタカ、十萬「トン」デシタカ、鐵材ヲ寄越セ、斯ウ云フノデス、ソレデ生産ヲ擧ゲルコトヲ目標トシテ色々檢討サシテ、結局ハ一萬「トン」以下デ済ンデシマツタ、斯ウ云フ山ヲ振テ吹ツ掛ケラレルコトハ困ルノデスナ、之ヲ今度各、眞面目ニナリ、サウシテ檢討シテ、ドウシテモ是デナケレバイカスト云フモノハ、政府トシテモ極力出シテ行ク、其ノ出シ方モ迅速ニヤル、オ互ヒニサウ云フ風ナ考ヘ方ニ立返ツテ行ツテ戴キタイ、是ハアタノ會社ヲ言フ譯デヤナイ、ソレカラ「アルミニウム」ノコトモ、只今ノ御話ヲ承ルト、非常ニ意ヲ強ウスル、サウ云フ御決心デ今御話ノ一萬「トン」ノ「アルミニウム」ノ生産セイト言ハレルト、切符ヲ貰ハズ、既ニ手ヲ打ツテ居ル、斯ウ云フ風ナ積極的ナヤリ方、是非サウシテ戴キタイト思ツテ居リマス、唯是モアタノ所デヤナイノデスケレドモ、例ヘバ「アルミニウム」ニシマシテモ、今月國民カラ「アルミニウム」ノ辨當箱マデ引上げテ、サウシテ集メテヤツテ居ルニモ拘ラズ、マダ他面ニ於テハ各會社デハ——アタタモ御承知カモ知レマセヌガ、アル所ニハ二十「パーセント」位ナ「アルミニウム」ヲ持ツテ居ル、是ナン

カツイ此ノ間マデ放ツタラカシテ居ツタ、サウシテ之ヲ邪魔物扱ヒニシテ居ル、今「アルミニウム」ノ「トン」ト雖モ非常ニ重大ナ時ニ、而モ會社ノ算盤ノ上カラ之ヲ放ツタラカシテ居ル、サウシテ片方ニ國民ノ辨當箱ヲ漁ツテモ是デハ仕樣ガナイノデスネ、サウ云フ點モ吾々ハ眞劍ニ物事ヲ考ヘテ、「アルミニウム」ノ生産ヲ擧ゲテ行クト云フコトニ一ツヤツテ行カナケレバナラスト思フノデス、又色々會社等ニ付キマシテモ私モ十分積極的ニ御便宜ヲ與ヘテ行キタイ、併シヤカマシイコトモ言ヒマス、例ヘバ是モ官廳ガ惡イノデス、陸軍モ惡イノデス、例ヘバ何カト云フト直グ建設病ニ罹ツテ居ル、何カト云フト直グ建設々々、サウシテ無駄ナ資材ヲ廢カシテ居ル、モウ斯ウ云フ風ナ考ヘ方ノ時代デハナイ、凡ユル點ニ於テ裸ニナツテ、一ツ總テヲ航空中心ノ生産ト云フ上ニ考ヘラ向ケテ行キタイ、其ノ點ニ付キマシテハ、只今御鞭達ヲ戴イテ恐縮デアリマスガ、御鞭達ニ依リマシテシツカリ實行シテ參リタイ、斯ウ思ヒマス

○依光委員 此ノ程度ニテ質問ヲ大體打ち、直チニ懇談ニ入ルベシト云フノ動議ヲ提出致シマス

〔贊成「ト呼ブ者アリ」〕

○加藤委員長 只今ノ依光君ノ動議ハ大體此ノ程度ニ於テ質疑ヲ打切ルト云フ程度ノ動議デゴザイマス、尙ホ懇談ノ結果、或ハ重要ナル質疑ガアルコトモアリマスガ故ニ、是ハ保留致シテ置キタイト思ヒマス、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ「ト呼ブ者アリ」〕

○加藤委員長 然ラバ左様ニ決シマス、暫

時休憩ヲ致シマス

午後三時二十九分休憩

午後六時三十一分開議

○加藤委員長 休憩前ニ引續イテ會議ヲ開キマス、尙ホ質疑ノ殘ツタノガゴザイマスガ故ニ、之ヲ此ノ場合簡潔ニ御願ヒ致シタイト思ヒマス——野田君

○野田(武)委員 多少前ノ質問ト重複シテ居ル點モアルカモ知レマセマス、極メテ簡潔ニ御尋ネ致シマスカラ、政府委員モ成ベク簡潔ニ御答ヘ願ヒマス、生産責任者、生産擔當者、從業員ノ國家總動員法ニ基ク徵用ガアリマスガ、是ハ先程モ出タ話デアリマスガ、所謂此ノ軍需會社法案ノ性格ニ鑑ミマシテ、全部總動員徵用ト云フコトガ宜インデヤナイカ、ソレカラ之ニ關聯シテ、生産責任者ハ社長、ソレカラ工場長ヲ生産擔當者トスル、ソコデ會社ノ運營ハ大體生産責任者ト生産擔當者ニ依ツテ總テ決裁シテ計畫ヲ立テル、其ノ間他ノ副社長、專務、常務ト云フヤウナ常勤重役、其ノ他役員ガ何カ浮イデ居ルヤウニ思フ、ソコデ此ノ軍需生産ニ當リマシテハ、所謂生産士氣ノ昂揚ニ努メルト云フコトガ趣旨ニナツテ居リマスカラ、ヤハリ出來ルナラバ、所謂社長ヲ輔佐シテ居ツタ所ノ副社長其ノ他ノ重役モ、責任ヲ負ハシテハドウカ、其ノ運用ニハ先ヅサウ云フ他ノ重役モ所謂生産擔當者ト云フヤウナ形ニシテ、獨リ工場長ト云フコトノ考ヘヨリモモツト廣イ意味ノ責任者ヲ作ツテ行ツタ方ガ、全體ノ綜合的ノ生産士氣ノ昂揚ニ役立ツテ行クノデハナイカト考ヘマスガ、此ノ點如何デアリマスカ

○椎名政府委員 法律上ノ規定ハ軍需會社

ノ營ム軍需事業ニ從事スル者ハ之ヲ徵用スル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、ソコデ問題ハ、從事スル者ノ範圍ノ解釋ノ問題ニナル譯デアリマスガ、是ハヤハリ副社長、專務、或ハ常務、本社ノ職員ト云フモノヲ軍需事業ニ從事スル者ト云フ中ニ包含セシメテ解釋スルコトヲ最モ適當ト考ヘテ、左様ニ致シタイト考ヘテ居リマス

○野田(武)委員 第二十二條ハ準用規定ニナツテ居リマスガ、右ニ關聯シマシテ、現在ノ親工場ニ對シテハ、代金ノ前拂、假拂ト云フコトヲ實施スルコトニナツテ居リマスガ、所謂協力工場或ハ素材工場ト云フモノニ付キマシテモ、之ヲ擴張シテ行ク御意思ハアリマセスカ

○椎名政府委員 準用ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定メル豫定デアリマス、協力工場ノ活潑ナル運營ニ關シマシテハ、法律第十一條ノ規定ニ依リマシテ、親工場ト協力工場トノ關係ヲ規制致シマシテ、其ノ活潑ナル生産面ヘノ協力ヲ確保セントシテ居ルノデアリマス、之ニ關聯致シマシテ、親工場ガ代金ノ前拂或ハ假拂等ノ前渡金ヲ受ケル場合ニ於テ、其ノ恩惠ヲ協力工場ニ均霑セシメルト云フコトニ付キマシテハ、第十一條ノ親工場ト協力工場トノ間ノ協力關係ノ規制ノ中ニ包含サセマシテ、是ノ運用ニ依ツテ必要ナル處置ヲ執リ得ルコトニ考ヘテ居リマス、必要デアリマスレバ、左様ナ運用ヲシタイト思ツテ居ルノデアリマス

○野田(武)委員 第一條ニ關聯スルコトデアリマスガ、鍛造トカ鑄造事業ト云フモノハ、軍需事業ニ含マレテ居リマスカ、ドウデスカ

○椎名政府委員 含マレテ居リマス

○野田(武)委員 生産責任制ヲ執ツテ居リマスガ、其ノ責任ヲ果サナカツタ場合ハ色色ノ罰則ガアルヤウデアリマスガ、所謂各工場ノ可能生産力、現在ノ所謂軍需省カラ御考ヘニナル各工場ノ生産力ノ判定基準ハドウ云フ所ニアリマスカ、例ヘバ現在ノ設備トカ其ノ他ヲ基礎トシテ居ルノデアリマスガ、或ハ所謂現在ノ實績ヲ本位トスルカ、更ニ生産力ヲ判定スル場合ニハ現在ノ各工場ノ設備ヲ再檢討シテ行クノカドウカ、或ハ又其ノ方法ト致シマシテハ軍需生産責任審査會ノ決定ニ依ツテ生産力ヲ認メルカドウカト云フ點デアリマス

○椎名政府委員 或ル工場、事業場ノ生産能力ノ判定ハ、先ヅ以テ之ヲ預カル生産擔當者ニ於テ國家ノ要請ニ鑑ミ、又當該企業ノ現狀ニ即シタ能力、其ノ他ノ資材、勞務ト云ツタヤウナ事情ヲ勘案シマシテ、一應原案ヲ決定スル、ソレニ基イテ國家ガ責任量ヲ課スルコト云フコトニナル譯デアリマス、左様ニ決ツタ生産命令ノ遂行ニ關シマシテハ、御承知ノ如ク、色々戰局ノ事情等ニ依リマシテ、之ヲ取巻ク生産經濟ノ事情ガ變ツテ參ルノデアリマス、左様ナ場合ニ於キマシテハ事前ニ命令ノ變更ヲスルト云フコトモアリマセウ、又事後ニ於テ生産命令達成ガドウシテモ周圍ノ客觀的情勢ニ依ツテ不可能ト云フコトガ判定スレバ、之ヲ變更スルト云フコトニナルノデアリマス、デアリマスカラ結果ガ生産命令ニ偶、達シナカツト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、ソレガ眞ニ生産責任者ノ、或ハ生産擔當者ノ責任ニ歸スベキモノデアルカト云フヤウナコトニ付キマシテハ、是ハ諸種ノ觀點カラ十分ナル檢討ヲ加ヘナケレバナラス、斯ウ思

フノデアリマス、尙又生産ヲ遂行シナカツタト云フ事柄ニ關聯シマシテ、軍需生産責任審査會ト云フモノニ若シモ事案ガ掛ツタト云フ場合ニ於キマシテハ、右ノ委員會ニ於テ其ノ事情ガ果シテ發生シテ居ツタカドウカ、責任ノ歸屬ヲ何レニ歸スベキモノデアルカト云フヤウナコトニ付キマシテハ、勿論此ノ審査委員會ニ於テモ審査ヲシ得ル機會ガアル譯デアリマス

○野田(武)委員 責任生産ヲ果シマス場合ニ於キマシテ、官廳カラ資材ノ割當ガアツテ、其ノ割當ガ例ヘバ實際上ニ於キマシテモ、切符ダケガ來テ、物が一緒ニ來ナイ、所謂其ノ割當ニ差異ヲ生ジタ場合トカ、或ハ又其ノ工場ガ下ノ土木トカ其ノ他ニ請負ナドヲヤラシタ場合ニ、請負者ノ手違ヒナドニ依ツテ日限ガ延引スル、サウ云フ事態ガ起ツタ場合ニ於キマシテ、所謂生産責任者ノ責任問題ト云フモノハドウナリマスカ

○椎名政府委員 生産責任者並ニ生産擔當者ノ職責ノ範圍ハ、何レニ致シマシテモ、其ノ企業内、或ハ生産擔當者ノ預カル現場ノ問題ニ限定サレザルヲ得ナイノデアリマス、然ルニ日々ノ生産ハ絶エズ對外的ノ關係ガ頻繁ニアルノデアリマシテ、他カラ資材ヲ獲得スル、或、動力ヲ獲得スル、勞務ヲ獲得其ノ他色々折衝ガ對外的ニ行ハレルノデアリマシテ、御話ノ如ク資材ノ割當ガアツタ、併シナガラ其ノ供給ニ於テ缺クル所ガアツタ、其ノ爲ニ生産ガ落ちタト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、ソレガ生産責任者、或ハ生産擔當者ノ所謂職務懈怠ニ依ツテ惹起サレタ事實デアルカ、ソレトモ官廳ノ協力ガ足リナカツタ、具體的ニ申シマス、現場ニ付テ生産推進ノ爲ニ協力援

助ヲスル監理官ノ職務懈怠ニ依ツテ生ジタルコトナルカ、或ハ又其ノ他ノ客觀的事由ニ基イテ不可能ニ終ツタカドウカト云フヤウナコトニ付キマシテハ、是其ノ事態ニ即シマシテ、之ヲ究明シテ、サウシテ生産責任者ノ責ニ歸スベキモノハ、之ヲ追究シ、若シ生産責任者、擔當者ノ努力ニ拘ラズ、當然ナスベキ援助ヲ國家ニ於テ懈怠シテ居ルト云フヤウな場合ニ於キマシテハ、當該官吏ノ責任シテ、官吏服務紀律、或ハ監理官ノ服務紀律等ニ照シテ、其ノ責任ヲ追究スルト云フコトニナルト思フノデアリマス

存ジマス
○野田(武)委員 極メテ明カニナリマシテ有難ウゴザイマシタ、最後ニモウ一點伺ヒマス、今回政府ガ國內態勢ノ強化ニ基ク行政ノ簡素化ニ伴ヒマシテ、官吏ガ大分減サレルコトニナツテ居リマス、大體中央ニ於テ二万四五千人、地方事業場ナドヲ加ヘルト四万人ノ多キニ達スルト云フコトヲ聞イテ居リマス、此ノ四万人ノ人ガ現在官廳ヲ離レテ参リマスガ、丁度折シモ此ノ軍需會社法案ガ成立致シマス、先程來論議サレタ生産責任者トカ、或ハ生産擔當者トカ、監理官ト云フモノガ——勿論監理官ハ政府ガ任命致シマスガ、生産責任者、擔當者アタリモ政府ノ任命ニ依ツテ之ヲ置クコトガ出來ル、サウ云フ場合ニ從來各方面ノ統制會其ノ他ニヨリ論ゼラレマシタ所謂國策會社ニヨク出テ参リマシタガ、天降リ人事ト云フノガアリマス、是ハ必ズシモ適材ヲ適所ニ置クコト云フコトニナレバ何等ノ異論ナイコトデアリマスガ、往々ニシテ不適材ガサウ云フ場所ヲ占メテ居ルト云フノガ見受ケラレルノデ、世ノ中ノ論議ノ的ニナツテ來タノゴト思ツテ居リマス、殊ニ戰爭ニ勝ツカ負ケルカ、勝ツニハドウシテモ此ノ軍需會社法案ニ依ツテ生産ノ確保ヲ圖ラナケレバナラヌト云フ時ニ於テ、唯行政簡素化ニ依ツテハミ出サレタ人ノ其ノ職場ガナイトカ、或ハ色シナ官廳側ノ因縁關係デ以テドシム、サウ云フ所ニ不適材ノ人ヲ入レルト云フコトニナツテ來ルト、由々シイ問題ガ起ルシ、獨リ唯理窟ダケノモノデナクテ、先程カラ論議ノ中心ニナツテ居リマス、所謂軍需品ノ生産ニ重大ナル影響ヲ來スカト

○野田(武)委員 軍需會社ハ此ノ法律ニ依ツテ調辦價格デアルコトニナルノデアリマスガ、此ノ軍需會社ノ下請工場ハ、ヤハリ之ヲ準用ササルカドウカ、ヤハリ公定價格ノ制度デオヤリニナルカドウカ、其ノ間詰リ軍需會社ト下ノ關係ト云フモノハ、非常ニ價格ノ問題デ重要ナ問題ガ起ツテ來ル場合ガ多クアリマスカラ、此ノ點明瞭ニシテ戴キタイ

思ツテ居リマス、此ノ點ハ勿論政府ノ過去ノ色々ノ事實カラシテ、サウ云フ御考ヘガアツテハナラナイト思ヒマスルガ、特ニ此ノ際ニ其ノ點ニ付テ政府ノ御考ヘヲ明瞭ニシテ置イテ戴キタイト思ヒマス

○推名政府委員 親工場ノ納メル製品ニ付テハ、心ズシモ一般公定物價ニ依ラズニ、其ノ實際ノ生産「コスト」ト云フモノヲ基準ニシテ之ニ若干ノ適正利潤ヲ加ヘテ買上ゲル、併シナガラ其ノ親工場ガ部分品ナリ或ハ素材ヲ其ノ下部ノ協力工場ニ注文シテ之ヲ獲得スルト云フ場合ニ於キマシテ、親工場ハサウ云フヤウな恩典ニ浴スル、協力工場或ハ子工場ハサウ云フ恩典ニ浴シナイト云フコトニナリマスレバ、其ノ生産ガ圓滑ニ行カナイト思フノデアリマス、故ニ斯様な場合ニ於キマシテハ、下請工場ニ付キマシテモ、公定價格ノ除外例ヲ認メテ、上カラ下マデ全部生産ガ價格面ニ於テ阻碍サル

○推名政府委員 今回ノ行政簡素化ノ目的ハ二ツノ方向ニアルト考ヘテ居リマス、第一ハ行政ヲ簡素強力ナラシメル、斯ウ云フ趣旨ニ於テ相當ノ人員ヲ茲ニ節約スル、ソレニ依ツテ行政ヲ簡素強力ナラシメルト云フ點ト、モウ一面ニ於テハ、其ノ節約サレタ人員ヲ或ハ兵員ノ動員充足或ハ又生産面ニ於ケル勞務ノ動員ニ資スルト云フコトガ他ノ一面ノ目的デアルト存ジテ居リマス、御話ノ如ク斯様ナ措置ニ依ツテ出タ剩員ヲ、故ナク生産責任者或ハ生産擔當者ヲ鹹ツテ其ノ方面ニ向ケルナドト云フコトハ言語道斷ノ沙汰デアルト存ズルノデアリマシテ、勿論左様ナコトハ考ヘテ居リマセシ、ナスベキコトデモナイト信ジテ居リマス

○野田(武)委員 軍需會社ハ此ノ法律ニ依ツテ調辦價格デアルコトニナルノデアリマスガ、此ノ軍需會社ノ下請工場ハ、ヤハリ之ヲ準用ササルカドウカ、ヤハリ公定價格ノ制度デオヤリニナルカドウカ、其ノ間詰リ軍需會社ト下ノ關係ト云フモノハ、非常ニ價格ノ問題デ重要ナ問題ガ起ツテ來ル場合ガ多クアリマスカラ、此ノ點明瞭ニシテ戴キタイ

○加藤委員長 是ニテ質疑ハ終了致シマシタ、是ヨリ軍需會社法案ヲ議題トシテ討論ニ入りマス、——深澤豐太郎君

○深澤(豐)委員 私人翼賛政治會ヲ代表シテ本案ニ贊成ノ意ヲ表スモノデアリマス、本案ハ戰爭ノ現段階ニ鑑ミテ時局ノ急ニ應ゼントスルモノデアリマス、而シテ民間ノ事業首腦部ニ對シテ、戦力ノ劃期的増強ヲナサンガ爲ニ生産責任制ヲ布クノデアリマスガ、本員等ト致シマシテハ獨リ民間ニ止マラズ、政府モ亦十分ノ責任ヲ自覺シテ戰爭遂行上萬遺憾ナキヲ期セラレタイト思フノデアリマス、法ハ死物デアリマス、之ヲ

活用スルモノハ人デアリマシテ、本法ハ總テヲ運用ニ期待致シテ居ルノデアリマス、此ノ運用ニ當ツテハ十分ニ意ヲ用ヒラレ、殊ニ人事ニ當ツテハ苟モ情實人事ニ互ルガ如キコトノナキヤウニシテ戴キタイ、而シテ本法ノ結果其ノ目的ト致ス所ヲ達成シテ、戰爭完勝ノ爲ニ十分ノ效果ヲ發揮セラレンコトヲ期待致シ、多大ノ希望ヲ持ツテ本案ニ贊成ヲ致スモノデアリマス

○加藤委員長 他ニ討論ノ通告者ハゴザイマセス、之ニ依ツテ討論ハ終結致シマシタ、是ヨリ採決致シマス、原案ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ望ミマス

○加藤委員長 他ニ討論ノ通告者ハゴザイマセス、之ニ依ツテ討論ハ終結致シマシタ、是ヨリ採決致シマス、原案ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ望ミマス

○加藤委員長 御挨拶ヲ申上ゲマス、長時間ニ互リマシテ諸君ノ御熱心ナル御審議ニ依ツテ茲ニ終結致シマシタ、私ト致シマシテモ厚ク御禮ヲ申シ、諸君ノ御勞苦ニ對シ謹ンデ敬意ヲ表シマス、是ニテ散會致シマス

○加藤委員長 御挨拶ヲ申上ゲマス、長時間ニ互リマシテ諸君ノ御熱心ナル御審議ニ依ツテ茲ニ終結致シマシタ、私ト致シマシテモ厚ク御禮ヲ申シ、諸君ノ御勞苦ニ對シ謹ンデ敬意ヲ表シマス、是ニテ散會致シマス

午後六時五十三分散會

印刷者 内閣印刷局